滿洲日報
八月廿八日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

滿洲を去るに臨み在滿同胞に告ぐ

軍事參議官陸軍中將 本庄繁

先般轉任を命ぜられ、本日東京へ赴任致します、任を滿洲に受けてより前後四年在滿同胞諸賢より公私兩方面に亘り深厚なる御交誼を忝く致しました、私の長く忘るゝ能はざるところであります、殊に昨秋滿洲事變の勃發以來、所謂兵馬倥偬時局多端の際に於て、指導激勵、慰問、或は直接の協力等あらゆる方面より賜はりました最も有難い御心盡しの數々は、私の眞に感激に勝へないところであります、我が關東軍の將兵が克く其使命を遂行し得ましたのも、また私が大過なく其職責を果し得ましたのも、一に諸賢の有形無形、直接間接の御協力の賜物であります、申す迄もなく人間個人の力は大抵知れたものであります、古來大事と云ひ偉業と云ふ、一として國民的理想、民族的抱負に基かざるはなく、一として大衆の協心同力に依らざるはないのであります、滿洲の建設は大衆、刻下の時局は非常、一朝一夕にして東亞民族の理想成るべしとは思はれませぬが、日滿兩國民の協力と融和だにあらば必ずや其功を期すべく、何等悲觀することも失望することもないと信じます、烈苦數十年滿蒙に於て築かれた皆樣の血と汗との結晶が三千萬民衆と共濟融和の花として開き王道樂土の實として結ばるゝ時は近づきました、此の意味に於きまして特に現地滿洲に活躍せらるゝ諸賢の御奮闘と御自重とを切に祈念致します、滿洲を去るに臨みまして一言御挨拶申し上げる次第であります

昭和七年八月

別を滿洲國人士に告ぐ

陸軍中將 本庄繁

余は去年秋八月節鉞を受けて旅順に駐せしが忽ち東北軍閥の非法にも鐵道破壞の擧を發生するに遇ひ權益擁護のため毅然問罪の師を興して兵匪を剿討する等瞬息の間に一載を經過したり今や勅命を奉じて軍事參議官に補せられ不日東上任を履まんとす行くに臨み謹んで全滿人士に別れを告ぐ

追想すれば九月十八日の事變以來反抗軍隊は錦縣に賓州に又哈市等の地方に一起一仆故意に破壞を企圖するあり又千里を遠しとせずして來れる調査團あり之に面接するなど匆忙の間に日を送り最後に人當然の職務なれば臚立て、談ずるに足らざるが只新國の成立するや當代俊豪の馳驅奔走は全く一時の活歴史にして千秋忘れ難き事蹟なり

余が兵匪の剿滅に從軍するや其の趣旨は屢々布告したれば贅述を要せず一言にして之を蔽へば暴者を除き良民を安んずるのみ豈他の要求あらんや而して夫の滿洲建國の興たるや實に三千萬民衆の自覺の力が招致せる所に係れり滿洲統一の業は之に賴つて以て樹立さる

眞に成熟の至りに勝へず何をか自覺の力と謂ふ

一、滿洲の歴史及其地位
一、滿日民族及其他の民族協和
一、王道樂園の建設

是なり惟ふに新國は突然の發現に非ずして其由來する所久し蓋し東省の父老は軍閥暴虐の政に苦むこと茲に二十餘年なり夫巳氏の師旅が我軍の攻撃に遭ひ疆域守らず走獸飛鳥の如く散亂し逆擧の巣窟は忽にして土崩瓦解せり此よりして政權は停頓され四境は統治を失ふに至れり是に於て純正の民意は翕然として猛省し根源を尋ね歴史を溯り獨立を宣佈して新國を創建せり卽ち歴史上に具有する基礎に依り之を現代の民族が自決する原則に基き固有の領土を回收して獨立の政權を建立せるものに係れり乃ち滿日民族が首として之が基幹となり滿蒙に居る其他の民族を結合し彼れ此れ相和合して古訓に所謂「國は民を以て本となす」の意を實行せるなり而て極力軍閥獨裁の毒を除し共存共榮の大同主義を發揮し更に一永久の樂園を造らんと企圖せるもの延いて今日に至れるが滿洲國の現況は恰も天地の洋々乎として萬物を發育するの概あり然れども其建設や僅に第一歩を踏むのみ殘賊既に除かれたりと雖も餘孽なほ在りて四鄙は未だ安靜ならず前途頗る多難なり今後盤根錯節を截斷して幾多の紛議を解決するに恃んで以て強有力となす者は他なし只各民族の融和團結に在るのみ語に曰く「衆志は城を成す」と此は團結の力なり又曰く「三千一心」と此れは周が王縣を作す所以なり現今上には執政あり英明にして仁慈下には建國の諸公あり勵精能く治を圖するに余は此際更に滿日民族の鞏固なる握手を高唱せざる能はず命令既に發せられ歸國近きに在り此より海天路遙かなり離緒纏綿の情に勝へず尚望む於志を貫徹して益々奮勵を加へ鴻謀を展へて王道樂園を完成し彼我唇齒相依るの旨を忘るゝ勿らん事を斯の如くなれば啻に滿日兩國の國運に就き慶幸と謂ふべきのみならず卽ち我が亞洲同胞も福祉を稱へざるはなく況んや更に世界の平和も亦以て招徠す可き乎是れ余が祝禱して已まざる所なり行李匆々言はんと欲する所を盡さず

【寫眞は二十九日日滿人士に告辭を述べた本庄前軍司令官】

けふの貴衆兩院

【東京特電二十八日發】遂に會期延長の已むなきに至つた非常時議會論戰第四日は衆議院本會議は休會したるも貴族院は日曜日にも拘はらず午前十時より本會議を開き直に秘密會に入り小山法相より前日衆議院でなしたと同樣五・一五事件の内容を報告次いで質疑に入り同和會長尾元太郎、研究會佐々木志賀二兩氏より農村對策問題につき所管大臣と質問應答これで國務大臣に對する質問通告者の全部を終つた、一方衆議院は午前十時十五分より豫算總會を開き一旦休憩後再開政友會の若宮貞夫氏始め田子一民、長島隆二、森田福市氏等から時局匡救豫算を中心として政府對策に對し完膚なき總攻擊をなすといふので各派議員共早朝より登院日曜日の議會としては珍しき緊張を示した、なほ豫算總會と併行して各特別委員會が午前午後に亘り開かれたが政府と政友の妥協成らず議事は遅々として進捗せず重要法案の質問戰は次回へ廻された

貴族院本會議 開會後直に秘密會に入る

【東京二十八日發】貴族院本會議は午前十時五分開會徳川議長は政府より秘密會の要求あつたとて傍聽人を退席せしめ直に五、一五事件の秘密會となり小山法相の説明に入り、貴族院本會議は秘密會を終つて午後零時三分休憩となつた

衆議院豫算總會 開會、直に休憩を宣す

【東京二十八日發】衆議院豫算總會は政府と政友會との感情問題から二十五日半日だけやつたのみで休憩した其の後双方の妥協に依り漸く局面打開の途を發見され二十八日午前十時二十五分全閣僚出席の上開會したが、岡田委員長「議事進行を圖るため休憩します」と述べ直に休憩に入る

議事再開

休憩中の豫算總會は午前十一時五十分再開前會に引續き

若宮貞夫氏（政）　米穀對策としては政府が今回提案した樣な米穀資金の増額の如き應急策では頗る不徹底であつてもつと徹底せる根本策を急速に立案する必要ありと思ふが政府の所見如何

首相　政府も米穀政策の根本對策は急速に立案する必要ある事を認め調査研究を取急ぎ出來る限り早く議會の協賛を求めたいと思つて居る

若宮氏　政府の救濟事業施行の狀態をみると從來兎角澁滯がちであるが今日の如き急を要するものについては當局として餘程考慮あつて然るべきと思ふが如何

首相　特にこの點は愼重考慮し御協賛あり次第事業を施行し得る準備をなして居る

これで若宮氏質疑を打切り續いて工藤鐵男（民）君より午前中の議事停滯に關する委員長の態度を難詰し午後零時七分一旦休憩午後一時半再開した

牽勢米價廢止 政府も容認に決定

樺太長官問題は拓相より釋明す

今日の臨時閣議

【東京二十八日發】政府は二十八日午前九時半院内に臨時閣議を開き永井拓相糾彈問題に關し鳩山文相より奔走の顛末を述べ政友會より質問あつた場合率直に遺憾の意を表するのが本問題を圓滿解決する所以であるとの意見を提出し各閣僚も之に贊成したので本日の豫算總會では永井拓相より岸本前樺太長官の罷免は手落で遺憾である旨を述べ釋明するに決した、次いで政友提出の米穀法改正案と政府案の措置に就き協議したが

鳩山文相 より此の問題の解決策は政友會の主張も考慮して行く事が必要と思ふと述べ

高橋、三土兩相 よりは牽勢米價の調節方法は今日迄の成績に依ると效果は甚だ薄いから敢て存置の必要ないと述べ、結局牽勢米價廢止は政府も容認するに至り、次に米專賣案は來議會に提出せんとする米穀根本對策樹立に際して考究すると答へる事になり、會期延長問題は議題に上らず十時散會した

政友會揉める

出身閣僚と黨員との連絡不統一のため

【東京二十八日發】政友會は今期議會に於ける時局匡救對策の重點を負債整理組合中央金庫法案と米穀法の改正に置き之が貫徹に最善の努力を拂つて來たが二十七日夜突如政府と黨出身閣僚及び黨内一部の者との間に妥協成り其結果政府も牽勢米價廢止を政友會に讓り其代償として中央金庫法を政友會で讓歩する事になつたかの如く傳へられ、此間の事情を知らぬ幹部、黨員激昂し二十八日午前九時半院内に緊急幹部會を開き山口幹事長にその理由を詰問せるも關知せずと答へ、更に森恪氏より鳩山文相を難詰せしに之も與り知らず依つてその眞相判明せざるため充分之等の事實を確め黨として對する態度を決定する必要がある、然らざれば豫算委員會其他に於ける質問無意義なりと云ふに一致し一切の委員會審議を中止し委員會休憩を宣し、幹部始め黨員全部本部に引あげ緊急幹部會を再開し重大協議を行つた

議會二景

農村匡救の第六三特別議會は廿二日召集された、與黨たる政友會の態度及び國民同盟の動きが如何が注目されてゐるだけに今議會は相當の緊張裡に無事成立した、寫眞は（上）國民同盟控室（下）第一控室の新顔（向つて左から）杉山、三木、龜井、松谷、安部の諸氏

五・一五事件概要

法相の説明

【東京二十八日發】二十七日の衆議院本會議秘密會に於て小山法相より説明せる五・一五事件要旨左の如し

○○○○の關係ある事の判つたのは六月上旬、更に○○○○が自首して出たのが七月二十四日、東京地方裁判所が身柄を受取つたのが七月三十日、夫れを調べた結果始めて事件の全貌が判つたのが此の

臨時議會 の直前であつた、故意に遅らしたのでない、血盟團員は今年二月九日の井上前藏相、三月五日の團男の暗殺に就き其の取調べに連れ多數の共犯ある事が判明した、其の爲め三月二十五日迄に○○外血盟團員十四名を檢擧した、之は大洗に根據を置く井上日召一派で其の内十四名中東大學生四名、京大學生三名、國學院學生一名があつた、之等のものは本年一月上旬血盟團を組織し政界に於いて十名、財界に於て十名を選定し順次暗殺する計畫であつた、而して右に關聯し五・一五事件が起つた、之は

愛郷塾の 關係者に依つて企てられた、第一班は○○○、○○○以下八名靖國神社に集合し總理大臣官邸に到り犬養前首相並に護衛巡査を狙撃した、第二班は○○○○、○○○以下四名芝泉岳寺に集合し牧野内府邸を襲ひ手榴彈二個を投下し巡査一名を狙撃した、第三班は○○○○、○○○以下四名新橋驛に集合し政友會本部を襲ひ手榴彈二個を投下した、此の三班は兇行を終ると前後して警視廳に到り手榴彈三個を投じた其の他日銀、三菱銀行に手榴彈を投下し一方市外數ケ所の變電所を襲撃した

此の事件 の首魁と目すべき○○○は此の計畫の爲め拳銃五挺、實彈多數、現金六千圓を交付した、而して○○○は此の事件に關係し居る事判明したので六月十五日上野發青森行の汽車に乘つてゐる處を車中に令狀執行され東京に護送された

時局匡救關係の低資融通額

總計十億九千八百萬圓

【東京二十八日發】大藏省發表、時局匡救策に屬する預金部低利資金融通計畫額は三ケ年總額十億九千八百六十九萬三千圓の豫定で其の年度割左の如し

七年度 二億九千百二十三萬千圓
八年度 四億三百七十三萬千圓
九年度 四億三百七十三萬千圓

協心戮力し皇國の大業達成

武藤司令官訓示

武藤關東軍司令官は本日隷下軍隊一般に左の如く訓示を發した

訓示

隷下一般の將士に告ぐ、信義之しきを以て大命を關外の重責に承け、新たに榮譽ある關東軍司令官として武勲赫々たる諸士と共に乾坤一擲の我國家的大事業たる滿蒙問題解決第一線の職守を辱かしむ、喜幸何ものか加へん、顧みれば事變勃發以來既に一年この間諸士は前軍司令官の麾下にあり寡兵を以てよく暴戻なる衆敵を一蹴し更に邪奸なる匪賊に耐へ各地に轉戰して驍勇拗なる兵賊の掃滅に努む、その勞や害に多くその功は實に大、正に帝國天興の洪業、恢弘の先驅者として皇軍青史に光彩陸離たり、本職は敢て皇軍と諸士とのため慶ぶ

由來滿蒙は帝國の鎖鑰にして我民族生存の保證地域たり、既往幾多の征戰茲に反覆せられ先輩幾萬の生靈この地に冥目せる又所以なきに非ず、然して今圖らずも滿蒙問題解決の曙光を見る蓋し天祐神助の想ひなき能はざるなり、恰もよし滿洲國政府王道立國を以て獨立を宣す、方に皇道日本の慶なるなからんや、卽ちそれ良民は我同胞にしてその國軍は我戰友なり、正に皆性を尊びて輯睦に自覺し共に小異を棄て大同に就き、仍つて以て解決最後の完成を見る時滿洲國の基礎ために鞏く我國防と民族の生存始めて安し、然れども解決最後の完成期は尚遼遠にして前途に突破越蹶を要すべき幾多の盤根錯節あるを豫期せざる可からず、特に建設期と工作は治安の維持を以て重要根幹となすこと思ふ時本職は向後我關東軍所屬將兵の堅確鐵の如き士氣と百折不撓の勇武を以てする不斷の奮鬪にまつべきもの誠に多きを信ぜずんばあらず、信義大命を受けたるの日畏くも勅語を下賜せられ又參謀總長宮殿下の令旨を拜し爾來夙夜寤寐の念々重きを意ひ至誠奉公の念倍々固きを覺ゆ、希くば諸士幸に協心戮力皆皇國大業の達成に邁進せんことを、着任に當り右訓示す

昭和七年八月二十六日
關東軍司令官 武藤信義

事件費公債額

七年度九千萬圓

【東京二十八日發】大藏省調査＝昭和七年度分滿洲事件公債發行濟額は總額九千萬圓にしてこれが各省別は

外務 一、八〇六、〇〇〇圓
陸軍 [illegible]三三、三七三、〇〇〇
海軍 二七、〇三七、〇〇〇

人事

▲秀村得市氏（東亞煙草重役）二十八日入港ほんこん丸にて來連
▲青木大勇氏（醫博）同上
▲近藤儀一氏（新任遞信局庶務課長）同上着任
▲片山茂樹氏（九州帝大農學部教授）同上
▲西田屹二氏（同上）同上
▲金原誠氏（旅順工大講師）同上
▲荻野順治氏（滿洲寫眞通信社長）同上
▲久保田治兵衞氏（吉林マッチ會社代表取締役）同上
▲長井經理氏（東大助教授）二十八日午前十時はるぴん丸にて歸國
▲船田要之助氏（元沙河口工場長）同上
▲小柳健吉氏（川崎造船所技師）同上
▲牛島實常氏（陸軍少將）同上
▲櫻内辰郎氏（前代議士五品理事長）同上
▲山内盛文氏（亞洋社長）同上
▲上野愛子孃（第二師團參謀長上野大佐令孃）同上
▲三角愛三氏（工博旭硝子重役）同上
▲十河信二氏（滿鐵理事）廿八日朝九時發急行で赴奉
▲郡新一郎氏（滿鐵社員會幹事長）同上
▲堀義雄氏（滿鐵社員相談部長）同上

蛇角

拓相彈劾は小さすぎる、と大政友會が憤つた。

◇

藏相彈劾は？之れは又チト大きすぎて……。

◇

どうしても有產者救濟に傾く、無產者救濟を研究しないと、テロが顏を出しさう。

◇

滿洲國議會召集の請願、但しまだ早い。

◇

外人記者、鄭總理の詩句「富貴鴻毛に値す」を擧げて、其人格を稱揚してゐる。

滿蒙の戰慄 (83)

直木三十五作　淺枝次朗畫

轉落（六ノ一）

道を歩いてゐても、涙が出さうであつた。その涙は、怒りと共に後悔を、悲しみを、絶望を、苛立ちを、自棄を——人間の、一番苦いいろ〳〵の心理が、一かたまりとなつて、こみ上げてくる涙であつた。

（何うなるのか？）

と、處女を、そうした男の爲に奪はれた女の行く手を考へると共に、春木に、脅迫されながら、だん〳〵墮落して行く自分の行く手が、頭の中へ、斷片的に、ちら〳〵とした。

（何うなりとなるがいゝ）

と、自棄的な氣持が起る——すぐ次に

（何うして、逃げたならいゝか）

それから

（でも、そんな人かしら？）

バスの停留所まで、そんな氣持で、歩いてきたが、道を行く、何の人も

（何を、泣きかけてゐるんだらう この女は？——）

と、見てゐるやうな氣がしたし

（こんな氣持で、家へ戻つたなら いくら、お母さんでも、疑るだらうから？）

麗は、そう思ふと、誰が、この氣持を知つて、自分を救つてくれるやうな人が無いかしら、と思つた。

（中牛さん——さうだ。中牛さんは、賴もしいけど、こんな事を、こんな事を、打明けたなら、何んなに、叱られるか——叱られるだけならいゝけど——）

麗は、滿洲にゐる父が、何も知らないで、自分が、心も、身體も健全に、働いてゐるものと、信じてゐるだらうと、思ふと

（すみません）

と心の中で云つた。そういふと涙が、眼瞼の上へ、出てきた。麗は、うつむいて、眼を、しばたゝきながら、通りから、横へ外れた

（もう、あの店へも、勤められやしないし、明日から、妾、明日から、何うしたら——）

麗は、道の左右にある、大きい小さいいくつかの酒場を見たが、何れも、罪惡の發生地であるやうな氣がした。

（女給の外に、妾、何をして、働いたなら？）

麗は、そう思ふと

（いつそ、お父さんの居らつしやる、滿洲へでも行かうかしら——でも、お母さんは、何うなさるか？）

又、盛上つてくる涙を押へて、

（何ッかへ、入つて、思ふだけ泣きたい——御友達が、こんな時にあつたなら？）

麗は、そんな事を思ひながら、道のあるまゝに歩いて行つた。暑さが、だん〳〵高くなつてきて、化粧崩れがしてゐるやうであるし——それが、皆、春井が、させた事だとおもふと、春井に憤りが起つてくると共に——涙の暗闇の中で、その春井の腕の中へ、もたれかゝつた自分の醜さが、身體を叩きつけてしまひたいやうに、後悔されてきた。

（何と云はれても、妾が、いけなかつたのだわ）

麗は、もう少し、自分が、しつかり女だと、自分で信じてゐただけに、店の女給と同じやうに、すぐにも、身體を任してしまつた自分の輕率さが、堪らなく、後悔されてきた。

（いつまで、こんな所を、歩いて居たつて仕方がない、中牛さんは今時分、留守だから、矢張り、歸つて——その方がいゝ——）

麗には、世の中に、自分の家だけが、安心した所であるやうに感じた。そして、母だけが、何でも赦してくれるやうに思つた。

（お母さん）

と、心の中で、叫びつゝ、バスのくるのを待つてゐた。

約五千名の匪賊が朝陽鎭に來襲
守備隊が應戰し撃退 敵の損害數百

二十五日夜半大部隊の匪賊が熱河の朝陽鎭に來襲したので同地守備隊はこれと交戰し兵匪側に多大の損害を與へて撃退した、我軍の損害は戰死一名、負傷者齋藤少尉以下八名、敵の遺棄した死體は調査未了なるも數百名に達する見込である、なほ來襲した兵匪の數は一萬と稱せられるが實數は五千位のものであつた【奉天電話】

學良配給の軍裝する義勇軍
洮南の附近に現はる

既報張學良が天津の軍衣店に註文して製作せる綠色の軍服、軍帽その他軍需品は既に遼北一帶の義勇軍に配給終了せるものと見られ目下洮南西南方膽楡附近に於て掠奪暴行中の義勇軍全部は綠色の新しい軍裝してゐることが判明した、これで義勇軍の活動は學良の使嗾によることが愈々明となつた【奉天電話】

颱・風・來・る
今明日警戒

二十七日の朝から急に變つた天候は二十八日まで續いて、折角の八月の最終日曜日を臺なしにして、吹く風に、降る雨に秋のさゝやきを聞かせたが、この風雨は過般來沖繩地方を荒し廻つてゐた颱風が段々と北進して關東州方面に近づいて來たためである、現在の處この颱風の本低氣壓は濟南の南方にあり、又颱風の特徴たる副低氣壓は渤海より東に漸進しつゝあるがこのため風は常に十二、三米を吹いて雨もしばしば催すのである、二十七日來の雨も颱風であるため所々別々であつて、大連、奉天は十ミリ、旅順が二、三ミリ、鞍山が二十六ミリ、營口が四十二ミリ安東が一番多くて五十三ミリも降つてをり、風は各地共に十二米以上であつた、關東州に颱風が來襲するのは本年としては第一回目でこのため二十九日一杯の天候は險惡である、若草山觀測所の話によれば

現在濟南方面にある低氣壓は沖繩方面に比較するとその勢力は約半減して七百五十ミリ程度のものとなつてをり、渤海の副低氣壓と共に渤海より遼東半島を通つて東に抜けるものと思はれるが、この颱風の今までの進路は先づ沖繩地方より南支に入り二十七日朝揚子江下流に低迷し二十七日夜中より北進して二十八日朝濟南々方に達したもので今後の進路に對する豫想より見て、州内は二十九日午後まで、奥地は二十九日一杯は警戒を必要とする

十河理事もけさ出發
社員慰問に

滿鐵本線奉天長春間、瀋海線、安奉線の現業員慰問の滿鐵重役慰問使第一班十河理事、社員會幹事長、堀相談部長の一行および第二班村上理事一行中の山崎社員會相談部長等は何れも二十八日午前九時大連發の急行で奥地に赴いたが第一班の日程は奉天から始まり大體四五日の豫定である

廿萬の織布工罷業に入る
ランカシアの勞働爭議

【マンチエスター廿七日發】バーンレー織布工の賃銀引下げに端を發したランカシア織布工の勞働爭議は數次に亘る勞資間の交渉も遂に纏まらず二十萬の織布工は賃銀引下反對賃銀協定廢止に反對し既に罷業中の織布工の復職の二大要求を掲げて二十七日正午より愈々總罷業に入つた

陸軍異動赴任

陸軍異動の結果内地に轉任せる在滿將士中二十八日出帆はるびん丸にて赴任の途についたものは左の通りである

海城野砲第二聯隊砲兵中尉湯淺芳治氏▲鐵嶺衞戍病院一等軍醫加藤鉄吉氏▲陸軍獸醫學校一等獸醫市岡朝祐氏▲獨立守備隊第二大隊歩兵少佐粟屋幸弘氏▲海城野砲第二聯隊砲兵大尉白井直助氏▲陸軍騎兵學校騎兵大尉橋本演義氏▲關東軍倉庫三等主計正土晋氏▲陸軍通信學校歩兵大佐百武晴吉氏

吉林に醫療所

元長崎醫大教授醫學博士青木大勇氏はさきに來滿各地を視察したが今回滿洲國の諒解の下に吉林に醫學的施設をなす目的にて二十八日入港香港丸にて來連したがその規模並に施設等については滿洲國政府と接洽の上決定を見る筈であるが同地方の民衆は一大福音としてその成立を期待してゐる

河南丸で傷病兵歸國

約一歳に亘る北滿各地の戰闘に幾多の勳高き一等藥劑官丘邑章氏以下四十八名の戰傷病兵はその後各地の衞戍病院に於て療養中であつたが、愈々内地へ歸還すべく二十八日午前十一時出帆河南丸にて廣島衞戍病院より出迎への笠岡二等軍醫附添ひの下に懷しい故國へ凱旋した、埠頭には傷ましい白衣の勇士を見送る公私機關代表者を始め各學校、團體、官民多數手に手に日章旗を打ち振り五色のテープは漸く吹き初めた初秋の風に搖れて傷ける勇士の心を慰め凱旋の行を盛んにしたが萬歲と歡呼は埠頭を壓して艶々しく、定刻十一時白波をけつて船出した【寫眞は河南丸の出帆】

陸相と軍司令官が命名式に祝辭交換
第十師團管下四縣から獻納する
短波無線電信電話機

【東京特電二十八日發】第十師團管下の兵庫、岡山、鳥取、島根の四縣民は豫て愛國獻金を募つてゐたがその金額八萬五千圓に達したので從來の獻品とは全く風變りの軍用短波長無線電信電話機を陸軍へ獻納することになり先般來陸軍通信學校設計のもとに製作を急いでゐたが今月中に完成するので愈々來る六月中野電信隊で荒木陸相以下諸將官出席獻納縣民多數上京參列盛大なる命名式を擧げる事となつた當日は式場の陸相と奉天の武藤關東軍司令官と祝辭交換を行ひ又獻納代表と獻納地出身で滿洲に派遣されてゐる將兵との間に最初の通話交換をなすことになつてゐる

長春附屬地外へ邦人を拉致する
日滿官憲が出動調査

二十八日午前十時半頃一日本人が乘馬で長春附屬地鐵道北火葬場北方の附屬地外に出たところ附近部落民三十名と巡警四、五名とが合同して不法にもこれを捕へんとしたので該日本人は纔かに附屬地内に避けんと逃げだしたが群衆及び巡警はこれを追跡火葬場附近で取押へ附屬地外に拉致し去つた、この急報により長春縣公安局では直に出動、又長春警察署も急遽署員を調査に向けた【新京電話】

現銀掠奪事件
嚴重抗議提出

【天津特電廿八日發】曩に白河に於て大連汽船に積込みのため下航中のライターが積載した現銀八萬九千弗が途中官兵らしき匪賊の掠奪に會し其後抗議するも何等の結果を見ず今日に至つたが、斯くては白河航行の自由と通商が極度に脅威されるので日本商業會議所は決議文を天津總合商業會議所に提出し支那官憲に嚴重提議を要求したる結果總合會議委員會に於て省主席に對し嚴重取締方を要求する事と決した

借用證書を僞造行使し逃亡
告訴から門司で御用

市内彌生町居住門司稅關大連出張員遞信局書記植木悦郎氏は、二十七日午後九時頃大連署刑事室に出頭し、私文書僞造行使詐欺の名目によつて原籍山口縣豐浦郡勝山村當時市内彌生町二ノ五元遞信局官吏山田貴實(三二)の取押へ方を願ひ出た

植木氏の語る處によれば山田は元遞信局航空課勤務中、植木氏の隣りの官舍に住んでゐたものであるが、本年四月頃植木氏の印鑑を僞造し、借用證書を作製して市内信濃町百二十三高桑吉藏氏より金百十五圓又本月初旬市内磐城町一四三持田彦平氏より金五百圓を借用し、二十六日出帆のうらる丸で郷里に逃亡したが、二十七日右債權者二名よりの請求によつて始めてこのことを知つた植木氏は直ちに大連署に屆け來たものである

大連署では直に門司水上警察署へむけ山田貴實の取押へ方を打電したが、山田は本年春の行政整理によつて解職されたもので植木氏とはたゞ隣り合せて住んでゐたといふだけの緣故であるが、日常の出入融人その他も殆ど全部借倒してをり、他にも同樣犯罪を犯してゐる見込である、なほ二十八日正午門司水上警察より山田貴實を取押へた旨返電があつた

近く來滿の外務省巡査

【東京二十八日發】滿洲國及び支那の我領事館同分館に配屬される外務省巡査は文理科大内で三週間の教習を終へ二十七日午後二時四百七十名隊伍を組んで明治神宮に參拜午後四時練兵場で堂々分列式を行つた、文理大配屬の長谷川少佐の指揮で外務省の岩崎領事カンカン帽で憲兵山川警部、益田警部補等指揮で來月初旬ハルピン、吉林その他在滿領事館に三百五十名殘りは上海、天津、青島、濟南、廈門に赴任する筈で外務省巡査はこれで一千九百名となつた

村で一番のモボとモガが
駈落ち上陸第一歩を保護

奈良縣宇陀郡御杖村字菅野農業寺田金太郎(二一)並に同村高島サカエ(二〇)は村一番のモガ、モボとして村人の話題に上つてゐたが鍬持つて耕す中にいつしか戀を囁き遂に合意の上口さがない村雀の視野をのがれ廣い滿洲で愛の巣を營まんと去る十八日親兄弟には秘密でこつそり郷里を逃げ出し内地を見ために新婚旅行と洒落伊勢參宮を始め草津、京都、姫路、宮島と巡り、二十六日下關より香港丸に乘船二十八日午前八時大連に到着したが大連水上署では郷里よりの手配に依り漸く上陸してホッと息づく二人を連行目下郷里に電照中である

近く滿洲國で煙草專賣か
東亞煙草の重役來る

東亞煙草監査役秀村得一氏は決算後の當地支店工場の視察を兼ね滿洲國の狀況を調査する目的で二十八日入港香港丸にて來滿したが同社は滿洲國が煙草を日本同樣專賣制とする模樣でこの結果依賴安定等を期待して居り同氏の來連はその瀬踏みとも見られてゐる

夫君の許、滿洲へ華やかな一團
滿洲國官吏夫人來る

滿洲國建國以來鋭意その建設に全力を傾けて奮闘してゐた日本人官吏も同國の基礎も漸次安定し來たるにつれ漸く家庭を顧みる事になり内地に殘した家族をボツボツ呼び寄せる樣になつたが二十八日午前入港香港丸にて滿洲國財政部の田中理財司長、田村國稅科長、山梨會計科長並に總務廳古海文書科長等夫人や家族等が一番乘りとして到着それぞれ夫君の出迎へを受けて賑々しく上陸したが、今後續々來滿する豫定で滿蒙の炎暑漸く去ると共に涼風は全滿に吹きそめ溫かい家庭に建國の安泰を知る

獨逸製品の販路擴張を期待
最近の獨逸事情を語る
長井東大助教授が歸朝

わが國最初の海外留學者として知られた故藥學博士長井長義氏の令息東大助教授長井維理氏は豫てドイツハイデルベルヒ大學に留學中であつたが歸朝の途來連二十八日午前十時はるびん丸にて夫人同伴歸京したが氏はドイツの最近の狀況について語る

獨乙國民は戰後非常に困窮し重稅に惱みつゝその生活は益々逼迫して來てゐる、最近では家を賣る人は澤山あるが買手がない一軒の家を借りてゐる人は殆んど皆無だ、然し困つてゐるのはゲルマン人で猶太人は迚も金を持つてゐる、ヒットラーの率ゆる國粹黨は對ユダヤ人を相手として起つた國民運動であるがミリタリズムに雷同する大衆は國粹黨に多大の期待と後援とをなしてゐるので漸次その勢力は增大されてゐるがヒンデンブルグの勢力もまだ相當なもので氏の周圍にはまだ多數の權威者が集つてゐるので智識階級には信賴せられて居り今容易に天下が覆へされる事はない、ヒットラーが前皇太子を擁立する運動は南方に大きな勢力をもつてゐるがまだ一般化してゐない

ドイツが日支事變來日本に惡感情をもつてゐると云ふが獨逸も日本や支那の東洋に關する事は實際によく知らないのだ、それで歐洲の從來の何れもが侵略主義である處からその先入感から滿洲事變を見てゐる結果でよく説明すればさうかと諒解し一度でも日本へ來た人は日本贔負である、ウンガーと云ふ横濱に二十五年もゐたと云ふ人は日本の庭園や離舍を作つて樂しんでゐる、ドイツ人は外交的手腕に乏しいので兎角偏し易いが一旦信ずれば最後まで力をかす國民であるから反日感情も誤解をのぞけば後は簡單である、私の專門の化學の方ではドイツは純正化學と應用化學の連絡がよく取れてゐて今最も注目されてゐるのはセルローズ(或る纖維)より砂糖を取る事でこの砂糖は又人の食糧にはならぬが家畜の飼料に使用されてゐるがヴイターミンA・Dの如きは最近その實體を摑む事に成功し素晴らしい功績を擧げてゐる、最後に獨乙も滿洲國の成立に依り日本への感情を惡化したとは雖も企業家連中は新國家の建設と共に獨乙製品の販路擴張を期待し差して惡化してゐない

新記錄へ躍進の水上選手權大會
五十米決勝から開始

滿洲體育協會主催全滿洲水上競技選手權大會は廿八日午後一時より大連運動場プールにおいて全滿より選ばれたる百餘名の男女選手參加の下に開始この朝來南東の風強くプールに小波を立て水温二四度なれど新記錄へ躍進の選手の意氣すさまじく定刻三十分前より選手はプールに跳込んでウオーミングアップを開始す、午後一時貝瀨理事會長開會の辭を述べ五十米決勝より開始戰績左の如し

▲五十米決勝

一着永山秀男(一中)二八秒六、二着塚本和泉(撫)三着篠忠夫(撫)

スタート一齊に出て二十米では塚本、永山、篠、柳井並行し三十米では柳井一時リードしたが永山四十米よりスパートして出で塚本とタッチの差で勝つ

▲千五百米決勝

一着川崎茂(撫順)二二分四四秒四(滿洲新記錄)二着熊野雪夫(大一中)二三分一七秒(滿洲新記錄)三着央興隣(大連)

川崎、熊野、央の三者六百米まで平行、六百のターンで央やゝ落ち千米では川崎、熊野の差五米、川崎、央との差十米となり川崎のラップタイム十五分三秒ののち川崎益々好調一、二着の差甚しく約三十米を抜いて川崎勝つ

▲女子五十米決勝

一着土屋百合子(旅順)三五秒四、二着荒尾壽家(奉天)三着杉山春那子(大連)

三者三十米まで平行しいづれが勝つとも豫想されなかつたが土屋ラストで出で僅かの差で土屋勝つ

遞信局の庶務課長
近藤儀一氏來任

遞信省秘書課より關東廳遞信局庶務課長に榮轉せる近藤儀一氏は二十八日午前入港香港丸にて家族同伴着任したが、氏は遞信省へ入つて十二年その間約二年臺灣遞信局庶務課長として臺灣に在任したが前内閣當時は内閣秘書課にありその後轉じて最近迄本省にて敏腕を振つてゐた、氏の家庭は春子夫人その間に三男一女あり子煩惱として至極圓滿なる家庭の人である

滿洲は始めてゞ臺灣在職當時南支を巡遊した事があるし日獨戰爭當時は一分隊長として青島の攻略に從軍したきりでまるで知らない、然し内閣秘書課にゐたりしたので種々な人達と接渉した、當地には藤原地方課長や熊川經理課長を知つてゐるので寂びしい事はない【寫眞は近藤氏】

州內外對抗庭球戰

本社優勝盃爭奪本社主催州內外對抗硬球庭球戰は二十八日早朝の豪雨のためコートの手入に手間取り豫定を變更廿八日午後一時から中央公園滿鐵コートでダブル戰によつて開始された

州外 / 州內

鵜飼・村田 6—4 6—3 吉田・伊藤

鵜飼、村田組旅行づかれか第一セットに於て三ゲームを取られたるが次第に當りを見せ六四にて勝第二セットは鵜飼、村田組ネバリよくきゝ遂に六三にて村田組勝

中村・福眞 4—6 阿部・新井

兩軍一進一退の好接戰を演じたるが阿部新井組チャンスをつかんで第一回セット勝第二セットは中村福眞組リードし五對二に於て雨のため中止

中津町の被害甚大

【岐阜二十八日發】既報岐阜縣惠那郡中津町の洪水と山海嘯の被害は甚大で百七十萬圓に達す

中川映畫製作所主けふ來連

中川映畫製作所主中川紫郎氏は二十八日入港香港丸にて來連したが同氏は滿洲國紹介のため秦の高祖の史蹟を調査すると共に過般安奉線における滿鐵殉職社員の遭難當時の模樣を調査し映畫化する計畫を持つてゐると

三浦博士歸國

さきに開かれた工業化學會南滿支部發會式に出席中であつた旭硝子重役工學博士三浦愛三氏はその後滿蒙始め天津方面の硝子工業の視察中であつたがその目的を達し二十八日午前十時出帆はるびん丸にて歸國の途についた

けふ競馬中止

大連競馬主催の秋季競馬大會第二日目は廿八日擧行の筈であつたが昨夜來の豪雨のため馬場不良で廿八日は中止し廿九、三十の兩日に順延した

牛島少將歸京

歐洲視察の歸途來連せる陸軍教育總監部附牛島貫常少將は二十八日午前十時出帆はるびん丸にて歸京の途についた

天氣予報

二十八日晩 南の風強く時々雨

二十九日 北西の風 雨後天氣良くなる

各地温度

	廿八日午前十一時	前日最高
大連	二五、四	二五、五
旅順	二四、九	二五、九
營口	二一、一	二八、八
奉天	二三、〇	二九、七
長春	二四、六	二八、四

滿潮 午前八時五十分 午後九時十分

干潮 午前一時三十分 午後三時二十五分

國難日本刀 (77)

高桑義生作　京極佳夕畫

犠牲者(一)

その翌朝、お千と伊三次は、格別宿を引上げる氣配もなく、朝飯をすますと、落着いて茶を飲みながら

「つまり、あの二人のほかにも、別に一組あるといふわけだな。雑天堂に寢てゐた……」

と伊三次がいふ。

「まあ、さうぢやないかと思ふんですよ」

「何者だらうな?」

「ちよつと見當がつきません。今日からそれも探つて見るつもり。それに、昨夜、あゝして止めたけれど、あの人はけつして止めはしないから、今夜の樣子を見屆けなけりやあならないんですよ」

お千は弓之助が、自分のすゝめに從つて、今夜のあめりか人との會見を、中止しようとは考へてゐないのである。

「なんだ。では、今夜そこへ行かうといふのか」

危險だと知らせた自身が、危險な場所に踏み込まうといふ、お千の仕事は、常識では考へられない。

「さうですよ」

「せつかくの御親切が、それぢや何の役にもたゝない。第一、自分の身が危ないではないか」

「仕方がありませんよ。此方が親切で止めても、先樣には先樣の考へがありますから。あの人は、多分、そんな事に拘らず、出かけて行くに違ひない。どんな危險が待つてゐると知つても、一應は行つて見る、思ひ止まる人ぢやないんですから。まあ、屍込みしてしまふやうなら、多寡が知れてゐます」

「ほゝう、ぢやあ出かけるのを待つてゐるのか」

「早くいへば、そんなものでせう」

「驚いたなあ」

「ちよつと今夜は危ない橋を渡らなけりやあなりません。今夜だけは、あなたの助太刀を頼みたいんですけれど……お嫌?」

「今、捕まへさせてしまふのは、譯ふやうなあだツぽい眼差で、ちよつと惜い氣がするの。是が非でも助けてやらなけりやならない

……」

「フ、ばかな扉の入れようだな」

「お嫌なら一人でやりますのさ」

「いつたいそれだけの男なのかなあ。そこまで力こぶを入れられるのは、何さいふ果報な男だらう」

「やけますか?」

「やけるよ。だが、姐御のおいひつけなら、是非もないさ……」

「また……」

とお千は打つ眞似をした。

その日は、二人ともいちにち宿にゐて體を休めた。夕方近くなると、宿の番頭が入つて來た。

「御たいくつさまで……」

「何だな?」

「へえ、その、今日町ぶれが出まして、夜分の御外出は、お控へ下さいますやう……」

「フウム、どういふわけか?」

「手前どもに、くはしい事はわかりませんが、多分黒船さわぎで、諸方の方々がお入り込みになつたに就て、念のための御警戒と思はれます」

「なるほど、そりやあいよく遠慮をしろといふ事なのだな」

「はい」

「では、遠慮をしなければ、外出をしてもよい……」

「いゝえ、それは……一切夜分の一外出はまかり成らぬさ」

「さうか、それならばさうと早く申すがよい」

「相すみません」

「やり切れないねえ。あなた、つまらないから、二三日、蓮臺寺へ行きませうか」

とお千がいふ。

「それもさうだな。では日の暮れないうちに、早速出かけやう」

「左樣でございますか」

番頭は狐につまゝれたやうな顔をした。

笑ふ父

新興全發聲映畫　映樂館上映

人氣の絶頂にあるソプラノ歌手宮川美子を特別出演させて新興キネマが大日本音畫製作所と合同製作したオールトーキーである、ストオリはヤニングスの「肉體の道」の翻案であり、主演者松本泰輔の演技も亦、ヤニングス張りで力演してゐるから「肉體の道」の日本發聲映畫化と思へば間違ひがない

録音はキネトーン(ディスク式)によつたもので苦心のあとが充分に看取されるし、映樂館のWE式再生機では發聲効果も相當以上によく「子守唄」とは比較にならぬ長足の進歩振りで懸念された發聲効果の不安を一掃し更生した新興キネマ發聲映畫である

監督は木村莊十二に代つた松石修で手固い方で松本泰輔の演技に重點を置いて「肉體の道」の翻案再生に努めてゐる從つて主演者松本泰輔の力演は全篇を貫く大きな力で助演者では鈴木澄子の妖婦が大衆受けするだらう

問題の宮川美子は後半の三巻に出演して獨唱し母をいたはり、父の墓に詣で父と知らずにルンペンに金を惠む聲樂家として成人した長女元枝に扮し芝居らしい芝居をせず演奏會のステージに全力をそゝいだ悧巧な手法で活かされ「子守唄」の關屋敏子にくらべてこれまた大成功である、そして結局は宮川美子の人氣で呼ぶ發聲映畫である

本社特選 新棋戰 (其十)

先四段 △樋口義雄
四段 ▲鈴木禎一

【圖は七五金迄の局面】

▲鈴木氏 持駒 歩

△樋口氏 持駒 角歩四ッ

△五五角　▲六七金
△八八玉　▲五八龍
△九七玉　▲五五龍
△同　馬　▲七九角
△八六玉　▲八四香打

迄にて鈴木氏の勝

【土居八段總評】本局は鈴木君は序に於て四三金の構へで向飛車の戰法を用ひ敵の仕掛けを待つ意中に出た。この時樋口君は些か作戰を誤つた嫌ひあるも金の活用頗るよく三、四兩筋の歩を切つて着々と攻撃を圖り敵の三三角の惡手を利用して右翼を破つたのは鮮かな指し振りである。因て中盤の形勢は樋口君優勢であつたが平手將棋は少し位ゐ有望たりとも油斷は禁物である、二二飛と打つて攻勢を採らば自然成算歴々なるを飛車の運用を誤つたために攻撃運滞を及ぼし、續いて防戰を誤つた爲攻防ともに困難を生じ形勢一變した。鈴木君は中盤迄の駒損きは甚拙策で大に形勢を損じたが敵の惡手を逆用して巧に攻勢を執つて敵玉に肉薄し、そして四一歩打の安全策を用ひ大に善戰したので樋口君は反對に戰鬪力を滅じ折角の努力も効なく一局を放了したのは惜しい棋戰である。

【萩原六段解説】樋口氏の五五角は攻防兩様の手段で勝敗に拘はらず手筋である。鈴木氏の五五龍は自玉の安全を圖り然して七九角と打つて八四香の順となつては絶對の勝である。

お化粧の常識 三

怖ろしい含鉛白粉の鉛毒と乳幼兒との關係

殊に夏分に多い鉛毒性腦膜炎

中村吉右衛門丈

小兒は全く可愛いゝので、理くつでは一寸說明出來ない程のものです。それだけに良く／＼考へてやられば成らない譯で、私の所でもお隣と此頃は大分大きく成りまして、何彼と自分から仲々注文を出して居りますが、之が乳幼兒なんかですと何しろ物が言へないのですから、其の所が餘つぽどよく考へてやらなくては成らないので、今日は一つ此乳幼兒と、それから白粉の鉛毒との關係に就て、知つて居りますだけをお話致して見度いと思ひます。

と云ふのが、從來此夏分に成ると云ふと乳幼兒に

一種特別の腦膜炎

が特に增えまして、其死亡率が却々少くない、凡そ四五十パーセントも有ると云ふのでして、之を京都大學の平井博士が研究せられて之は鉛毒性の腦膜炎で、其主な原因としては、母親が使ふ含鉛白粉などが數へられると云ふ事實を發表せられましたのが、最う隨分以前の話で、最近博士は此御研究でもつて畏くも恩賜賞を頂戴して居られますが、誠に結構な御研究だと思ひます。

其後慶應大學の中鉢博士の御研究を聽きますと、母親のお乳の中に混じて居る、それこそ僅かに

十萬分の幾つといふ

極微量の鉛ですら乳幼兒には充分鉛中毒の症狀を起す事が出來ると云ふのですから、全く以て怖ろしい話で、つまり其白粉を使つてゐる母親には未だ何とも無い程度の微量でも、忽ち乳幼兒には害毒を目に見えて起す譯なのです。

母親の皮膚から入つた鉛がお乳から出て來るのださうで、時には勿論母親の胸の邊の白粉を嘗める事もある譯ですし、又此暑さの折柄アセモ等に良く無い白粉を塗つてやるとか、例の打粉の中に鉛が入つて居るとかの事もありませう

鉛中毒の症狀は

先づ初めに乳幼兒が不機嫌に成つて、何彼に驚き易く、それから色が蒼白く成り、消化不良の便を出し又吐くやうに成るのです。そして此時分に療治をしませんと愈々重症と成つて、意識がボンヤリして來て絕えず眠るやうに成り、全身に痙攣を起して終には一命に關する事にも成ると云ふので、まだ手足の爪や又齒の邊が黑く成るやうな症狀もあるさうです。全く

殘酷と云ふ外は

有りません。

斯ふ云ふ事を聞いて見ると云ふと、眞白く白粉を附けて居られる若いお母さん方を見ますと、若しや鉛を含んだ白粉では無いか、と他人事ながら直ぐと氣に成ります

と云ひますのが、今だに此鉛を含んだ白粉が何でも二割見當は有ると云ふ話なのですから、精々お氣をお付けに成つて頂き度いのです。それに娘時代に含鉛白粉を餘計塗つてゐると、お母さんに成つて止めても矢張身体に溜つて居たのが出てくると云ひますから益々

怖ろしい譯です。

御承知の稀薄の硫化ナトリウム液を滴らして見ますと、含鉛白粉だと黑く成るから、素人でも直に分ると云ひます。何しろ御自分の身体を臟くするばかりでは無いのですから少しでも疑ひの有るものは早速止める事です。

最近特に評判で、私共家庭の者は勿論、私など舞臺でも之ばかりを使つて居りますサーワ白粉といふのが、この

含鉛白粉を驅逐

する爲に生れた白粉で、御承知のチタニウム主劑に特殊の成分を配合したもので、絕對に無鉛で身体に無害なのは勿論、他方白粉としての其美粧効果に至つても昔の鉛白粉にズット優つて居ますので、明るく自然に極上品なお化粧が出來るのですから、御承知の方は最う皆さん之を使つておいでの樣で之で乳幼兒方の爲にも

大安心といふ譯です

サーワ白粉は分子が細かで觸感が快く、芳香も好ければ色調も良し、何方にも向い、從來に無く生々とした美しいお化粧が、それも譯無く出來ますのですから申分がありません。

折柄のお暑さですが、私ほどの汗でもお化粧が却々崩れませんので、又此白粉には日焦を防ぐ性質があり、同時に寫眞映りなども實に鮮明するのです。

打粉は何が良いか？

◇小兒の柔肌に打つ物
◇特別の御選擇が肝要

いよ／＼のお暑さですから、いくら注意はしてもアセモが出來がちです。殊に小さな小供達の爲には一日として此皮膚への打粉が缺かされませんのですが、何しろ相手は纖細微妙な肌の持主、小兒の事ですから、餘程此打粉は選ばないと、みす／＼小兒に害を與へる事に成り、飛んでも無い可愛相な結果に成る事が有ります。

勿論些しでも鉛分が入つて居てはいけず、又よし鉛分は無くとも衞生上多少とも疑問のあるやうな成分の混じて居るものは、極力避くべきは當然で、之は其小兒の保護者としての義務であります。

さて打粉の種類も數多い中にチタニウムを主劑のサーワ打粉は、特殊の成分を配合した從來に無い純無鉛無害の絕對安全の打粉であります。例へば彼の亞鉛華の如く多少とは云へ皮膚に對して收斂性や腐蝕性が有る如きもの又、醱酵性ある澱粉の如きなども、絕對に避けて居り、其分子の細かさ、感觸の快さは、宛で何に例へませうか如何に纖細な皮膚、又アセモ、濕疹等に打ちましても刺激性無く絕對安心なのであります。

夢にも粗惡な打粉等使はれぬやう、貴女のお子樣の爲に繰返してお願ひ致して置きます。

滿洲日報

一戸當り一圓廿錢で自力更生するか

田子氏鋭く農相に詰めよる

衆議院豫算總會（二十八日）

田子一民氏

二十八日の衆議院豫算總會は午後一時半、三度開會（夕刊參照）

田子一民氏（政友） 先般陛下より時局救濟の爲め内帑金御下賜あらせられたと拜承するが聖旨に對し政府の方針如何

山本内相 御下賜金の使途は地方長官に訓令を發し諸種の救濟事業に充當し出來るだけ全國民に皇恩の及ぶやう努めてゐる

永井拓相からも同樣の說明ありし後

田子氏 陛下御軫念あらせらるゝ程植民地の狀態が急迫してゐるのに豫算には何等窮民救濟の經費が計上してないとは思召に背く所以でないか

永井拓相 植民地救濟醫療施設は調査完了せざる爲め豫算を計上するまでに行かなかつたが成るべく速かに具體方法を決定したいと思ふ

田子氏 事情窮迫せる思召で御下賜金あつたのに政府はまだ調査も出來てゐぬ、暮の議會に出すでは濟むまいと思ふ

齋藤首相 植民地の窮民醫療施設は尙は不完全であるから年々改善に努めてゐる此の際思召を體し植民地官廳を督勵しなるべく速かに完備を期し度い

田子氏 政府の匡救策は不統一で不動產所有者には國庫補償するが負債整理組合法を見ると恒產ないものには國庫補償しないと云ふ矛盾はどう見るか

首相 夫れ等は主管大臣協議の上矛盾ないやうにやつて行く

田子君 地方民が請願の爲め上京せんとするのに之を阻止しつゝあるは内相の命令に依るや

内相 一概に陳情團の上京は阻止せよと命令した事はない、中に不穩分子が居るから注意するやう命じたのみ

田子氏 政府は自力救濟を高調されるが内務省の土木事業の勞力費に就て見ると本年度一町村八千圓、一戸當り十五圓に過ぎぬ月割にすると一戸當り一圓二十錢でないか之ではどうして自力更生が出來るか

後藤農相 一戸當りにしては然いかも知れぬが政府としては手取り早く効果の擧がる事業を選んだのである

なほ田子氏と後藤農相との間に農村負債整理組合資金問題で應酬ありし後

長島隆二氏

長島隆二氏（政友） 今回の匡救案で農村に融通される金は三億程度に過ぎぬ、藏相は之で農村に充分通貨が流通して行くと思ふか

高橋藏相 今日は信用回復が問題で通貨流通は問題でない、私は收縮した信用を回復すれば良いと思ふ

長島氏 大藏、日銀當局は爲替の前途を樂觀してゐるのは失態だ藏相は之等銀行當局を更迭する必要がある

高橋藏相 爲替銀行は投機をやるのが職務だ、爲替の均衡を圖るのが目的でない爲替相場がどうなるか判らぬのが當然だ、爲替相場を豫想したがるやうな者こそ爲替銀行の責任者として置く譯に行かぬ

と叱り附けるので高橋藏相、長島氏との間に感情的な問答を繰返す

長島氏 低金利政策を全からしむるため日銀の利子を思切つて下ぐる意志はないか

高橋藏相 私にそれを云はせやうとするのは間違つてゐる、日銀は自給自力でやるべきだ

長島氏 公債の利率を引下げては如何

高橋藏相 無理をして下げるべきでない

長島氏 今日は既に無理な時代にあるから多少無理をして公債をせつと發行しては如何

高橋藏相 私はそう云ふ無理なことはせぬ

長島氏 暴落せる爲替を放置して良いか

高橋藏相 爲替は下つたから惡いのでない、賣買の均衡が問題だ完全な安定策は爲替管理から貿易管理まで行かねばならぬ、それはもう少し形勢を見てからのことだ

と答ふれば

長島氏 やり方が運過ぎる

と云ひ更に率勢米價削除の政友案に贊成するかと後藤農相に當れば農相は婉曲に反對の意を表明する

長島氏 農相は負債整理資金を出す積りか

後藤農相 預金部資金の許す限り出す考へである、金額は豫め云へぬ

長島氏 政府の匡救案は不徹底である、首相はこれで充分と思ふか、若し院議がこれ〳〵となすべしと決定した時首相は之を民意の現はれとして追從するか

齋藤首相 今議會に出したのは今年度分で勿論充分とは思はぬ、院議云々はその時にならねば判らぬ

と逃げ次で小川鄉太郎氏と高橋藏相との質問應答あり六時十分休憩し七時半再開

小川鄉太郎氏（民政） 負債整理組合のため資金が必要な場合は預金部から制限無く融通するか

高橋藏相 預金部を破壞する譯に行かぬから限度はある

小川氏 預金部の金が無くなれば同部所有公債を日銀に處分して其の金を出してやるか

高橋藏相 必要な場合に出せれば出してやると云ふ外ない

と突放し

小川氏 前議會で可決された在支邦人復興資金貸出がまだ實行されてゐないのは何故か

内田外相 遠からず貸出を實行するに至るはず

小川氏 爲替安定案に對する藏相の御考へがはつきりしない

と藏相の意向を質せるも藏相相手にならず小川氏は「藏相は窮すれば返事なさらん」と滿場を笑はせる

小川鄉太郎氏

小川氏 爲替下落に依つて蒙る公共團體の損失に對し國家が策を講ずる必要はないか

高橋藏相 民間會社が好景氣時代に募集した外債が下落したからさていち〳〵取合つて居られない

後小川氏爲替安定策につき追及した後「徐ろに策を立てられ度い」と結ぶ、次で高田耘平氏（民政）は農民負擔の過重を說いて藏相の考慮を促し最後に小作法制定に關し制定の急務を說き之に對し

後藤農相 研究してゐるが今のところ出すとも出さぬとも決めてゐない

と答へ次で津雲國利氏（政友）より動議として明糖問題討論のため中島主稅局長の出席を要求し午後十時十分散會、二十九日午前より續開のはず

米國へ使節特派 野村參議官に內定

日米外交の禍根を除去

【東京二十八日發】日本政府が獨自の關係に於て近く滿洲國を正式承認せんとするの意志を聲明するに至つた結果、日米國交上暗影を投じ今秋の聯盟總會を中心として列國の對日態度の硬化と關連し兩國外交上兎角の不安が豫想されて居るが、日米外交の惡化は畢竟米が日本の對滿政策の基調を諒解せざるに基くものにして此種の禍根を除き日米の外交を正道に引戻すには日米外交並に海軍關係に共通的識見を有する適當の大人物を米國へ派遣し直接米國務省及び海軍當局と折衝し諒解に盡力せしむる事が萬全の策なりと考慮せるためか政府は内田外相の進言に基き今回軍事參議官海軍中將野村吉三郎氏を米國に特派使節として派遣するに內定し同氏の受諾次第近く正式發表の手續を採ると、日米外交がやゝもすればその底流において危機を傳へられる折柄米國に最も理解ある野村中將を使節として派遣することは內外の注目を惹くものと見られてゐる（寫眞は野村參議官）

議會々期 延長三日間か

【東京二十七日發】政府は議會會期延長を大體三日間とする意向で之が詔書は議會最終日即ち三十日官報で公布、それまで期日の餘裕があるから最後決定を行はず、今後の情勢を見た上三十日臨時閣議で正式決定の方針である

けふの議會

貴族院【東京二十八日發】二十九日の貴族院本會議は休會、午前十時より請願委員會のみ開く

衆議院【東京二十八日發】二十九日の衆議院は午後一時より本會議を開き傷痍軍人戰功傷病死者遺族等の鐵道船舶搭乘、社線待遇に關する法律案外十八件上程委員附托をなし、國務大臣に對する質疑續行、田中貢、朴春琴氏等の質問有るはず、なほ午前、午後に亘り豫算總會、其の他不動產融資損失補償法案、產業組合中央金庫特別融通損失補償法案、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、金錢債務臨時調停法案、商業組合法案、市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案等の委員會及請願委員會が開かれる

日本政府は爲替對策を施さぬ

園田正金支店長聲明

【ニューヨーク二十七日發】正金銀行ニューヨーク支店長園田二郎氏は二十七日左の如く米新聞に聲明した

圓爲替相場最近の暴落は主として上海、大連に於ける投機市場の思惑の結果である、圓相場は近き將來に回復する事確實だから日本政府は圓爲替相場を維持する爲めの何等の措置も講ずる意圖がない、投機者は日本政府が何等かの國際紛爭に捲込まれるものと見越して思惑してゐるがこれはあたつてはゐない、現在日本には何等過度のインフレーションも行はれてゐない、將來も行はないだらう、日本政府が外債利子支拂ひ猶豫を要求するかもしれぬとの報道があるがこれは全く滑稽な話しで日本國内の商況は外國貿易の關する限り著しく改善された

外貨公社債と內地復歸額

【東京二十八日發】最近の調査による外貨公社債の現在高平價換算は二十億九千六百九十一萬九千圓で之が一ケ年の利拂額は一億千四百十萬圓に上ぼつて居る、而して五月末迄の外貨證券內地復歸額は五億九十餘萬圓でなほ在外資金として殘存せる額は八億二百餘萬圓である

外交方針演說中の内田外相（貴族院で）

政府と妥協せず堂々と政策審議

政友會の態度決定し出身兩閣僚から報告

【東京二十八日發】高橋、鳩山兩相は二十八日午前政友會緊急幹部會に出席したが政友會としては政府との妥協を排擊し政策審議は飽く迄白紙の立場から審議を進める事に決定したので兩相は午後一時院內大臣室に參集の各閣僚に報告諒解を求め總議時に種々意見の交換をなした、なほ牧野遞信政務次官も午後院內に開かれた政務次官會議に政友會の態度決定を報告する所あつた

眞相判明し政友有志引返す

【東京二十八日發】政府と黨幹部の妥協說に憤慨した政友會有志代議士は二十八日午前十一時本部に參集し委員七名を擧げ眞相を調査した結果全く無根と判明し直に議會に引返した

妥協說から政友硬化

デモを敢行し

【東京二十八日】政友會は政府との妥協成立說に憤慨し本日の各委員會の審議を中止し本部に引揚げ一大デモを敢行したがこの妥協說は本據なき事判明審議を續行したが政友幹部始め代議士連は納まらず強硬派は之を理由に黨內硬化を圖り自重派の政策本位派も政策的讓步は絕對出來ないと主張し政友會の米穀法改正案、負債整理組合中央金庫法案の原案通過を支持してゐるので政府の贊否に拘らず貴族院も通過するを期してゐる

率勢米價問題で

民政、永井拓相を激勵

【東京二十八日發】率勢米價に關し民政黨は頗る重大視し二十八日午前十一時町田、松田、櫻內、賴母木、小山五首腦部會議を開き永井拓相の出席を求め政府の狀況を聽取、之に對し幹部は

民政黨は政友會提案の率勢米價削除案には絕對反對である、政友案は米價を無基準にしやうと云ふ亂暴な案である

と述べ永井拓相を激勵午後一時半散會した

民政黨は飽迄反對

妥協を排して

【東京二十八日發】民政黨首腦部は率勢米價の削除を骨子とする政友會提出の米穀法改正に絕對反對の意向を決し永井拓相を鞭撻し閣議に善處すると共に後藤農相を勵まし政友案反對態度を貫徹するやう希望することになつたが實際上は民政黨の反對にかゝはらず衆議院を通過すべき形勢に在るも元々率勢米價は貴族院の希望に依り民政黨內閣で作つたものなれば貴族院で握り潰しとなるは明かで民政黨は飽くまで妥協を排し反對態度を固執する方針であると

今朝態度決定

【東京二十八日發】民政黨は率勢米價削除案には絕對反對の態度を持してゐるが二十九日午前九時院內に幹部會を開き黨の態度を正式に決定するはず

率勢米價撤廢

農相は飽迄反對

【東京二十八日發】別項閣議で政友會の主張を容れ率勢米價を撤廢

外相の演說に狼狽 血迷ひ言を吐く

羅文幹外交部長が

【南京二十七日發】內田外相の演說に對し國民政府當局は周章狼狽の態だが外交部長羅文幹は本日支那記者に對し非公式左の聲明した此の聲明は廿九日正式聲明として中外に公表される

日本は先づ武力で我東北を占領し次いで叛徒を引率して傀儡をなし叛徒が自發的に支那から獨立したなど、言つて居る、かゝる芝居は拙の拙なるもので世界の何人と雖も欺瞞されまい日本が武藤大將を滿洲に派遣せるは往年の朝鮮總督と完全に同じ使命をおへるものだ、列國は日本の此の種欺瞞政策に對し正義に立脚せる公平なる判斷をなし國際上の正當な制裁を日本に加へん事を切望す

滿洲國承認を米政府焦慮

治廢の形式で行はんと

【ワシントン二十七日發】米國々務省では過般の帝國議會に於ける內田外相の演說に依り日本の滿洲國承認は最早時期の問題であると見做し、早くも日本政府の滿洲國承認に依る結果を焦慮研究して居るが日本政府の滿洲國承認は滿洲に於ける治外法權撤廢の形式を以て行はれるのでないかと見て居る

國際反戰主義大會

アムステルダムに開催

【アムステルダム二十七日發】開會を危ぶまれた國際反戰主義大會は愈々本日當地に開催された、大會は世界各國代表二千餘名のインターナショナルの熱狂的參集に依つて開始された、大會準備委員フランス代表文豪アンリー、バルビユース氏は開會の辭を述べて曰く

今や我々は世界文明を抹殺せんとする第二次世界大戰に直面して居る、我々はこの戰禍を未然に防止せねばならぬ

久振りに時局談

蔡廷幹氏北平へ赴く

段祺瑞時代に外交總長として明敏な外交手腕を謳はれた蔡廷幹氏は大正十五年政界を退きその後大連市惠比須町の寓居に悠々風月を樂しんでゐるが廿八日午後五時出帆長平丸にて目下北平の米國中學に在る令息の上級校入學斡旋のため約一ケ月の豫定で旅行した、氏を船中に訪へば語る

現在の中國は國民黨の若い人達の舞臺で私の樣な老骨の出る幕でない、南京政府には青年政治家に有能な人が多い、然し今後の事は何とも云へない、學良の過去の事は云へても將來の事は判らない、學良の如く下野するとかしないとか曖昧な事は私は好まない、滿洲は天然の富源は豐かでありその將來は輝かしいがこれをうまくやるか否かはその人にある、現在滿洲國官吏の中で私の知るのは羅振玉一人だが同氏は立派な人だ、私は既に政界を下野して數年風月を友とし讀書三昧に耽つて居りその心境は「余是天地濟然翁」であるこの間から唐宋時代の詩を英譯しシカゴ大學に送つたが、それは出版される筈で今は日本の姓氏錄を編纂してゐる、自分は海軍から出て大將となり日本の東鄕元帥や樺山大將とは昵懇であるが革命後政界に入つたのである、然し今は「アイドント、アスク、アイドント、ノー」で聞きもしなければ聞こうともしない、何でこの老骨を以てこの多岐な時代に處する事が得ようか迚もそんな氣はない

米佛間通商條約改訂の交涉

【パリ二十七日發】米佛間に商議を重ねて居る通商條約改訂交涉は左程廣範圍に亘らぬと報ぜられて居る、フランスに最惠國約款を締結せんとしつゝある米國はその代り關稅法規に於て若干の讓步をなすに留めたい意響である

官吏は減俸すべし富豪は增稅を

佐々木多額議員大に捲くしたつ

貴族院本會議（二十七日午後）

【東京二十八日發】貴族院本會議は午後一時四十分再開、日程を變更し

一、請願委員長報告

を上程、淸岡委員長の經過報告ありて後、國務大臣演說に對する質疑に移り

勝田主計氏（研究） 昨日の政府の答辯にまだ不滿あるも其の意思は通じてゐると思ふ

とて追究を止め、次いで

長尾元太郎氏（同成） 政府は本總豫案にて農村、山村を救濟出來るか、次期議會に積極策を提出するや、本案作成に當り農相は農村、山村を視察したか、木材關稅を引上げないで木材値上げを爲す意思なきや

有馬農林次官 本案急速は根本的のものとは思はぬが來議會には努力する、木材關稅引上げの意思なきも官有林拂下げ手控へに依り加減してゐる

佐々木志賀二氏（研究） 七年度豫算は經常歲入に於て一億二千萬圓を減少し、歲出に於て二千百八十八萬圓を增加せるは救濟の爲め御下賜金を戴いた御趣旨に反する、又財政補に際し官吏の減俸や寄附は當然で富豪には增稅し我々も多額の金を使ひ議員に成つたが夫れでも多少の寄附はする殊に勅選中三千圓の歲費の外莫大な恩給を取るもの等大いに寄附すべきである、なほ議員は旅費の外にパスを出してゐるがこれなど無意義で不當である、斯る處から改めれば自力更生は至難である、又田畑を抵當に大學より高文をパスさせて結局高等遊民にしてゐるが一體學校や教育費が多過ぎる文相は如何に見るや

と手振り面白く捲し立てる

鳩山文相 高等學校入學數は全國に於て二校を廢止に相當する程減した、中等校に對しても同樣趣旨で進んでゐる

堀切大藏次官 歲出を減す事は產業上大影響あるのであの程度で止めた

之にて通告順による質問を終り、午後三時三分散會した

五・一五事件秘密會の應答

【東京二十八日發】二十八日の貴族院に於ける秘密會では

阪本釤之助氏 ○○○より手交された六千圓の出所如何

小山法相 判明しない

松村義一氏 ピストルの出所判明せるや

小山法相 判明して居るが報告し兼ねる

松村義一氏 ピストル、手榴彈、爆彈は如何なる徑路を經て彼等の手に入れるや

小山法相 ピストルは○○○が朝鮮で手に入れ一味に手交し手榴彈は上海に在る○○から渡つたものである

その質問應答あつた模樣である

いよ／＼九月七日 晴れの帝都入り
本庄將軍の凱旋日程

偉勳に輝く本庄前關東軍司令官は武藤全權と事務引繼ぎを終りいよ／＼二十九日午後一時二十七分奉天發列車で晴れの凱旋の途につくこととなつた、この日武藤全權、小磯參謀長以下各將星、八田滿鐵副總裁及び將軍見送りのため特に來奉した參謀府次長張燕卿、外交總長謝介石、奉天省長臧式毅以下日滿各要人の賑やかな見送りがあり沿道には軍隊在鄕軍人、日滿男女學生兒童、青年團等が堵列して行を盛んにする、將軍は午後一時より發車まで驛內貴賓室で軍司令部幕僚、在奉各部隊長、滿洲國代表其他各方面の代表を引見して挨拶を受け出發、三十日旅順を訪問、九月二日午前十時大連出帆のうすりい丸で神戶に向ひ五日神戶着、一切の歡迎を辭退し直に上京の途につき國府津一泊七日午前十時東京驛着、凱旋將軍として晴れの入京をなす豫定で着京後宮中の御都合を伺つた上直に參內前軍司令官として委曲上奏することに決定した【奉天電話】

各鐵道を統轄 東支線改稱
滿洲國の鐵道政策

滿洲國では國內鐵道が舊軍閥時代國營のものもあれば半官半民の株式のもあり且つ個々獨自の經營であつたゝめこれが統一を圖ることが最大急務とし着々準備中であるが吉長、吉敦、敦圖、吉海の四線を吉林鐵道管理局に隸屬せしめ、現在の吉長鐵路局を吉林に移轉に決定した外奉山、瀋海、四洮、打通の四線を奉天管理局に洮昂、齊克、呼海の三線を黑省管理局に統一せしめることゝし滿洲里、ポグラニチナヤ間ハルピン、新京間の東支鐵道は之を特別線とし北滿鐵道管理局に改名するに決定した、これについて交通部總長丁鑑修氏は語る

東支線の北滿鐵路管理局の改名は事實でこの改名には東支關係ソウエート方面でも異存はないかを本國政府の意向を聞きその命令を待たねばならぬ事情があるので目下申請中になつてゐる、勿論實施するものと見てゐる、支那でもなければ中國でもない純然たる滿洲國であるため東支とか中東とかの名は自然意味をなさないことになつてゐる【新京電話】

獨逸經濟復興案
輸入大制限を強制か

【ベルリン二十七日發】首相パーペン氏のドイツ經濟復興案秘案は二十八日ウエストフアリヤ農民聯盟に於ける演說會で公開一般の觀測によれば左の諸項を含むと

一、輸入大制限
一、三分の資本家稅又は財產に對する強制募債
一、相續稅を三分から一割三分に引上げる

首相はこの政綱を議會の協贊の有無に拘はらず全ドイツに強制的に實施せんとすると傳へられ實業家方面では早くも不安の空氣見え諸外國では報復手段としてドイツ品に重稅を課するものと觀らる

滿洲國の各總長
廿八日赴奉す

前關東軍司令官本庄中將は二十九日奉天發晴の凱旋をするので滿洲國では鄭國務總理を除き各部總長は見送りのため二十八日午前八時半發急行にて新京を出發した、丁交通部總長を最後として全部赴奉した【新京電話】

水上交通の調査命令
各省に對して

滿洲國交通部では鐵道網道路網等の完成を期し着々具體案を作製しつゝあるがこれと併行すべき水上交通は未だ等閑に附せられてゐる傾きがあるのでこれが統一發展を期するため各省水運關係當局に對し各地水運の狀態、水運の組織、水運の關係及びその所屬水道關係、舊規則法についての調査報告を要求するところあつた【新京電話】

八相
五十行以內 中傷はさらず 投書歡迎

滿洲號は何處へ
一市民生

◇私達の滿洲號として全滿人より集めた募金は一體何處に行つたのであらうか、多額の金錢を集めたけれど今に其の滿洲號の勇姿を見る事が出來ぬ
◇國家のため金錢を言ふに非されど我々細民が二圓なり三圓なり出した滿洲號も結局時代のインチキなるや否やを疑ふ。
◇一體滿洲號は何處に飛んで行つたのか。

お答 飛行機獻納義金募集額は二十六萬五千五百餘圓の巨額に上つたので軍部と打合せ飛行機三機、裝甲自動車二臺を獻納する事になり、此の見積價格二十五萬圓を陸軍大臣宛に送金したが其後軍部の希望により戰鬪機二機、通信連絡機五機を獻納する事に改め目下之れが手續中である、殘餘の一萬數千圓で募集費を支辨し殘部は獻納命名式その他の費用に充て尙剩餘金ある時は全部飛行機操縱費として關東軍に寄附する豫定である、因に寄附者名簿は目下印刷中であるが調製次第關係方面へ配布の豫定である（滿洲號飛行機獻金中央委員部）

鋤奸團の排日貨が重大な結果を招來
秋季實需期を控へて 邦商、影響深刻

【天津特信】上海に於て一青年により試みられた鋤奸團の行動は端無くも不況と排貨に重大なる影響を受けてゐた邦商に對し更に一層深刻なる

打撃 を與ふる動因となり此傾向の急激に除去されさうにも見へない現狀に於て前途決して樂觀を許さないものがある、現今一般の觀測は鋤奸團の行動は國貨提倡會の策動である故此れ以上猛威を振ふ事もあるまいし其行動は或程度まで誇張されてゐる故その根強さと壓力が何の位のものか判らないが大したものであるまいと看て居り、亦某所に入つた信ずべき筋の報道には極めて樂觀せる次の如き情報もある

現在の排日貨運動は國貨提倡會（紡績等を背景とする）の策動に基くもので日本商品と

競爭的 地位にある商品を取扱ふ連中の一部の煽動運動で銀行筋は全く排日なるものを問題視せずそれより此次の政變に對して注意を拂ひこの政變が將來の日支關係を緩和せしむるものと豫測し排日運動はこの政變により見れば枝葉末節に屬するものであるから政變の好結果が得られると共に其影を潜めるであらうと見てゐる

然し現在の實情よりして斯る觀察が正しいかは大きな疑問とされ昨年の事變後天津の有力なる支那綢緞布商は殆ど休業狀態で日本商品が

自國 商品に比して三四兩割安でも一向見向もせず取引を中止してゐる、故に其後綢緞布を扱ふ支那商は極めて信用の薄弱な商人のみでこれを相手に取引は進められてゐた、然るに過般鋤奸團が天津に潜入して爆彈事件を起すや此等の商人は極度に恐怖し全く日貨の取引を斷念して特に爆彈に見舞はれた綢緞布商は既に店員を解雇し閉業してゐる始末であつて從來の沒收とか罰金なれば更に裏を行く方法が有つたが今度の爆彈丈は豫想外の恐怖を感じ日貨の取引は全く

停止 され邦商に對する重大打撃となつた、以前に比し信用の複雜な支那綢緞布商を相手に鋤奸團の影響を輕視し取引を行つた邦商は大小に拘らず意外な打撃を蒙つてゐる卽ち既契約品の決濟は勿論のこと秋季實需期を控へての今日である故各洋行共充分の手配を爲したる際だけその影響は深刻である、その他の商品に對しても殆ど同樣の結果を與へてゐる只今日は鋤奸團の活動が永續性があるかどうかにより市場復活の見込みがあるが日本當局官憲よりの抗議に對して前王樹常主席は極めて

冷淡 な態度で「愛國運動と個人の自由意志は取締る方法が無い」との口吻を洩らして居るし過般爆彈事件の際も支那側官憲は之を包圍し乍ら敢て逮捕せず却て鋤奸團より全區署に對して「愛國運動を妨害すれば爆彈を見舞ふぞ」との脅迫狀を叩き付けられ今日まで等閑に附してゐる狀態である故彼等の狂暴を除去する事は不可能な狀態に有る、此れ等の實狀よりして鋤奸團の狂暴は終結する見込が無いとすればそれだけ日貨通商に與ふる打撃は甚大で前途憂慮されてゐる

熱河踏破記（8）
賊に近づかぬ討伐兵

熱河軍は東北邊防軍の一部隊として七旅團兵數約五萬、湯玉麟之を統率してゐる。兵の給料は一ケ月四元五〇仙で、この內より食費として月三元乃至三元五〇を天引する、それも一ケ年に亘つて不拂なのだ。從つて兵の惡化は想像外で殆ど公然小盜を働くのである、これに反し馬賊の勢ひは怖るべきものがあつて反對に益々擴大の形勢を馴致してゐる。だが、賊には決して近付けない。賊に接すれば直に豹變するからだ。こゝに於て官兵の討伐は一種の示威出張となり討伐卽ち屯する地方での掠奪暴行を意味するのである。憐れむべきは二重の誅求を受くる地方民だ【寫眞は熱河省城の一部】

有耶無耶となる 汪、張の喧嘩
廬山會議が幕を下す

◆汪精衞の打つた芝居は、一時異常なセンセーションを起し、さては雨となるか嵐となるか、何れ只事では濟まないであらうと氣遣はれたが、案外にさしたる變化も齎しさうになく聊か氣拔けの感がある位だ

◆元來汪の遣り口は女の樣なところがあり、今度の張學良彈劾も上海では一般に評判がよくなかつた、と云ふのは少しも正々堂々たる所がないと云ふのであるがそれと云つて張學良に同情するものもあまりない樣である、汪が泥棒といへば張は泥棒した覺えはないと辯解するところ、恰も女と子供の喧嘩の樣で何れも大人氣ないこと夥しい

◆さて汪は何故學良を彈劾したのであるか、一般では今尙種々の臆測を逞しうし或は「蔣介石に依賴されて」と云ひ、或は「韓復榘に依賴されて」と云ふものがあるあまりに穿ち過ぎた說ではあるが元來汪の策略は常に念が入つて居り、且張學良の存在は、汪個人の場合、何も眼の上の瘤と云ふ程の邪魔物でもないし、或は主動的ではなく他の方面より依賴されたと觀るべきかも知れない

◆併し問題はたゞ學良が果して實際に下野するかどうかに係つてゐる、尤も彼は既に下野通電を發表し中央政府も亦彼の下野を承認した、だが、彼は中央政府が彼の辭職は、待つてゐたとばかり之を許容し、汪に對しては政府要人總掛りで慰留してゐる片手落ちの處に大いに不滿をもつに至り、之は部下各將領の學良の下野及反對表示となつて反映されてゐる、卽ち部下各將領中には蔣介石にして若し賴むに足らないならば、この際中央と緣を切り、華北各軍の獨自的立場に歸つて獨立すべしと力む者すらあり、學良も亦將來の保障が着くまでは北平を去らないとの意志表示をなしてゐる、こうなつて來ると事聊か面倒であり、國民政府、特に蔣介石としては何としても、これをうまく收めなくてはならないが、蔣には果して如何なる策があるか

◆元來蔣と云ふ人物は、彼に取つて强敵と認めるや、凡ゆる手段を用ひて妥協を試みる、またその手際もなかなか鮮かである、曾て蔣、閻との妥協、學良との妥協、近くは汪との妥協等々、世人の意表外の事を容易にやつてのける、それは相手の弱點、卽ち相手の欲するものを簡單に與へることによつて成功するのであるが、併し今度の場合は、三角形の妥協である、而も汪は行政院長と云ふ最高地位を有し、張は華北に尨大なる地盤を有してゐるし、それ以上のものを與へる譯に行かない、卽ち利を以てすることが出來ない、故に與ふとすれば汪、張の双方に相當の面子を與ふる外ないが、これまた双方の面目を立てることは容易ではない、蔣の惱みは全くこの點に在り、廬山會議で果して如何なる妙計が案出されるか興味ある問題であるがさすれば、蔣は最後の苦肉策として、或は剿匪總司令解職の意志表示をなすのではないかと觀る向もある

◆併し汪にせよ張にせよ、その辭職或は下野が本心でないことは最近の言動によつて證明される、卽ち汪は、斷然下野すると云ひ乍ら、廬山會議に出席し、張は直に外遊すると表明し乍ら將來の方策が立つまでは北平を動かないと居直つて來たから、或は案外あつさりと手を打つに至るかも知れない、且つ蔣には已に喧嘩を成敗するだけの威信もなければ力もないので、纖かな方法による解決を求めるより外はないであらう、卽ち廬山會議は、この問題を有耶無耶に葬るための會議だ

天津の排貨運動 實業部長が後援
爆彈で效果をあげる

【天津特電二十六日發】最近天津方面に權威を擁つてゐる鋤奸團は國貨の販路擴張を目的とするもので其首謀者は張之廉と呼ぶ排貨運動の急先鋒で此れを裏面で援助せるは上海排日の巨頭である綿布商會長王曉籟であるが、上海を始め天津其他各地に於ける爆彈の脅威が非常に排貨に奏功して居るので國民政府實業部長陳公博と密かに之を援助してゐると云はれてゐる團員は何れも青少年で數名乃至十數名の團體であつて上海で最初日貨取扱ひ商に對し爆彈を投じた陳芳憲は二ケ月の有期徒刑に處せられたが右排日鋤奸團の熱心なる奔走により愛國運動の犧牲として過日釋放された點より見て官憲當局がその狂暴に對し充分の諒解を持つてゐる事が解るが何にせよ斯る團體の活動は商民に對して重大な脅威である

溥儀執政に新任挨拶
武藤全權が卅一日赴京

武藤全權、小磯參謀長は二十九日本庄中將を見送つた上三十一日午前六時五十五分奉天驛發列車で新京に向ひ溥儀執政を首め滿洲國政府要人を訪問新任の挨拶を述べ九月一日午前八時半歸奉の豫定である【奉天電話】

武藤全權の入京と警戒
警備機關の協議

着奉した武藤全權大使は近く新京を訪問し滿洲國政府要人に對し新任挨拶をすることになつてゐるが長春ではその入京に先だち二十九日午後一時より長春憲兵分隊において日滿軍警各警備機關の首腦者全部が參集して警備方法打合せ會議を行ふ筈で、その結果により武藤大將の入京の日取が決定する【新京電話】

紐育株式强調

【ニユーヨーク二十七日發】株式は米棉高、小麥その他好調に强調を續け公益事業株は上伸びの發達となり四弗餘高を告げたものもあるスチール株は高値四十九弗、引値は前日より八分の五高の四十八弗八分の三と五十弗關門に肉迫の勢ひを示した

米棉が暴騰

【ニユーヨーク二十七日發】米棉は織物工業好轉の報に俄然センセーショナルな暴騰を演じ各限共一俵二弗半以上も吹き上げ只一日で四十八乃至五十六ポイントの値上りを示めし現物も九仙二十となつた

うすりい丸船客

【門司特電二十八日發】三十日大連入港豫定のうすりい丸の主なる船客諸氏左の如し

陸軍少將本庄要三、東大敎授矢內原直雄、同西謙、大連市長小川順之助、大阪女專校長伊波菊次郎、滿洲國官吏原喜四郞、撫順炭販賣會社岩崎恒義、同渡邊秋之助、滿洲國官吏三浦錄郞、同中條繁也、大森順一、寺岡信人、谷本中尉、丹下政治、代喜順高、星野桂吾、横井夜雨、一見鹿造、鑛井八郎、奉天商工會頭庵谷忱、江川忠、一宮眞重、園部一郞、兒玉吞象、由利元吉、石井三二馬、加藤久男、田村一郞

人事

▲蔡廷幹氏（元中國外交總長）二十八日午後長平丸にて北平へ
▲張孤氏夫人（國民政府前財務總長夫人）同上
▲深水菊太郎氏（前黑龍江省軍事顧問）同上
▲王靜修氏令息（滿洲國軍政部次長令息）同上
▲紺野順次氏（延吉海關書記長）二十八日午後九時半發列車にて龍井村へ

大觀小觀

議會秘密會で說明された、血盟團、愛鄕塾の陰謀の概略が新聞に出た▲今までに知られた所より、格別新しい事實もないが、まとめて見れば今更戰慄を感ぜざるを得ない▲非合法的の政局脅威は何としても許すべからず、國民全體がモットしつかりすべし▲武藤大將、關東軍司令官としての第一の訓示を出した、其中に、王道立國の滿洲國を以て、皇道日本の儔と爲すと陳べてゐる▲王道と皇道、蓋し同胞の兄弟である▲本庄將軍、本日來連、重任を武藤大將に讓つて、肩輕く▲將軍一年間の勞苦は山々だが、其功績も亦山々、機敏にしてあせらず、重厚にして機を誤らず▲世界史上大事業の基礎を、立派に作り上げた其の行動、蓋し有史以來の偉觀だ▲中將離奉に際して、在滿同胞と、滿洲國人とに、各別に告別辭を出した▲王道樂土建設の爲めに、日滿人の協力せんことを懇々と訓へてゐる▲又兩國人に對して、離々と哀別の情緒を陳べてゐる▲兩國人、赫々たる將軍の武勳を仰ぐと共に、深くこれを感謝するのも偶然でない▲山岡前長官の送別會が昨夜開かれた、任期短かつたが、東奔西走してよく滿洲の新形勢を利導した▲殊に警備充實、四頭政治統一に對する獻替など、其功永く沒すべからず▲學界政界に地位あり前途を有する山岡氏が滿洲の認識を體得したことは意義深い。

下章黨に來襲して 市街、驛に放火 撫順また嚴戒

數日前海海線を襲撃せる頭目李春潤以下三百名の兵匪は二十八日午後一時半頃突如下章黨を襲撃し市街及び章黨驛に放火し同地守備隊と激戦して夕刻東北方に退去したが同地は撫順坑區最東端より二邦里半の近距離につき當地守備隊警察防備隊は全員非常召集の上市街及び坑區全線の警戒についた【撫順電話】

我兵二名死傷

撫順守備隊井上中尉以下〇〇名は兵匪襲撃の報に急遽下章黨に出動敵匪を撃退せるも我兵第〇〇中隊一等兵渡邊春治は戰死外一名は大腿部に盲貫銃創を負つた【撫順電話】

高粱收穫は 穗先だけを刈れ

記念日を期して策動する 匪賊に學良の指令

滿洲事變一周年の當日を期し張學良は全滿一齊に東北抗日救國軍なる賊團を煽動して滿洲國攪亂を企圖しそれ／＼密使を以て聯絡をさらせ目下その準備を急ぎつゝあると云ふが新京附近の情勢は扶餘、農安、長嶺、懷德、伊通、双陽各縣下に數千の匪賊を集結銃器彈藥の充實、小匪賊團の糾合等を圖つてゐる模樣である、なほ洮南、通遼、盤石縣下の賊團も學良の指令により滿鐵沿線附近の賊と合流すべく移動を開始しつゝあるが彼等は討伐軍に感知されることを防止して行動を便ならしめるため各部落農民に對し高粱の收穫は穗先だけを刈り取つて根元からの刈取はこれを絕對に禁止するの密令を發したので農民は大恐慌を呈してゐる【新京電話】

滿洲侵入の事實 全然無根だ

勞農政府が反駁す

【モスクワ二十七日發】滿洲國外交部の八月十六日附抗議に對し勞農政府は廿一日ハルビン駐箚勞農總領事スラウツキを通じ左の如き通達を外交部に對し發せしめた 勞農國境監視員が國境線を越え一更に出先き部隊が滿洲國領土內に侵入し右領域內に監視線を設け塹壕を構築して居る等に對する抗議通牒は全く何等の根據無きもので恐らくは滿洲國當局の接受した虛電の報道に基くものに過ぎざるべし、滿洲里國境方面の狀態は昨年以來何等變化無く國境問題が境域に何等の紛爭を惹起した事實無し

滿洲國の郵便物 蘇聯と同樣扱ふ

米當局の暫定的態度

【ワシントン二十七日發】滿洲國が滿洲の郵便事務を強制接收し新切手を發行使用するに至つて以來滿洲國發行新切手を如何に取扱ふべきやは國際間の問題となつて居るが米郵政當局では「滿洲國の國際的地位決定せぬ內は暫定的便法として同國の切手を貼付せる郵便物はソウエートからの郵便物と同樣に取扱ふ意向である」と語つた 即ち滿洲國切手は正式に認めないがこれを貼付した郵便物並に滿洲行郵便物は從來通り取扱ふ模樣である、然しアメリカでは最後的決定をなす以前に世界郵便聯盟の他の加盟國と協議する事になるであらうがアメリカとしては滿洲國承認の意志を有して居ないので滿洲國の郵便問題は微妙な事態を將來するものと見られて居る

旅大裏道路の 開通奉祝芝居

關東廳土木課では來る九月一日を以て旅大官民三百餘名を招待、双臺溝玉石山上で盛大なる旅大裏道路開通式を行ふが、沿道滿洲國も皆その恩惠に浴する事とて水師營、三澗堡、營城子、周水子の四會合議の上、開通式會場附近に小屋掛して三日間の奉祝芝居を催すこととなつたので沿道全村の部落は當日を待ちかねてゐる

州內外庭球戰 降雨で中止

優勝盃は州內軍保管

本社主催本社優勝盃爭霸の州內外對抗硬球戰は二十八日午後より中央公園滿鐵テニスコートにおいて續行、ダブルスは二對一で州外勝つて戰ひをリードしシングルスは州內二勝して三對二となつたが降雨のため試合續行不可能となり午後四時中止することゝなつた、尙優勝盃は前年度優勝チーム州內軍が來年度對抗戰まで保管することゝなつた

▲ダブルス

州外			州內
野田	6—4		小寺
白石	3—6	0—6	澤

▲シングルス

村田	6—8 6—3 1—6	伊藤
福眞	3—6 0—6	三浦
中村	3—6 6—3 1—4（中止）	小寺
白石	6—4 0—1（中止）	吉田
野田	3—0（中止）	阿部
鵜飼	（中止）	澤

州內外對抗戰

二十九日午後四時より大連運動場プールにおいて體育協會主催の下に州內州外對抗競泳を行ふ

前長官の送別會

昨夜大連ヤマトホテルで

大連市役所、民政署、大連商工會議所、三公議會主催の山岡前關東長官送別會は廿八日午後六時よりヤマトホテルにおいて開催した出席者は竹內民政署長、村井商議會頭、岡野市長代理、森本法院長、櫻井遞信局長、十河、山西兩滿鐵理事、三公議會長、各國領事、實業大連新聞社長、松山本社長外官民有志等約二百名ありデザートコースに入るや村井會頭が主催者側を代表して挨拶を述べ之に對して山岡前關東長官謝辭を述べ午後八時半盛會裡に送別宴を終つた（寫眞は送別宴）

前長官が招宴

山岡前關東長官は離連に先だつて二十八日正午大連の新聞通信關係者約三十名をヤマトホテルに招待午餐會を催した

ブラジル政府軍 叛軍と激戰

【リオデジヤネロ二十七日發】ブラジル政府のコンミニユケに依れば叛軍は政府軍と目下マンチクエリア地方に於て激烈なる交戰を重ねてゐるが叛徒は講和交涉開始を希望し居り解決近しと

政府軍退却す

【リオデジヤネロ二十七日發】ブラジル政府軍は叛軍が二十七日襲撃した コブテロ市奪還を企てたためこれと交戰激戰を演じ死傷者多數を出した後退却した

北滿水災救恤金募集

北滿各地は二十年來の大水災に見舞はれ加ふるに惡疫流行、馬賊跳梁、食料の缺乏等悲慘の極に達し數萬の在留民は飢餓線上に彷徨しつゝあり此の窮狀を救ふ爲左記に依り救恤金を募集することに致しました各位奮て御贊同を願ひます

昭和七年八月

發起人

大連民政署　滿洲日報社
大連市役所　大連新聞社
南滿洲鐵道株式會社　滿洲報社
大連商工會議所　泰東日報社
大連華商公議會　關東報社
西崗華商公議會　滿洲文化協會
西部大連商民公議會　大連各婦人團體聯盟

記

一、救恤金額　隨意とす（團體の救恤金は可成一纏に申込まれたし、救恤金を受附けたるときは領收證を發しなほ其金額氏名を發起人たる各新聞紙上に登載す）
一、募集期限　九月十五日限
一、受附場所　大連市役所總務課
一、分配方法　救恤金は特に指定するものゝ外滿洲國政府に送付し分配を一任す

支那人船員が ナポリで亂鬪

【ナポリ二十七日發】英國油槽船ハリオチス號がペルシヤから石油を積んで當地入港の際職務怠慢を叱責された事から支那人船員二十五名全部結束し手に手に海軍ナイフを振りかざし英國高級船員六名を襲ひ大亂鬪を演じた、急報に依り陸上からフアシスト巡警急行しピストルで支那船員を鎭壓した、船長は手を嚙みつかれ支那人一名重傷を負うた

朗らかなインチキ振りで また二セ監督の被害現る

◇…インチキとナンセンスの渦を卷きおこして雲水ホテルから大連署留置場へ宿替をした例の實池田監督こと根本道については留置場入りの後もキ印女史が大連署へ飛び込んで、實池田監督に面會を求める等、相變らずのナンセンス振りで未だに人々の噂に上つてゐるが……

◇…二十七日の大連、滿日兩新聞の三行廣告欄に「根本道君至急出頭を請ふ」といふ廣告が飛び出して、又々ナンセンスの上塗りをやり、一部の市民を吹き出させた、この廣告主が杉山さんが采配をふる奉天每日新聞大連支社と來てゐるから益々以てナンセンスだ

◇…奉每支社の杉山副社長にこのことを尋ねると、その又答へが振つてゐる……うちの社で支社員を募集した所約二百名の應募者があつて、根本もその一人だ履歷に日の出及び中外商業の記者をしてゐたとあるので採用することにしたが住所がわからぬのであの廣告を出した、廣告文を書く時に何處かで見た名だと變な氣がしたにはしたがれ……又住所のわからぬのも無理はないじやないか……

◇…杉山副社長のノンキさもさることながら、二百名の中から選拔されたのが實物氏とは又なんと朗かなインチキ振りではあるまいか

文部省の主催で 華々しく歡迎式

オリムピツク選手は 九月三日に横濱入港

【東京二十八日發】晴の凱旋をなすオリムピツク日本選手を乘せた春洋丸の横濱入港は九月三日に迫り各方面では歡迎準備に努めてゐるが當日文部省が主催となつて華やさしい歡迎式を擧げて之を祝福することになつた、先づ一行を迎へ入京と同時に明治神宮參拜東京會館で歡迎式をやることになつた

林業の視察に

九州帝大農學部教授片山茂樹、西田屹二兩農學博士は二十八日午前入港香港丸にて來連したが同氏等は約三週間の豫定で吉林、敦化方面に亘り林業の視察をなす筈である

民政署長級 異動說

近く實現せん

鹽原地方課長の全權府入りに從つて關東廳內務局關係も異動を免れぬ事となつたが、江口商工課長は拓務省事務官として元の古巢に返り咲きする事となりその後任は奉天出張所主任の山中事務官が据り地方係長の後任には安永金州民政署長が榮轉、大和田大連民政署長が事務官に昇進の上榮轉するものと內定してゐるが、この人事異動に伴つて內務局關係に民政署長の轉動が行はれるものと觀測されてゐる

女子選手振ひ 新記錄三つ

男子は千五百米だけ 全滿水上選手權大會

滿洲體育協會主催の全滿洲水上競技選手權大會は二十八日午後一時より大連運動場プールにおいて開催された、折柄の降雨に觀衆の來會を氣遣はれてゐたが第十回オリムピツク大會における日本水上選手の活躍振りに刺戟されてか續々と來場しスタンドは雨傘とレーンコートで埋められ成績も又男子千五百、女子五十、女子百、女子二百リレーの四種に滿洲新記錄を出し午後四時盛會裡に終了したが成績左の通り【寫眞は新記錄を出した千五百米決勝】

▲平泳二百米決勝　一着大竹功（遼陽）三分一三秒八、二着金光弘（大連）三着干泳河（大連）
▲二百米決勝　一着仁田隆晴（大一中）二分三七秒八、二着塚本和泉（旅順）三着水田勉（奉天）新田、佐々木、塚本併行し水田やゝ遲れてスタート百を過ぎて水田出で新田、塚本となり佐々木遲れ新田、塚本九約一米、水田を二米離して一番
▲背泳百米決勝　一着片山一郎（大一中）一分二四秒二、二着岩本靖二（滿鐵育成）三着北瀬義典（遼陽）
▲女子百米決勝　一着荒尾和家（奉天）一分四八秒八
▲四百米決勝　一着白井初雄（旅順）六分七秒、二着佐藤山三郎（大一中）三着仁田隆晴（大一中）五十のターンでは佐藤、北瀨、仁田、白井の順、百五十のターンで白井先頭となり二位との差五米、佐藤一時白井を追つたが白井力泳約四米の差で勝つ
▲女子百米決勝　一着荒尾和家（奉天）一分二三秒二（滿洲新記錄）二着藤原ユリ子（旅順）一分二四秒二（滿洲新記錄）
▲百米決勝　一着水田勉（奉天）一分〇秒六、二着永山秀男（大連一中）三着篠忠夫（旅順）五十で篠、水田、永山の順、篠水田の差タッチ、七十米で水田永山出でワンストロークの差で水田勝つ
▲女子二百米リレー決勝　一着滿洲チーム（荒尾、松山、工藤、土屋）二分三二秒八（滿洲新記錄）
▲八百米リレー決勝　一着大連一中（片山、佐藤、永山、仁田）一〇分五四秒八、二着赤陽クラブ（佐々木、川崎、塚本、水田）最初より大連一中リードし約十二米の大差で勝つ

初秋恒例の催し 金州苹果デー

九月四日に本社主催

本社では初秋恒例の催しである金州苹果デーを來る九月四日の日曜日に舉行し、憧れの海より山への第一步の跳躍を試みることになつた「見渡す限り苹果」は、みつちりと實り下り苹果党に滿足させようと香氣も豐に呼びかけてゐる、この日各農園では、試食用として無料で苹果を提供するほか、特に參加團員に限つて土産用として特別値段で販賣し、無料休憩所も設けて兩苹果の最後のサービスをすることになつた、滿洲日本社では餘興として參加者全部に幸運袋を發行し、金州驛前に於て抽籤を行ひ五十名に限り幸運賞を贈呈して興趣を添へるほか、午前九時には南山において元金州小學校長、現在大連朝日小學校長關山勝三氏の南山戰蹟講話もあるが、氏の講話は既に世人に定評あり、恰も實戰に臨むが如き感がある、金州到着後從來は金州驛前において自由解散であつたが今年は一先づ金州到着後は一行を南山に案內することになつた、滿電バスは南山を中心として午前九時半より南山、響水寺間を往復運轉する、料金は大人往復金五十錢小人半額であるが、金州市民會ではこの日われ等一行のために南山及び響水寺に湯茶の接待所を設けて歡迎することになつてゐる、氣候は好し、郊外一日の淸遊に相應しいので今からその盛況が豫想される

今日の滿日講堂

宮內省劍道師範中村定芳氏を院主とする東京明道學院は、今回劍道々場を擴張することになり、陸軍中將兩角三郎氏外五名發起人となり、東都大家の揮毫後援を得たので二十九、三十の兩日午前十時より午後四時まで滿日講堂において陸軍名士揮毫展覽會を開催することになつた、入場無料、來觀歡迎

暴風警報解除

廿八日午後七時南滿洲附近の警報を解く

安樂椅子

上海の排日テロはいよ／＼猖獗して撫順炭の同地の賣行きは落ちる一方だ。

◇……この間も、撫順炭を小賣する支那人の店に小包が屆られた、開くと「懲賞」と大書して賞店は近頃なかく商賣に精を出して感心の至りだからこゝに懲賞を呈する、なほ今後も御勉強になれば重賞を進呈致そうといふ手紙と一緒に爆彈が一つ出て來た。

◇……青くなつた小賣人君、重賞まで貰つては大變だとばかり店を閉め、石炭を返して來た。押しの強いので有名な十河商事部長もこの報告には流石に弱つて、苦笑しながら記者を顧みへ「どうだい、撫順炭を賣る妙案ないかい、敎へてくれたら懲賞を出すぜ」

石炭（特に撫順粉炭）の燃燒法に大變革が起る

我が國產であり粉炭完全燃燒機の權威である。FKE全自動式粉炭完全燃燒機の實地燃燒場を見るに從來の石炭燃燒法と異り送炭螺で粉炭を燃燒器に下から上に送り上げ其の上層を順次燃やす式にして「ハンドル」一ケを動作する事に依り、給炭量の自在と共に燃燒の調節又自由にして完璧は賞讚の外はない。
本機の發明者である遠藤技師は、元奉天兵工廠に在任中に十年此の間撫順粉炭に就て充分なる研究と實地使用の體驗より考案せられたる由にて氏の說明に依る撫順粉炭「コークス」粉の專用機として特に大衆に愛用される事と思ふ

滿日各地版

で一冊にまとめ醫大から出版する豫定です、自後よろしく御願ひします

我軍の行動に感激 鐵道警備を申出る 奉山線沿線の各村民

【奉天】奉山線半圖子西方鐵道沿線一帶の各村民は各村の自衞團と聯絡し受持區域を定めて鐵道警備を行ひたいと申出でたので我警備隊では却て希望してゐる處であるため喜んで之を容れることゝなつた、滿洲國人側が未だ嘗てない危險な鐵道警備を自ら率先して之を引受けんとする動機は我軍が同方面に出動した當時不良の支那兵を警戒してゐたものであるがその後日本軍の優良なることが種々な事實で一般に知られ加ふるに滿洲國建國の精神も徹底し日本軍は滿洲人のため治安維持に犧牲的精神で努めてゐること治安維持は當然滿洲人がなすべきであるが吾々人民は土匪を討伐する力なきため吾々で出來る鐵道警備だけでも加勢しやうとする我軍の行動に感動した結果自發的に出た心根で我警備隊でも非常に感激してゐると

これに續いて將兵及び參列有志の餘興あり將兵並に參列者一同歡を盡して軍旗祭の一日を過ごし參列者は午後四時四十分發列車にて歸途についた

戎克船を襲ふ匪賊を討伐 「駿通」が出動し活躍

【營口】營口を距る西北約一邦里の小莊子に匪賊が根城を構へて附近を往來する戎克船を掠奪するので日本及滿洲側警察は二十六日午後零時半水上警察所屬艦船駿通に乘組み討伐に向つたが同村を距る約一千米突の下流に差しかゝつたる際四隻の戎克に停船を命じ掠奪せんとするに際會したので直に之に砲撃を加へたるに賊は之を放棄し自己の乘り組みたる大型帆船を岸に乘り着け逃走せんとしたるに之に機關銃にて射撃を加へたるところ賊はあはてゝ上陸し葦の中に影を潜した四隻の戎克には百五十名乘組上流の村落民が營口に避難せんとする途中であつたので彼等は危難をのがれた事を喜び無事避難した附近に倚獨立家屋あるを認め之に砲撃を加へ同所に收容せる人質を奪還した砲艦駿通は二十七日更に同處に向ひ賊の掃蕩に向つた

双陽縣城を占領 附近部落に放火掠奪

【新京】二十四日双陽縣城を去る東南方二十支里の地點に集結し縣城襲撃を計畫しつゝあつた匪賊頭目殿臣の率ゆる約三千名の部隊は廿七日未明突如双陽縣城の襲撃を開始し警戒中の同地駐屯滿洲國軍隊、自衞團約三千名と交戰し破竹の勢ひで遂に双陽縣城を占領するに至つた、附近の部落は之等の匪賊の爲め放火掠奪せられ炎々たる煙りを上げてゐる急報に接した吉林警備隊は騎兵第一旅第一連長劉玉民部下一千二百名を直に長春に向け出動せしめ今後の形勢如何に依つては直に双陽に向け出發せしめる筈、尚同地附近の形勢惡化せる爲め廿五日頃より續々と避難するもの現れ廿七日朝まで長春に來りたるもの無慮一千名に達した

怪部落を捜査

【營口】新市街境界線三不管村は賊が營口襲撃の際潛伏する形跡があるので營口縣地方警察隊は二十六日午後五時から同部落一帶の徹底的大捜査をなしたが憲兵隊も之に加つて行動ししらみつぶしに捜査したが一名の嫌疑者も發見しなかつたが居住民に對し賊の來たときは即時報告すべき旨を懇諭して引揚げた

雷雨の陣中で軍旗祭擧行 拉哈駐屯の歩兵部隊

【チチハル】武勳に輝く歩兵第〇〇部隊の軍旗祭は二十四日北滿最北前線たる拉哈陣中に擧行された當日チチハルより天野少將以下軍部代表並に民會長代理有志がこの輝かしき祭典に參列すべく午前八時龍江驛發列車にて出發したが拉哈は正午頃より豪雨となりしも參列者は雨を冒して下車、軍旗祭は午後一時四十分より雷雨中にて莊嚴に擧行されたが分列式を取止め軍旗捧戴、一同敬禮、小泉部隊長の祭文朗讀によつて終了し直に同部隊第〇〇隊に對する感狀報告式あり右終るや午後三時より餘興に移つたが梅家、青楊等の美人達(チチハル美人)は勇敢にも泥濘中に兵士諸君と共に踊つて興を添へ

老北風が謹愼する 歸順を申出て

【奉天】牛莊附近に蟠居せる老北風及びその子邊防は過日海城縣長に對し牛莊の商務會長以下十三名を介して歸順を申込んで來たが縣當局では各地で表面降伏し機會を見ては反逆する例が屡々あるので直に許可するは不可となし當分形勢を見ることゝなつた一方老北風側でも舊惡を反省し誠意を披瀝するため二、三ケ月間牛莊城外に於て謹愼し滿洲國政府の命を待つ旨再度懇願して來たと

關東軍施療班 チチハル出發

【チチハル】貴き人類愛から危險を冒して滿洲里ハイラル方面に出動し大衆の救濟施療につくした我關東軍施療班第一班は當地に先般歸來し洮昂線の開通を待つて居たが漸く連絡の見込がついたので二十五日龍江驛發列車にて奉天へ向つたが一行の內班長寺田博士外四名は去る十八日既に歸奉したので殘餘の長谷川技術員他四名が語る「永らく御世話になりました今回の巡視施療は非常に得る所がありました、この所感は歸奉の上で

漸く洮昂線 旅客輸送を開始 西部線も一日一往復

【チチハル】七月二十八日より不通となつた洮昂鐵道にては其後大動員の下に復舊を急ぎつゝあつた處、廿七日から船車連絡により郵便物軍需品並に旅客の輸送を開始した手小荷物等は全然取扱はぬと列車、發着時刻は洮南發午前八時二十五分、龍江着午後九時五十分龍江發午前八時洮南着午後九時十六分の一日一往復である尚東支西部線にても廿六日より國際列車の運行を開始、洮昂線と同じく一日一往復にして昂々溪發午後一時ハルビン發午後十時である

旅順市參事會

【旅順】二十六日開催の筈であつた昭和六年度歳入歳出承認に關する市參事會は議員差支のため流會となり二十七日午前十時から更に開催したがいづれも原案通り可決確定正午散會した

滿洲國軍警の服裝を統一 奉天に被服總廳設置

【新京】滿洲國軍政部では先に被服統一を命令を以て滿洲國軍隊の被服統一を期するところあつたが今回從來の吉林省の長春被服廠黑龍江省の齊々哈爾被服廠及び奉天省の遼陽被服廠を撤廢し奉天に被服總廳を設置する事になつた、長春チチハルには被服支廳を設置し滿洲國軍及警察官の服裝を統一し諸被服廠より補給せしめる事になつた、なほ之等被服製造に要する羊毛は黑龍江省內に適當なる地を指定採毛すべく目下具體案研究中である

第二遣外艦隊 幹部職員異動

【旅順】關東州沿岸警備の任にある第二遣外艦隊の幹部職員は最近左の如く異動があつた(順位は先任順)

司令官少將津田靜枝(司令部)、同副長中佐佐伯孝二(同)、同機關長大佐立花才次郎(同)、天龍艦長大佐班田健介(天龍)、同機關長中佐末原直孝(同)、參謀少佐有馬馨(司令部)、副官兼參謀少佐黑木剛一(同)、第二六驅逐隊機關長少佐後藤正雄(編)、參謀少佐竹內馨(司令部)、砲術長少佐大西茂昭(天龍)、機艦長少佐藤田友造(編)、參謀大尉中野政知(司令部)、平戸艦長大佐藤森清一郎、同副長中佐中里隆治、同機關長少佐中島一郎(缺)、軍醫長兼分隊長少佐長置盛保、航海長兼分隊長少佐藤巻美德(缺)、砲術長少佐西岡左軍

全權隨員執務

【奉天】川越參事官その他全權隨員一行は當分總領事の一部で事務を執ることゝなつた

本庄將軍に彰德の大額贈呈 奉天市長と同善堂長

【奉天】本庄前關東軍司令官は今回の榮轉離滿に際して奉天同善堂及び貧民救濟資金として滿洲國側に金三萬圓を寄附したので滿洲國人は非常に感激し目下使途に就き考究中であるが奉天市長閻傳紱、同善堂長劉曜曦の兩氏は建國の恩人としてまた奉天市民の恩人としての本庄中將の功績と德政を表するため市民を代表して「本庄司令官閣下德政、闔澤普敷」と記された大額を贈ることになつた、なほ滿鐵でも同善堂に毎年金一萬圓を寄附することゝなり本年度は既に寄附され目下市政公署で保管中である

本庄將軍の旅順日程 官民に告別

【旅順】本庄前關東軍司令官は僚友專屬副官を隨へ三十一日午後六時五分着列車にて來旅同夜は昭和園に於ける在旅官民の送別會に臨みヤマトホテルに一泊、翌一日は正午長官々邸に於ける關東廳高等官の招宴に臨み午後六時からは偕行社に於て在旅官民各代表者を招じ告別宴を開催する事となつた

撫順平康里發展策 當局に陳情

【撫順】當地平康里料理店代表は二十七日炭礦事務所を訪れて昨今益々不振のどん底に落ちつゝある平康里の發展策につき陳情し差當り從來炭礦の歡樂園維持會が徵收せる同地の地代はこれを無償とし併せて同地はこれまで動もすれば歡樂園に壓迫せられて來たが這は元來華工の娛樂機關として歡樂園と同主旨のものであるので將來は同一のものとして炭礦に於ても種々便宜を與へて發展策を講じて貰ひたいと要望するところがあつたが炭礦當局としては地代を無償とすることは維持會がこれを以て經營費の一端としてゐるので至難なるも發展に就ては相當考慮すべく又近き將來に於て支那街移轉の同地一帶は必ずや非常な發展を見るであらうといつてゐる

禁漁を犯す漁撈者捕はる 訓戒の上一先づ放免

【安東】平北義州郡光城面化坪洞農韓國燦(三二)外七名は共同して去る二十日午後二時より五時まで柳草島南約三十間の江中に於て網を以て白魚漁撈をなしつゝある所を新義州署に現認され魚獲せる白魚二十斤は直に江中に投棄せしめたが彼等は目下コレラ發生の爲め漁撈禁止中なることを知りながらも生活の爲め禁を破つて漁撈に從事した旨申し述べた、新義州署では充分訓戒を加へた上放免したが今後は假借なく處分する[illegible]であると

旅大裏道路のバス運轉時間

【旅順】旅大裏道路の滿電バス運行は九月二日から一日四往復午前二回、午後二回の運轉開始する由でその時間割は左の如し、因に同道所要時間は現在の處一時三十分を要する

▲夏期 午前七時三十分、九時三十分、午後三時三十分、五時三十分

▲冬期 午前八時三十分、十時三十分、午後二時三十分、四時三十分

重大視さる特殊爆擊演習 旅順白銀山の上空で

【旅順】來る九月十六日から二十四日迄の間(二十三日、二十四日兩日は豫備日)旅順白銀山上空に於て擧行される濱松飛行隊の第二次特殊爆擊演習は國軍の爆彈制式及び爆擊法の根本方針を含む重要性のもので本演習は陸軍技術本部、同航空本部、同築城本部等も關係之等部隊も參加するもので爆擊實施は概ね午前中に行はれる豫定であると

船夫二名も眞性コレラ

【安東】後潮溝船夫王鳳祥(三七)及び李兆煥(三二)は廿三日より極度の吐瀉を爲し容疑者として八道溝隔離所に收容されてゐたが廿六日午前九時に到り眞性コレラと判明した

吐瀉物を撒き散す 筏夫の怪死

【安東】滿洲街大河子の筏夫史賓全(五五)は二十六日午前八時同所停留中の筏上にて吐瀉しはじめたが病苦を堪えて同夜十一時頃小盜兒街附近の知人宅を訪れる途中遂に行斃れその儘死亡してゐるのを翌二十六日早朝に到つて發見、その症狀から推してコレラの疑ひあり滿洲街は騷動して大消毒を敢行した、尚二十六日夜の吐瀉物は全部街上に撒き散らした事實あり、加ふるに折柄の降雨に吐瀉物は一層撒がり警備所では殆ど手の附け樣もない程度に狼狽してゐるものと全員をあげて患者歩行經路の發見に努める一方大河子の筏關係者七、八名を八道溝隔離所に收容した

國際運輸の入江氏 黑龍總商會特務委員となる

【チチハル】黑龍江省城總商會にては商工業都市としてのグレートチチハル建設に邁進すべく、顧問格の日本人を招聘する事となり當地國際運輸會社出張所、入江吉三氏に白羽の矢を立て再三同氏に交涉があつたので同氏も遂に一肌脫ぐ事となり國際を辭して總商會務委員として活躍するに決定した因に黑龍江省商務會にて外國人を招聘したのは之を以て嚆矢とし同氏の活動ぶりに大なる期待と注目の的となつてゐる

洋車と馬車とで年一千萬圓稼ぐ 全奉天に五萬五千臺

「五錢は高い三錢にまけろ」十町も牛里も走らせて無茶苦茶にまけさせる「五錢では可哀そうだ十錢やれ」と同情を受ける「五町走つて二十錢」不案內な客と見てべら棒に高く料金を取立てる……三錢廿錢こうして毎日々々朝は早くから夜は遲くまで汗ダクとなつて動いてゐる奉天の洋車夫の稼高について調べて見る奉天署で交通機關統制のため行つてゐる洋車の整理で現はれた數は今日まで六千臺に及んでゐるが一萬臺以上には達する見込みである、これは附屬地內のみであるが城內各方面を合すると實に五萬臺以上にならうと云はれてゐるそしてこれ等の洋車夫が一臺につき一日の稼高平均五十錢として附屬地內の一萬臺だけでも一日五千圓となる、そうすると一ケ月十五萬圓、一ケ年百八十萬圓又奉天全般五萬臺として勘定するとその五倍の九百萬圓といふ驚くべき金額となる、又馬車の數が五千臺、一日の收入が一臺平均七十錢として三千五百圓一ケ月に十萬五千圓、一ケ年に百廿六萬圓、洋車と馬車を合してその稼高一ケ年千二十六萬圓……それが三錢、二十錢が積り積つてこの莫大な金額となるのである

雪齋翁追悼會

【新京】金子雪齋翁八回忌にあたる二十八日は午前十時より在京知己門下生その他によつて神社々務所に八年祭を執行故人について追回座談會を開催したが發起人上村哲彌、小平惣治、田岡淮海、中島比多吉、趙欣伯、金璧東の諸氏を初め多數參列した

事變一周年當日の撫順

【撫順】滿洲事變一周年記念祭は九月十八日當日を期し全滿各地で一齊に行はるゝが當日撫順では全市民小國旗をかざして撫順神社に集合先づ記念祭典が行はれ終つて參列者一同は行列を組んで守備隊に敬意を表し公學堂校庭に於て滿洲國側と合同して日滿合同の慰靈祭が行はるゝことゝなつてゐるが講演會、祝賀會等其他の催しに就ては追つて協議會が開かるゝ筈

撫順公學校長着任

【撫順】撫順公學校長山田慶氏は二十七日着任炭礦其他に新任の挨拶を述べた

沿線往來

▲大橋滿洲國外交部司長 廿六日來奉

▲有馬海軍少將 廿六日過奉釜山へ

▲熙哈氏(吉林省長) 廿六日夜來奉

▲長野全權一行 廿六日夜過奉釜山へ

▲西山關東廳財務部長 廿七日來奉

對京城戰の撫順選手 六名出場

【撫順】全滿鐵對全京城陸上競技試合は九月四日京城において開催滿鐵軍は二日午前九時大連發遠征の途につく筈であるが、撫順炭礦からは左記六選手が出場すると

米津午郎(庶務)柴田義敏(東鄉)岡田勝義(發電)俵於無一(工事)淺阪正一(同)田中盛一(古城子)

飛行機引返す

【營口】去る廿二日安東にて大破せし當地漁業總局所屬飛行機は該地で解體の上救出せられた搭乘者小谷、大浦兩氏は二十五日歸營更に第二機に搭乘二十六日安東に向ひしも途中濃霧に襲はれ二十七日途中より歸來した

旅順秋蠶狀況

【旅順】旅順管內に於ける秋蠶種の配付數は四二三枚であつたが桑葉の減收その他の關係上實際の掃立枚數は三九九枚を算し掃立の早きは八月五日既に五齡三日目に達した、次は同月十日掃立のもの三眠前後に到り十七日頃には大部分の掃立を終了目下一眠前後經過順調に進みつゝある、桑樹は春蠶終了後相當の降雨ありしも施肥不足の結果伸長充分ならず既に芯止のものあり一般收葉量は減少を免れないであらう

曙の鐘 (390)

倉田潮 作 河野想多 畫

戀の復讐 (三)

あけみがたえ子の家にかけつけた時は、家の者の外にはまだ壯三一人しか來てゐなかつた。

あけみはたえ子の臥つてゐると聞いた二階の八疊に行く前に、たえ子の母をよんで

「外の人へ知らせたの」

と訊いた。たえ子の母は餘りの驚きにぼんやりしてゐたが

「壯三さんに知らせただけです」

「外の者には一さい知らせない方がいゝわ。お互に恥ぢになることですから」

さう云つて二階にかけ上つた。

たえ子は靑ざめた顏に別に苦げな色も浮べず、すや/\と眠つてゐた。あけみは壯三に向つて

「何で自殺したの」

「破藥だそうだ」と壯三はハンケチから淚の顏をあげて答へた「何と云ふことをしてくれたんだらう」

「家でのんだの」

「家なら直手あてが出來てよかつたんだが、のんでから近くの公園のベンチに二時間も倒れてゐたらしいのだ。だから手遲れになつたかもしれぬと、先程來た醫者が……」

「醫者は外になんだのよ」

「一人。まだこちからは呼んでない」

「こちらから呼ばないなんて、何をしてるのよ。阿呆ね」

あけみはバタ/\下におりて、一人でぷいと外に出た。そして、最寄の自動電話に這入ると、有名な大井博士に直來てくれと電話をかけた。直行くと云ふ返事があつたので、あけみは自働電話を出たが、そこから眞直にはたえ子の家に歸らなかつた。暫く暗い街を歩き廻りながら、何うしたらたえ子の命を取りとめることが出來るかと考へた。

あけみはたえ子を生かしておき度かつた。もしたえ子が死んでしまつたら、たえ子の本望は達せられる譯である、敵のたえ子に滿足して死んで行かせてはならない。生かしておいてもつと/\苦めてやらねば氣がすまなかつた。

それにたえ子が死ねば春木の失望が薄らぐのは解りきつてゐた。或はたえ子が自分の爲に壯三と結婚してくれたのだなぞと思つて、心の中でたえ子を美化し感謝するかもしれない。こゝは是非たえ子を生かしておいて、なほ一層たえ子を苦め、春木に失戀の怨恨を增させねばならない。

たえ子の家の前には既に大井博士の自動車がついてゐた。玄關まで行くと、そこにたえ子の母が立つてゐて、靴をぬぎかけてゐるマリアと話しをしてゐた。あけみはマリアを見ると不快になつたが

「何うしてマリアさん、たえ子のことを御存知なの」

と訊いた。マリアは驚きがまだ納まらぬ不安な顏つきで

「私、今日は朝から變な氣持がして、時々たえ子さんのことが頭に浮ぶので、通りがかりに此處へよつて見たんですの。すると……」

「さうなの。でも、外の者には暫く隱しておくつもりですから、あなたも云はないやうにね」

「承知しましたわ」

と二人は二階にあがつて行つた。

大井博士はその時診察を終つたばかりの時だつたが、胸聽器をしまひながら

「このまゝでおけば、前の醫者の云つた通り生き返ることは萬一ないが、こゝにたつた一つ或は命をとりとめるか知れぬ方法がありますぢや」と最後の診斷を下した。

「それはこの患者と己の血管とを管でつないで、患者の血を半分己の體に輸血し、己の血の半分を患者の體に輸血するのぢや。すると患者の血管內にある毒素が半分になるから、或はその爲に生き返れるかもしれない。でも、こゝに注意せねばならぬことは、もし失敗した時は或は二人とも死ぬ場合がないとも限らないのぢや。でも、思ひ切つて、命を投げ出して此の患者を救はうと思ふ人はありませぬかのう」

一座はひつそりとして考へこんでゐた。

新刊紹介

▲滿洲評論(第八號) 評論には滿洲國協和會に關する考察の六として橘樸氏の「流言と反省」があるが、これは協和會に關する流言六ケ條を討議したものである、貫志英夫氏の中東鐵路の國際的展望(中)は華盛頓會議とソ聯邦飛躍の赤鐵を交說したもの、小泉吉雄氏の冷かなる經濟的事實は滿洲國の成立によつて經濟的進出に好機會を與ふべき政治關係は確かに日本に有利に展開しつゝある、これに狂つたやうに渡滿する者は甚だ多いが冷かなる經濟的事實は嚴として存在してゐる、何故にかく冷かなる經濟的事實は存するかを說いたもの、小山貞知氏の滿洲國統治の特異性等、時事、寄書に雜錄には大木幹一氏の舊法か舊慣か、中國政治思想史(山口慎一)資料としては滿洲國協和會に關する資料がある(定價十錢、發行所大連市淡路町六番地滿洲評論社)

▲農業の滿洲(第八號) 去る七月十六日滿鐵社員俱樂部において滿洲農事協會主催の下に行つた權威者二十三氏の集まつた「滿洲農業移民座談會」が掲載されてゐるが啓發されるところ多大なるものがあらう、其他邦人の滿洲農業移植の一方策(田村羊三)滿蒙の農業と灌漑用水問題について(清水本之助)滿蒙農業移民と其の農業經營(宗光彦)滿洲人農家の生活と農業經營(村越信夫)定價三十五錢發行所大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會

▲奉天商工月報(第三二三號) 企業地としての奉天、代用國產品の愛用獎勵について、土地買收の鍵ず、逆產整理實施期、施設費逆產充當、奉天に統一機關設置の運動、奉天の工業用地と其の將來、海關の不當評價、實業廳の新計畫、無斷休業者取引、奉天重要商品市況、滿洲事變後における奉天經濟界(定價五十錢、發行所奉天加茂町三番地奉天商工會議所)

▲實業公論(九月號) 時局對策號(定價三十錢、發行所東京市芝區芝公園八號地二番實業公論社)

▲警世(第六號) 定價四十錢、發行所大阪市天王寺區堂ケ芝町九一警世社

▲實業の大阪(第九號) 定價三十錢、發行所大阪市北區堂島北町十七番地實業之大阪

▲棋道(九月號) 定價五十錢、發行所東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院

▲大日(第三十六號) 定價三十錢發行所東京市神田區旭町一番地大日社

▲朝鮮事情(八月號) 定價五十錢發行所京城府笠井町六八朝鮮事情社

けふの放送 大連 JQAK 八月二十九日

▲午前六時 ラヂオ體操

▲午後七時三十分 ニュース

▲兒童科學講座「最近科學文明の概觀」(第四十八回)大連神明高等女學大貫正

▲謠曲囃子「杜若」(梅若流)シテ久世哲三、笛西川虎太郎、小鼓竹村位壽、大鼓三ケ尻武津、太鼓紅谷ヒサ

▲映畫物語「瀧の抒情詩」帝國館久松清

▲職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

▲中國唱「霸王別姫」唱彼霞、胡付王振泉

満洲日報
八月廿八日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地　發行所 株式會社満洲日報社
（第三種郵便物認可）

満洲を去るに臨み在満同胞に告ぐ

軍事參議官 陸軍中將 本庄繁

先般轉任を命ぜられ、本日東京へ赴任致します、任を満洲に受けてより前後四年在満同胞諸賢より公私兩方面に亘り深厚なる御交誼を忝く致しました、私の長く忘るゝ能はざるところであります、殊に昨秋満洲事變の勃發以來、所謂兵馬倥偬時局多端の際に於て、指導激勵、或は直接の協力等あらゆる方面より賜はりました最も有難い御心盡しの數々は、私の眞に感激に勝へないところであります、我が關東軍の將兵が克く其使命を遂行し得ましたのも、また私が大過なく其職責を果し得ましたのも、一に諸賢の有形無形、直接間接の御協力の賜物であります、申す迄もなく人間個人の力は大抵知れたものであります、古來大事と云ひ偉業と云ふ、一として國民的理想、民族的抱負に基かざるはなく、一として大衆の熱心同力に依らざるはないのであります、満洲の建設は大業、刻下の時局は非常、一朝一夕にして東亞民族の理想成るべしとは思はれませぬが、日満兩國民の協力と融和だにあらば必ずや其功を期すべく、何等悲觀することも失望することもないと信じます、忍苦數十年満蒙に於て築かれた皆樣の血と汗との結晶が三千萬民衆と共濟融和の花として開き王道樂土の實として結ばるゝ時は近づきました、此の意味に於きまして特に現地満洲に活躍せらるゝ諸卿の御奮鬪と御自重とを切に祈念致します、満洲を去るに臨みまして一言御挨拶申し上げる次第であります

昭和七年八月

別を満洲國人士に告ぐ

陸軍中將 本庄繁

余は去年秋八月節鉞を受けて旅順に駐せしが忽ち東北軍閥の非法にも鐵道破壞の變を發生するに遇ひ權益擁護のため毅然問罪の師を興して兵匪を剿討する等瞬息の間に一載を經過したり今や勅命を奉じて軍事參議官に補せられ不日東上征途を履まんとす行くに臨み謹んで全満人士に別れを告ぐ

追想すれば九月十八日の事變以來反抗軍隊は錦縣に賓州に又哈市等の地方に一起一仆故意に破壞を企圖するあり又千里を遠しとせずして來れる調査團あり之に面接するなど匆忙の間に日を送り最後に馬占山が謀叛の戰役に遇へり之が爲め我軍は炎熱或は瘴霧の内に戰鬪して備さに艱苦を嘗しが此は軍人當然の職務なれば贅言するに足らざるが只新國の成立するや當代賢豪の馳驅奔走は全く一時の活歷史にして千秋忘れ難き事蹟なり

余が兵匪の剿滅に從軍するや其の趣旨は屢々布告したれば贅述を要せず一言にして之を蔽へば暴者を除き良民を安んずるのみ豈他の要求あらんや而して夫の満洲建國の擧たるや實に三千萬民衆の自覺の力が招致せる所に係れり満洲統一の業は之に賴つて以て樹立さる眞に欣慰の至りに勝へず何ぞ[illegible]自覺の力と謂ふ

一、満洲の歷史及其地位
一、満日民族及其他の民族協和
一、王道樂園の建設

是なり惟ふに新國は突然の發現に非ずして其由來する所久し蓋し東省の父老は軍閥暴虐の政に苦む茲に二十餘年なり大巳氏の師旅が我軍の攻擊に遭ひ彊域を守らず走散飛鳥の如く散じ三涂樂の巢窟は忽にして土崩瓦解せり此よりして政權は停頓され四境は統治を失ふに至れり是に於て純正の民意は翕然として猛省し根源を溯れ歷史を満として獨立を宣布して新國を創建せり即ち歷史上に旦有する基礎に依り之を現代の民族が自決する原則に基き固有の領土を回收して獨立の政權を建立せるものに係れり乃ち満日民族が首として之が基幹となり満蒙に居る其他の民族を結合し彼れ此れ相和合して古訓に所謂「國は民を以て本となす」の意を實行せるなり而て極力軍閥獨裁の秕政を掃除し共存共榮の大同主義を發揮し更に一永久の樂園を造らんと企圖せるもの延いて今日に至れるが満洲國の現況は恰も天地の洋々平として萬物を發育するの概あり然れども其建設や僅に第一歩を踏むのみ强梁既に除かれたりと雖も餘孽なほ在りて四鄙は未だ安靜ならず前途頗る多難なり今後盤根錯節を截斷して幾多の紛議を解決するに恃んで以て强有力となす者は他なし只各民族の融和團結に在るのみ語に曰く「衆志は城を成す」とは團結の力なり又曰く「三千是れ一心」と此れは周が王縣を作れる所以なり現今上には執政あり英明にして仁慈下には建國の諸公あり勵精能く治を圖するに余は此際更に満日民族の鞏固なる握手を高唱せざる能はず命令既に發せられ歸國近きに在り此より海天路遙かなり離緒纏綿の情に勝へず尚ほ[illegible]む初志を貫徹して徐々奮勵を加へ[illegible]謀を展へて王道樂園を完成し彼我脣齒相依るの旨を忘るゝ勿らん事を祈の如くなれば啻に満日兩國の國運に就き慶幸と謂ふべきのみならず即ち我が亞洲同胞も福祉を稱へざるはなく況んや更に世界の平和も亦以て招徠す可き乎是れ余が祝禱して已まざる所なり行を匆々言はんと欲する所を盡さず

【寫眞は二十九日満人士に告辭を述べた本庄前軍司令官】

けふの貴衆兩院

【東京特電二十八日發】遂に會期延長の已むなきに至つた非常時議會論戰第四日は衆議院本會議は休會したるも貴族院は日曜日にも拘はらず午前十時より本會議を開き直に秘密會に入り小山法相より前日衆議院でなしたと同樣五・一五事件の内容を報告次いで質疑に入り同和會長尾元太郎、研究會佐々木志賀二兩氏より農村對策問題につき所管大臣と質問應答これで國務大臣に對する質問通告者の全部を終つた、一方衆議院は午前十時十五分より豫算總會を開き一旦休憩後再開政友會の若宮貞夫氏始め田子一民、長島隆二、森田福市氏等から時局匡救豫算を中心として政府對策に對し完膚なき總攻擊をなすといふので各派議員共早朝より登院日曜日の議會としては珍しき緊張を示した、なほ豫算總會と併行して各特別委員會が午前午後に亘り開かれたが政府と政友の妥協成らず議事は遲々として進捗せず重要法案の質問戰は次回へ廻された

貴族院本會議
開會後直に秘密會に入る

【東京二十八日發】貴族院本會議は午前十時五分開會德川議長は政府より秘密會の要求あつたとて傍聽人を退席せしめ直に五、一五事件の秘密會となり小山法相の説明に入り、貴族院本會議は秘密會を終つて午後零時三分休憩となつた

衆議院豫算總會
開會、直に休憩を宣す

【東京二十八日發】衆議院豫算總會は政府と政友會との感情問題から二十五日半日だけやつたのみで休憩した其の後双方の妥協に依り漸く局面打開の途が發見され二十八日午前十時二十五分全閣僚出席の下に開會したが、岡田委員長「議事の進行を圖るため休憩します」と述べ直に休憩に入る

議事再開

休憩中の豫算總會は午前十一時五十分再開前會に引續き

若宮貞夫氏（政）　米穀對策としては政府が今回提案した樣な米穀資金の増額の如き應急策では頗る不徹底であつてもつと徹底せる根本策を急速に立案する必要ありと思ふが政府の所見如何

首相　政府も米穀政策の根本對策は急速に立案する必要ある事を認め調査研究を取急ぎ出來る限り早く議會の協贊を求めたいと思つて居る

若宮氏　政府の救濟事業施行の狀態をみると從來兎角澁滯がちであるが今日の如き急を要するものについては當局として餘程考慮あつて然るべきと思ふが如何

首相　特にこの點は愼重考慮し御協贊あり次第事業を施行し得る準備をして居る

これで若宮君質疑を打切り續いて工藤鐵男（民）君より午前中の議事停滯に關する委員長の態度を難詰し午後零時七分一旦休憩午後一時半再開した

率勢米價廢止 政府も容認に決定
樺太長官問題は拓相より釋明す
今日の臨時閣議

【東京二十八日發】政府は二十八日午前九時半院内に臨時閣議を開き永井拓相糾彈問題に關し鳩山文相より奔走の顛末を述べ政友會より質問あつた場合卒直に遺憾の意を表するのが本問題を圓滿解決する所以であるとの意見を提出し各閣僚も之に贊成したので本日の豫算總會では永井拓相より岸本前樺太長官の罷免は手落で遺憾である旨を述べ釋明するに決した、次いで政友提出の米穀法改正案と政府案の措置に就き協議したが

鳩山文相 より

此の問題の解決策は政友會の主張も考慮して行く事が必要と思ふと述べ

高橋、三土兩相 よりは

率勢米價の調節方法は今日迄の成績に依ると效果は甚だ薄いから敢て存置の必要ないと述べ、結局率勢米價廢止は政府も容認するに至り、次に米穀資案は來議會に提出せんとする米穀の根本對策樹立に際して考究すると答へる事になり、會期延長問題は議題に上らず十時散會した

政友會揉める
出身閣僚と黨員との連絡不統一のため

【東京二十八日發】政友會は今期議會に於ける時局匡救對策の重點を負債整理組合中央金庫法案と米穀法の改正に置き之が貫徹に最善の努力を拂つて來たが二十七日夜突如政府と黨出身閣僚及び黨内一部の者との間に妥協成り其結果政府も率勢米價廢止を讓り其代償として中央金庫法を政友會で讓歩する事になつたかの如く傳へられ此間の事情を知らぬ幹部、黨員激昂し二十八日午前九時半院内に緊急臨時幹部會を開き山口幹事長に其の理由を詰問せるも關知せずと答へ、更に森恪氏より鳩山文相を難詰せしに之も與り知らず依つてその眞相判明せざるため充分之等の事實を確め黨として之に對する態度を決定する必要がある、然らざれば豫算委員會其他に於ける質問無意義なりと云ふに一致し一切の委員會審議を中止し委員會休憩を宣し、幹部始め黨員全部本部に引あげ緊急幹部會を再開重大協議を行つた

議會二景

農村匡救の第六三特別議會は廿三日召集された、準與黨たる政友會の態度及び國民同盟の歸趨如何が注目されてゐるだけに今議會は相當の緊張裡に無事成立した、寫眞は（上）國民同盟控室（下）第一控室の新顔（向つて左から）杉山、三木、亀井、松谷、安部の諸氏

五・一五事件概要
法相の説明

【東京二十八日發】二十七日の衆議院本會議秘密會に於て小山法相より説明せる五・一五事件要旨左の如し

○○○○の關係ある事の判つたのは六月上旬、更に○○○○が自首して出たのが七月二十四日、東京地方裁判所が身柄を受取つたのが七月三十日、夫れ〲調べた結果始めて事件の全貌が判つたのが此の

臨時議會 の直前であつた、故意に遲らしたのでない、血盟團員は今年二月九日の井上前藏相、三月五日の團男の暗殺に就き其の取調べに連れ多數の共犯ある事が判明した、其の爲め三月二十五日迄に○○外血盟團員十四名を檢擧した、之は大洗に根據を置く井上日召一派で其の内十四名中東大學生四名、京大學生三名、國學院學生一名があつた、之等のものは本年一月上旬血盟團を組織して政界に於て十名、財界に於て十名を選定し順次暗殺する計畫であつた、而して右に關聯し五・一五事件が起つた、之は

愛郷塾の 關係者に依つて企てられた、第一班は○○○○、○○○以下八名靖國神社に集合し總理大臣官邸に到り犬養前首相並に護衛巡査を狙擊した、第二班は○○○○、○○○以下四名芝泉岳寺に集合し牧野内府邸を襲ひ手榴彈二個を投下し巡査一名を狙擊した、第三班は○○○○、○○○以下四名新橋驛に集合し政友會本部を襲ひ手榴彈二個を投下した、此の三班は兇行を終ると前後して警視廳に到り手榴彈三個を投じた其の他日銀、三菱銀行に手榴彈を投下し一方市外數ケ所の變電所を襲擊した

此の事件 の首魁と目すべき○○○○は此の計畫の爲め拳銃五挺、實彈多數、現金六千圓を交付した、而して○○○は此の事件に關係し居る事判明したので六月十五日上野發青森行の汽車に乘つてゐる處を車中に令狀執行され東京に護送された

時局匡救關係の低資融通額
總計十億九千八百萬圓

【東京二十八日發】大藏省發表、時局匡救策に關する預金部低利資金融通計畫額は三ケ年總額十億九千八百六十九萬三千圓の豫定で其の年度割左の如し

七年度　二億九千百二十三萬千圓
八年度　四億三百七十三萬千圓
九年度　四億三百七十三萬千圓

協心戮力し皇國の大業達成
武藤司令官訓示

武藤關東軍司令官は本日隷下軍隊一般に左の如く訓示を發した

訓示

隷下一般の將士に告ぐ、信義之しきを以て大命を關外の重責に承け、新たに榮譽ある關東軍司令官として武勳赫々たる諸士と共に乾坤一擲の我國家的大事業たる満蒙問題解決第一線の職守を辱かしむ、喜幸何ものか加へん、顧みれば事變勃發以來既に一年この間諸士は前軍司令官の麾下にあり寡兵を以てよく暴戾なる衆敵を一蹴し更に邪奸を除き酷暑に耐へ各地に轉戰して擊攘なる兵賊の掃滅に努む、その勞や寔に多くその功は實に大、正に帝國天與の洪業、恢弘の先驅者として皇軍青史に光彩陸離たり、本職は敢て皇軍と諸士とのため慶ぶ

由來満蒙は帝國の鎖鑰にして我民族生存の保證地域たり、既往幾多の征戰茲に反覆せられ先覺幾萬の生靈この地に瞑目せる又所以なきに非ず、然して今圖らずも満蒙問題解決の曙光を見るに至る天祐神助の想ひなき能はざるなり、恰もよし満洲國政府王道立國を以て獨立を宣す、方に皇道日本の儔なるなからんや、即ちそれ良民は我同胞にしてその國軍は我戰友なり、正に習性を[illegible]びて歸趨に自覺し共に小義を棄て大同に就き仍つて以て解決最後の完成を見る時満洲國の基礎ために鞏く我國防と民族の生存始めて安し、然れども解決最後の完成期は倘遼遠にして前途に突破裁斷を要すべき幾多の盤根錯節あるを豫期せざる可からず、特に建設期と工作は治安の維持を以て其要根幹となす

ここを思ふ時本職は向後我關東軍所屬將兵の堅確鐵の如き士氣と百折不撓の勇武を以てする不斷の奮鬪にまつべきもの誠に多きを信ぜずんばあらず、信義大命を受けたるの日畏くも勅語を下賜せられ又參謀總長宮殿下の令旨を拜し爾來夙夜重責の愈々重きを念ひ至誠奉公の念倍々固きを覺ゆ、希くは諸士幸に協心戮力誓て皇國大業の達成に邁進せんことを、着任に當り右訓示す

昭和七年八月二十六日
關東軍司令官 武藤信義

事件費公債額
七年度九千萬圓

【東京二十八日發】大藏省調査に昭和七年度分満洲事件公債發行額は總額九千萬圓にしてこれが各省別は

外務　一、八〇六、〇〇〇圓
陸軍　三三、一三七、〇〇〇
海軍　二七、〇三七、〇〇〇

人事

▲秀村得市氏（東亞煙草重役）二十八日入港ほんこん丸にて來連
▲青木大勇氏（醫博）同上
▲近藤儀一氏（新任遞信局庶務課長）同上着任
▲片山茂樹氏（九州帝大農學部教授）同上
▲西田屹二氏（同上）同上
▲金原誠氏（旅順工大講師）同上
▲荻野順治氏（満洲寫眞通信社長）同上
▲久保田治兵衛氏（吉林マッチ會社代表取締役）同上
▲長井經理氏（東大助教授）二十八日午前十時はるびん丸にて歸國
▲船田要之助氏（元沙河口工場長）同上
▲小柳健吉氏（川崎造船所技師）同上
▲牛島實常氏（陸軍少將）同上
▲櫻内辰郎氏（前代議士五品理事長）同上
▲山内盛文氏（[illegible]社長）同上
▲上野愛子孃（第二師團參謀長上野大佐令孃）同上
▲三角愛三氏（工博旭硝子重役）同上
▲十河信二氏（満鐵理事）廿八日朝九時發急行で赴奉
▲郡新一郎氏（満鐵社員會幹事長）同上
▲堀義雄氏（満鐵社員相談部長）同上

角蛇

拓相彈劾は小さすぎる、と大政友會が憤つた。

◇

藏相彈劾は?之れは又チト大きすぎて……。

◇

どうしても有產者救濟に傾く、無產者救濟を研究しないと、テロが顏を出さう。

◇

満洲國議會召集の請願、但しまだ早い。

◇

外人記者、[illegible]の詩句「[illegible]鴻毛に値す」を掲げて、其人格を[illegible]してゐる。

満蒙の戰慄 (83)

直木三十五作　淺枝次朗畫

轉落（六ノ一）

道を歩いてゐても、涙が出さうであつた。その涙は、怒りと共に後悔を、悲しみを、絶望を、苛立ちを、自棄を――人間の、一番苦いいろ〱の心理が、一かたまりとなつて、こみ上げてくる涙であつた。

（何うなるのか?）

と、處女を、さうした男の爲に奪はれた女の行く手を考へると共に、春木に、脅迫されながら、だん〱、墮落して行く自分の行く手が、頭の中へ、斷片的に、ちらくとした。

（何うなりとなるがいゝ）

と、自棄的な氣持が起る――すぐ次に

（何うして、逃げたならいゝか）

それから

（でも、そんな人かしら?）

バスの停留所まで、そんな氣持で、歩いてきたが、道を行く、何の人も

（何を、泣きかけてゐるんだらう、この女は?――）

と、見てゐるやうな氣がしたし

（こんな氣持で、家へ戻つたなら、いくら、お母さんでも、疑るだらうから?）

麗は、さう思ふと、誰が、この氣持ちを知つて、自分を救つてくれるやうな人が無いかしら、と思つた。

（中牛さん――さうだ。中牛さんは、賴もしいけど、こんな事を――こんな事を、打明けたなら、何んなに、叱られるか――叱られるだけならいゝけど――）

麗は、満洲にゐる父が、何も知らないで、自分が、心も、身體も健全に、働いてゐるものと、信じてゐるだらうと、思ふと

（すみません）

と心の中で云つた。さういふと涙が、眼瞼の上へ、出てきた。麗は、うつむいて、眼を、しばたゝきながら、通りから、横へ外れた

（もう、あの店へも、勤められやしないし、明日から、妾、明日から、何うしたら――）

麗は、道の左右にある、大きい小さいいくつかの酒場を見たが、何れも、罪惡の發生地であるやうな氣がした。

（女給の外に、妾、何をして、働いたなら?）

麗は、さう思ふと

（いつそ、お父さんの居らつしやる、満洲へでも行かうかしら――でも、お母さんは、何うなさるか?）

又、盛上つてくる涙を押へて

（何ッかへ、入つて、思ふだけ泣きたい――御友達が、こんな時にあつたなら?）

麗は、そんな事を思ひながら、道のあるまゝに歩いて行つた。暑さが、だん〱高くなつてきて、化粧崩れがしてゐるやうであるし――それが、皆、春井が、させた事だとおもふと、春井に憤りが起つてくると共に――濠の暗闇の中で、その春井の腕の中へ、もたれかゝつた自分の醜さが、身體を叩きつけてしまひたいやうに、後悔されてきた。

（何と云はれても、妾が、いけなかつたのだわ）

麗は、もう少し、自分が、しつかり女だと、自分で信じてゐたゞけに、店の女給と同じやうに、すぐにも、身體を任してしまつた自分の輕率さが、堪らなく、後悔されてきた。

（いつまで、こんな所を、歩いて居たつて仕方がない、中牛さんは今時分、留守だから、矢張り、戻つて――その方がいゝ――）

麗には、世の中に、自分の家だけが、安心した所であるやうに感じた。そして、母だけが、何でも赦してくれるやうに思つた。

（お母さん）

と、心の中で、叫びつゝ、バスのくるのを待つてゐた。

約五千名の匪賊が朝陽鎭に來襲
守備隊が應戰し撃退
敵の損害數百

二十五日夜半大部隊の匪賊が熱河の朝陽鎭に來襲したので同地守備隊はこれと交戰し兵匪側に多大の損害を與へて撃退した、我軍の損害戰死一名、負傷者齋藤少尉以下八名、敵の遺棄した死體は調査未了なるも數百名に達する見込であると、なほ來襲した兵匪の數は一萬と稱せられるが實數は五千位のものであつた【奉天電話】

學良配給の軍裝する義勇軍
洮南の附近に現はる

既報張學良が天津の軍衣店に注文して製作せる綠色の軍服、軍帽その他軍需品は既に遼北一帶の義勇軍に配給終了せるものと見られ目下洮南西南方瞻榆附近に於て掠奪暴行中の義勇軍全部は綠色の新しい軍裝してゐることが判明した、これで義勇軍の活動は學良の使嗾によることが愈々明となつた【奉天電話】

颱・風・來・る
今明日警戒

二十七日の朝から急に變つた天候は二十八日まで續いて、折角の八月の最終日曜日も臺なしにして、吹く風に、降る雨に秋のさゝやきを聞かせたが、この風雨は過般來沖繩地方を荒し廻つてゐた颱風が段々と北進して關東州方面に近づいて來たためである、現在の處この颱風の本低氣壓は濟南の南方にあり、又颱風の特徴たる副低氣壓は渤海より東に漸進しつゝあるがこのため風は常に十二、三米を吹いて雨もしばしく降すのである、二十七日來の雨も颱風であるため所々別々であつて、大連、奉天は十ミリ、旅順が二、三ミリ、鞍山が二十六ミリ、營口が四十二ミリ安東が一番多くて五十三ミリも降つてをり、風は各地共に十二米以上であつた、關東州に颱風が來襲するのは本年としては第一回目でこのため二十九日一杯の天候は險惡である、若草山觀測所の話によれば

現在濟南方面にある低氣壓は沖繩方面に比較するとその勢力は約半減して七百五十ミリ程度のものとなつてをり、渤海の副低氣壓と共に渤海より遼東半島を通つて東に拔けるものと思はれるが、この颱風の今までの進路は先づ沖繩地方より南支に入り二十七日朝揚子江下流に低迷し二十七日夜中より北進して二十八日朝濟南々方に達したもので今後の進路に對する豫想より見て、州内は二十九日午後まで、奥地は二十九日一杯は警戒を必要とする

十河理事も
けさ出發
社員慰問に

滿鐵本線奉天長春間、海海線、安奉線の現業員慰問の滿鐵事務使第一班十河理事、社員會長、堀相談部長の一行および第二班村上理事一行中の山崎社員會相談部長等は何れも二十八日午前九時大連發の急行で奧地に赴いたが第一班の日程は奉天から始まり大體四五日の豫定である

河南丸で傷病兵歸國

約一歳に亙る北滿各地の戰鬪に幾多の殊勳高き一等軍醫正邑澤氏以下四十八名の戰傷病兵はその後各地の衞戍病院に於て療養中であつたが、愈々内地へ歸還すべく二十八日午前十一時出帆河南丸にて廣島衞戍病院より出迎への笠岡二等軍醫附添ひの下に懷しい故國へ凱旋した、埠頭には傷ましい白衣の勇士を見送る公私團體代表者を始め各學校、團體、官民多數手に手に日章旗を打ち振り五色のテープは漸く吹き初めた秋の風に揺れて傷ける勇士の心を慰め凱旋の行を盛んにしたが萬歲と歡呼は埠頭を壓して賑々しく、定刻十一時白波をけつて船出した【寫眞は河南丸の出帆】

廿萬の織布工罷業に入る
ランカシアの勞働爭議

【マンチエスター廿七日發】バーンレー織布工の賃銀引下げに端を發したランカシア織布工の勞働爭議は漸次に亙る勞資間の交渉も遂に纏まらず二十萬の織布工は賃銀引下反對賃銀協定廢止に反對し既に罷業中の織布工の復職の二大要求を掲げて二十七日正午より愈々總罷業に入つた

陸軍異動赴任

陸軍異動の結果内地に轉任せる在滿將士中二十八日出帆はるびん丸にて赴任の途についたものは左の通りである

海城野砲第二聯隊砲兵中尉湯淺芳治氏▲鐵嶺衞戍病院一等軍醫加藤鎭吉氏▲陸軍獸醫學校一等獸醫市岡節祐氏▲獨立守備隊第二大隊步兵少佐粟屋幸弘氏▲海城野砲第二聯隊砲兵大尉白井直助氏▲陸軍騎兵學校騎兵大尉橋本通義氏▲關東軍倉庫三等主計正土晋氏▲陸軍通信學校步兵大佐百武晴吉氏

吉林に醫療所

元長崎醫大教授醫學博士青木大勇氏はさきに來滿各地を視察したが今回滿洲國の諒解の下に吉林に醫學的施設をなす目的にて二十八日入港香港丸にて來連したがその規

近く滿洲國で煙草專賣か
東亞煙草の重役來る

東亞煙草監査役秀村得一氏は決算後の當地支店工場の視察を兼ね滿洲國の状況を調査する目的で二十八日入港香港丸にて來滿したが同社は滿洲國が煙草を日本同樣專賣制とする模樣でこの結果依嘱製造等を期待して居り同氏の來連はその瀬踏みとも見られてゐる

夫君の許、滿洲へ
華やかな一團
滿洲國官吏夫人來る

滿洲國建國以來鋭意その建設に全力を傾けて奮闘してゐた日本人官吏も同國の基礎も漸次安定し來たるにつれ漸く家庭を顧みる事になり内地に殘した家族をボツ〳〵呼び寄せる樣になつたが二十八日午前入港香港丸にて滿洲國財政部の田中事務司長、田村國稅科長、山梨會計科長並に總務廳古海文書科長等夫人や家族等が一番乘りとして到着それ〴〵夫君の出迎へを受けて賑々しく上陸したが、今後續々來滿する豫定で滿蒙の炎暑漸く去ると共に凉風は全滿に吹きそめ温かい家庭に建國の安泰を知る

獨逸製品の販路擴張を期待
最近の獨逸事情を語る
長井東大助教授が歸朝

わが國最新の海外留學者として知られた故藥學博士長井長義氏の令息東大助教授長井維理氏は獨てドイツハイデルベルヒ大學に留學中であつたが歸朝の途來連二十八日午前十時はるびん丸にて夫人同伴歸京したが氏はドイツの最近の状について語る

獨乙國民は戰後非常に困窮し重税に惱みつゝ、その生活は益々逼迫して來てゐる、最近では家を賣る人は澤山あるが買手がない一軒の家を借りてゐる人は殆んど皆無だ、然し困つてゐるのは持つてゐる、ヒットラーの率ゆる國粹黨は對ユダヤ人を相手として起つた國民運動であるがミリタリズムに雷同する大衆は國粹黨に多大の期待と後援とをしてゐるので漸次その勢力は増大されてゐるがヒンデンブルグの勢力もまだ相當なものでヒ翁の周圍にはまだ多數の權威者が集つてゐるので智識階級には信賴ぜられて居り今容易にヒ翁の天下が覆へされる事はない、ヒットラーが前皇太子を擁立する運動は南方に大きな勢力をもつてゐるがまだ一般化してゐない

ドイツが日支事變以來日本に惡感情をもつてゐると云ふが獨逸も日本や支那の東洋に關する事は實際によく知らないのだ、それで歐洲の從來の何れもが侵略主義である處からその先入感から滿洲事變を見てゐる結果でよく説明すればさうかと諒解し一度でも日本へ來た人は日本贔負で、ウンガーと云ふ人は日本のミンＡ・Ｄの如きは最近その實驗を摑む事に成功し素晴らしい功績を擧げてゐる、最後に獨乙と滿洲國の成立に依り日本への感情を惡化したとは雖も企業家連中は新國家の建設と共に獨乙製品の販路擴張を期待し差して惡化してゐない

庭園や離舍を作つて樂しんでゐる、ドイツ人は外交的手腕に乏しいので兎角偏し易いがまた一日信ずれば最後まで力をかす國民であるから反日感情も誤解をのぞけば後は簡單である、私の專門の化學の方ではドイツは純正化學と應用化學の連絡がよく取れてゐて今最も注目されてゐるのはセルローズ(或る纖維)より砂糖を取る事でこの砂糖はまた人の食糧にはならぬが家畜の飼料に使用されてゐるヴイター

陸相と軍司令官が命名式に祝辭交換
第十師團管下四縣から獻納する短波無線電信電話機

【東京特電二十八日發】第十師團管下の兵庫、岡山、鳥取、島根の四縣民は擧つて愛國獻金を募つてゐたがその金額八萬五千圓に達したので從來の獻品とは全く趣を變りの軍用短波長無線電信電話機を陸軍へ獻納することになり外般來陸軍通信學校設計のもとに製作を急いでゐたが今月中に完成するので愈々來る六月中野電信隊で荒木陸相以下諸將官出席獻納縣民多數上京參列盛大なる命名式を擧げる事となつた當日は式場の陸相と奉天の武藤關東軍司令官と祝辭交換を行ひ又獻納代表と獻納地出身で滿洲に派遣されてゐる將兵との間に最初の通話交換をなすことになつてゐる

長春附屬地外へ邦人を拉致する
日滿官憲が出動調査

二十八日午前十時半頃一日本人が乘馬で長春附屬地鐵道北火葬場北方の附屬地外に出たところ附近部落民三十名と巡警四、五名とが合同して不法にもこれを捕へんとしたので該日本人は逸早く附屬地内に避けんと逃げだしたが巡警及び巡警はこれを追跡火葬場附近で取押へ附屬地外に拉致し去つた、この急報により長春縣公安局では直に出動、又長春警察署も急遽署員を調査に向けた【新京電話】

借用證書を僞造行使し逃亡
告訴から門司で御用

市内彌生町居住門司稅關大連出張員遞信局書記植木悦郞氏は、二十七日午後九時頃大連署刑事室に出頭し、私文書僞造行使詐欺の名目によつて原籍山口縣豐浦郡勝山村當時市内彌生町二ノ五元遞信局官吏山田貫實(三)の取押へ方を願ひ出た

植木氏の語る處によれば山田は元遞信局航空課勤務中、植木氏の隣りの官舍に住んでゐたものであるが、本年四月頃植木氏の印鑑を僞造し、借用證書を作製して市内信濃町百二十三高桑吉藏氏より金百十五圓又本月初旬市内磐城町一四三持田彦平氏より金五百圓を借用し、二十六日出帆のうらる丸で郷里に逃亡したが、二十七日右債權者二名よりの請求によつて始めてこのことを知つた植木氏は直ちに大連署に屆け來たものである

大連署では直に門司水上警察署へむけ山田貫實の取押へ方を打電したが、山田は本年春の行政整理によつて解職されたもので植木氏とはたゞ隣り合せて住んでゐたさいふだけの縁故であるが、日常の出入融人その他も殆ど全部借餘してなり、他にも同樣犯罪を犯してゐる見込である、なほ二十八日正午門司水上警察より山田貫實を取押へた旨返電があつた

近く來滿の外務省巡査

【東京二十八日發】滿洲國及び支那の我領事館同分館に配屬される外務省巡査は文理科大内で三週間の教習を終へ二十七日午後二時四百七十名隊伍を組んで明治神宮に參拜午後四時練兵場で堂々分列式を行つた、文理大配屬の長谷川少佐の指揮で外務省の岩崎領事カンく帽で閑兵山田警部、篠田警部補等指揮で來月初旬ハルピン、吉林その他在滿領事館に三百五十名殘りは上海、天津、青島、濟南、厦門に赴任する筈で外務省巡査はこれで一千九百名となつた

現銀掠奪事件嚴重抗議提出

【天津特電廿八日發】甞に白河に於て大連汽船に積込みのため下航中のライターが積載した現銀八萬九千弗が途中官兵らしき匪賊の掠奪に會し其後抗議するも何等の結果を見ず今日に至つたが、斯くては白河航行の自由と通商が極度に脅威されるので日本商業會議所は決議文を天津聯合商業會議所に提出し支那官憲に嚴重提議を要求したる結果聯合商議委員會に於て省主席に對し嚴重取締方を要求する事と決した

村で一番のモボとモガが
驅落ち上陸第一歩を保護

奈良縣宇陀郡御杖村字菅野農業吉田金太郎(二)並に同村高島サカエ(二)は村一番のモガ、モボとして村人の話題に上つてゐたが何時しか戀を囁き遂に合意の上口さがない村雀の視野をのがれ廣い滿洲で愛の巢を營まんと去る十八日親兄弟には秘密でこつそり郷里を逃げ出し内地を見ためにと新婚旅行と洒落伊勢參宮を始め草津、京都、姫路、宮島と巡り、二十六日下關より香港丸に乘船二十八日午前八時大連に到着したが大連水上署では郷里よりの手配に依り漸く上陸してホツと息つく二人を連行目下郷里に電照中である

中津町の被害甚大

【岐阜二十八日發】既報岐阜縣惠那郡中津町の洪水と山海嘯の被害甚大で百七十萬圓に達す

新記錄へ躍進の水上選手權大會
五十米決勝から開始

滿洲體育協會主催全滿洲水上競技選手權大會は廿八日午後一時より大連運動場プールにおいて全滿より選ばれたる百餘名の男女選手參加の下に開始この朝來南東の風強くプールに小波を立て水温二四度なれど新記錄へ躍進の選手の意氣すさまじく定刻三十分前より選手はプールに跳込んでウオーミングアップを開始す、午後一時貝瀨讓吾會長開會の辭を述べ五十米決勝より開始觀纜左の如し

▲五十米決勝

一着永山秀男(一中)二八秒六、二着塚本和泉(撫)三着篠忠夫(旅)

スタート一齊に出で二十米では塚本、永山、篠、柳井並行し三十米では柳井一時リードしたが永山四十米よりスパートして出で塚本とタツチの差で勝つ

▲千五百米決勝

一着川崎茂(撫順)二三分四四秒四(滿洲新記錄)二着熊野壽夫(大一中)二三分一七秒(滿洲新記錄)三着央興隣(大連)

川崎、熊野、央の三者六百米まで平行、六百のターンで央やゝ落ち千米では川崎、熊野の差五米、川崎、央との差十米となり川崎のラツプタイム十五分三秒ののち川崎益々好調一、二着の差甚しく約三十米を拔いて川崎勝つ

▲女子五十米決勝

一着土屋百合子(旅順)三五秒四、二着荒尾壽家(奉天)三着杉山春那子(大連)

三者三十米まで平行しいづれが勝つとも豫想されなかつたが土屋ラストで出で僅かの差で土屋勝つ

遞信局の庶務課長
近藤儀一氏來任

遞信省秘書課より關東廳遞信局庶務課長に榮轉せる近藤儀一氏は二十八日午前入港香港丸にて家族同伴着任したが、氏は遞信省へ入つて十二年その間約二年臺灣遞信局庶務課長として臺灣に在任したが前内閣當時は内閣秘書課にありその後轉じて最近迄本省にて奮振つてゐた、氏の家庭は

州内外對抗庭球戰

本社優勝盃爭霸本社主催州内外對抗硬球庭球戰は二十八日早朝の豪雨のためコートの手入に手間取り豫定を變更廿八日午後一時から中央公園滿鐵コートでダブル戰によつて開始された

州外		州内
鵜飼・村田	6—4	吉田・伊藤
中村・福眞	4—6	阿部・新井

鵜飼、村田組旅行づかれか第一セットに於て三ゲームを取られたるが次第に當りを見せ六四にて勝第二セットは鵜飼、村田組ネバリよくきゝ遂に六三にて村田組勝

兩軍一進一退の好接戰を演じたるが阿部新井組チヤンスをつかんで第一回セット勝第二セットは中村福眞組リードし五對二に於て雨のため中止

中川映畫製作所主けふ來連

中川映畫製作所主中川紫郞氏は二十八日入港香港丸にて來連したが同氏は滿洲國紹介のため秦の高祖の史蹟を調査すると共に過般安奉線における滿鐵殉職社員の遭難當時の模樣を調査し映畫化する計畫を持つてゐると

三浦博士歸國

さきに開かれた工業化學會南滿支部發會式に出席中であつた旭硝子重役工學博士三浦愛三氏はその後滿蒙始め天津方面の硝子工業の視察中であつたがその目的を達し二十八日午前十時出帆はるびん丸にて歸國の途についた

けふ競馬中止

大連競馬主催の秋季競馬大會第二日目は廿八日擧行の筈であつたが昨夜來の豪雨のため馬場不良で廿八日は中止し廿九、三十の兩日に順延した

牛島少將歸京

歐洲視察の歸途來連せる陸軍教育總監部附牛島實常少將は二十八日午前十時出帆はるびん丸にて歸京の途についた

二十八日晩
南の風強く時々雨
二十九日
北西の風　雨後天氣良くなる

各地溫度

	廿八日午前十一時	最高	前日最低
大連	二五、四	二五、五	
旅順	二四、九	二五、九	
營口	二一、一	二八、八	
奉天	二三、〇	二九、七	
長春	二四、六	二八、四	

滿潮(午前八時五十分 午後九時十分)
干潮(午前一時三十五分 午後三時二十五分)

母コノ儀豫て病氣の處藥石無効昨廿七日午後十時郷里神奈川縣に於て死去仕り候に就ては來る廿九日午後五時攝津町常安寺に於て追悼會相營み候間此段謹告候

昭和七年八月廿八日

男　市川金太郎
親戚代表　池内新八郎
友人代表　榊谷仙次郎

會葬御禮
女　丸山芳子
妻　ヨネ

國難日本刀（77）

高桑義生作　京橿佳夕畫

犠牲者（一）

その翌朝、お千と伊三次は、格別宿を引上げる氣配もなく、朝飯をすますと、落着いて茶を飲みながら

「つまり、あの二人のほかにも、別に一組あるといふわけだな。鉄天堂に寢てゐた……」

と伊三次がいふ。

「まあ、さうぢやないかと思ふんですよ」

「何者だらうな？」

「ちよつと見當がつきません。今日からそれも探つて見るつもり。それに、昨夜、あゝして止めたけれど、あの人はけつして止めはしないから、今夜の樣子を見屆けなけりやあならないんですよ」

お千は弓之助が、自分のすゝめに從つて、今夜のあめりか人との會見を、中止しようとは考へてゐないのである。

「なんだ。では、今夜そこへ行かうといふのか」

「……」

「フ、ばかな肩の入れようだな」

「お嫌なら一人でやりますのさ」

「いつたいそれだけの男なのかなあ。そこまで力こぶを入れられるのは、何といふ果報な男だらう」

「やけますか？」

「やけるよ。だが、姐御のおいひつけなら、是非もないさ……」

「また……」

とお千は打つ眞似をした。

その日は、二人ともいちにち宿にゐて體を休めた。夕方近くなると、宿の番頭が入つて來た。

「御たいくつさまで……」

「何だな？」

「へえ、その、今日町ぶれが出まして、夜分の御外出は、お控へ下さいますやう……」

「フウム、どういふわけか？」

「手前どもに、くはしい事はわかりませんが、多分黒船さわぎで、諸方の方々がお入り込みになつた

外出はまかり成らぬと」

「さうか、それならばさうと早く申すがよい」

「相すみません」

「やり切れないねえ。あなた、つまらないから、二三日、蓮華寺へ行きませうか」

とお千がいふ。

「それもさうだな。では日の暮れないうちに、早速出かけやう」

「左樣でございますか」

番頭は狐につまゝれたやうな顔をした。

危險だと知らせた自身が、危險な場所に踏み込まうといふ、お千の仕事は、常識では考へられない。

「さうですよ」

「せつかくの御親切が、それぢや何の役にもたゝない。第一、自分の身が危ないではないか」

「仕方がありませんよ。此方が親切で止めても、先樣には先樣の考へがありますから。あの人は、多分、そんな事に拘らず、出かけて行くに違ひない。どんな危險が待つてゐると知つても、一應は行つて見る、思ひ止まる人ぢやないんですから。まあ、尻込みしてしまふやうなら、多寡が知れてゐます」

「ほゝう、ぢやあ出かけるのを待つてゐるのか」

「早くいへば、そんなものでせう」

「驚いたなあ」

「ちよつと今夜は危ない橋を渡らなけりやあなりません。今夜だけは、あなたの助太刀を頼みたいんですけれど……お嫌？」

と誘ふやうなあだツぽい眼差で、

「今、捕まへさせてしまふのは、ちよつと惜い氣がするの。是が非でも助けてやらなければならない

に就て、念のための御警戒と思はれます」

「なるほど、そりやあいよく遠慮だ。だが遠慮をしろといふ事なのだな」

「はい」

「では、遠慮をしなければ、外出をしてもよい……」

「いゝえ、それは……一切夜分の一

本社特選　新棋戰（其十）

先四段　△樋口義雄
平手　四段　▲鈴木禎一

【圖は七五金迄の局面】

△樋口氏　持駒　角歩四ツ
△五五角　▲六七金
△八八玉　▲五八龍
△九七玉　▲五五龍
△同　馬　▲七九角
△八六玉　▲八四香打
迄にて鈴木氏の勝

【土居八段總評】本局は鈴木君は序において四三金の傷へで向

【萩原六段解說】樋口氏の五五角は攻防兩樣の手段で勝敗に拘はらず手筋である。鈴木氏の五五龍は自玉の安全を圖り然して七九角と打つて八四香の願となつては絶對の勝である。

飛車の殺法を用ひ敵の仕掛けを待つ意味に指した。この時樋口君は些か作戰を誤つた嫌ひあるも金の活用頗るよく三、四兩筋の歩を切つて着々と攻撃を圖り敵の三三角の惡手を利用して右翼を破つたのは鮮かな指し振りである。因て中盤の形勢は樋口君優勢であつたが平手將棋は少し位ゐ有望たりとも油斷は禁物である、二二飛と打つて攻勢を採らば自然成算歴々なるを飛車の運用を誤つたために攻撃遲滯を及ぼし、續いて防戰を誤つた爲攻防ともに困難を生じ形勢一變した。鈴木君は中盤迄の駒損さは甚拙策で大に形勢を損じたが敵の惡手を逆用して巧に攻勢を執つて敵玉に肉薄し、そして四一歩打の安全策を用ひ大に善戰したので樋口君は反對に戰鬪力を減じ折角の努力も効なく一局を放了したのは惜しい棋戰である。

笑ふ父

新興全發聲映畫　映樂館上映

人氣の絶頂にあるソプラノ歌手宮川美子を特別出演させて新興キネマが大日本音畫製作所と合同製作したオールトーキーである、ストオリはヤニングスの「肉體の道」の飜案であり、主演者松本泰輔の演技も亦、ヤニングス張で力演してゐるから「肉體の道」の日本發聲映畫化と思へば間違ひがない

錄音はキネトーン（ディスク式）によつたもので苦心のあとが充分に看取されるし、映樂館のWE式再生機では發聲効果も相當以上によく「子守唄」とは比較にならぬ長足の進歩振りで懸念された發聲効果の不安を一掃し更生した新興キネマ發聲映畫である

監督は木村莊十二に代つた松石修で手固い方で松本泰輔の演技に重點を置いて「肉體の道」の飜案再生に努めてゐる從つて主演者松本泰輔の力演は全篇を貫く大きな力で助演者では鈴木澄子の妖婦が大衆受けするだらう

問題の宮川美子は後半の三卷に出演して獨唱し母をいたはり、父の墓に詣で父と知らずにルンペンに金を惠む聲樂家として成人した長女元枝に扮し芝居らしい芝居をせず演奏會のステージに全力をそゝいだ悧巧な手法で活かされ「子守唄」の關屋敏子にくらべてこれまた大成功である、そして結局は宮川美子の人氣で呼ぶ發聲映畫である

お化粧の常識 三

怖ろしい含鉛白粉の鉛毒と乳幼兒との關係

殊に夏分に多い鉛毒性腦膜炎

中村吉右衞門丈

小兒は全く可愛いいもので、理くつでは一寸說明出來ない程のものです。それだけに良く〳〵考へてやらねば成らない譯で、私の所でもお蔭と此頃は大分大きく成りまして、何彼と自分から仲々注文を出して居りますが、之が乳幼兒なんかですと何しろ物が言へないのですから、茲の所が餘つぽどよく考へてやらなくては成らないので、今日は一つ此乳幼兒と、それから白粉の鉛毒との關係に就て、知つて居りますだけなお話致して見度いと思ひます。

と云ふのが、從來此夏分に成ると云ふと乳幼兒に

一種特別の腦膜炎

が特に增えまして、其死亡率が却々少くない、凡そ四五十パーセントも有ると云ふのでして、之を京都大學の平井博士が研究せられて之は鉛毒性の腦膜炎で、其主な原因としては、母親が使ふ含鉛白粉などが數へられると云ふ事實を發表せられましたのが、最う隨分以前の話で、最近博士は此御研究でもつて畏くも恩賜賞を頂戴して居られますが、誠に結構な御研究だと思ひます。

其後慶應大學の中鉢博士の御研究を聽きますと、母親のお乳の中に混じて居る、それこそ僅かに

十萬分の幾つといふ

極微量の鉛ですら乳幼兒には充分鉛中毒の症狀を起す事が出來ると云ふのですから、全く以て怖ろしい話で、つまり其白粉を使つてゐる母親には未だ何とも無い程度の微量でも、忽ち乳幼兒には害毒を目に見えて起す譯なのです。

母親の皮膚から入つた鉛がお乳から出て來るのださうで、時には勿論母親の胸の邊の白粉を嘗める事もある譯ですし、又此暑さの折柄アセモ等に良く無い白粉を塗つてやるとか、例の打粉の中に鉛が入つて居るとかの事もありませう

鉛中毒の症狀は

先づ初めに乳幼兒が不機嫌に成つて、何かに驚き易く、それから色が蒼白く成り、消化不良の便を出し又吐くやうに成るのです。そして此時分に療治をしませんと愈々重症と成つて、意識がボンヤりして來て絶えず眠るやうに成り、全身に痙攣を起して終には一命に關する事にも成ると云ふので、まだ手足の爪や又齒の邊が黑く成るやうな症狀もあるさうです。全く

殘酷と云ふ外は

有りません。

斯ふ云ふ事を聞いて見ると云ふと、眞白く白粉を附けて居られる若いお母さんがたを見ますと、若しや鉛を含んだ白粉では無いか、と他人事ながら直ぐと氣に成ります。と云ひますのが、今だに此鉛を含んだ白粉が何でも二割見當は有らうと云ふ話なのですから、精々お氣をお付けに成つて頂き度いのです。それに娘時代に含鉛白粉を餘計塗つてゐると、お母さんに成つて止めても矢張身体に溜つて居たのが出てくると云ひますから益々

怖ろしい譯です。

稀薄の硫化ナトリウム液を滴らして見ますと、含鉛白粉だと黑く成るから、素人でも直に分ると云ひます。何しろ御自分の身体を惡くするばかりでは無いのですから少しでも疑ひの有るものは早速止める事です。

最近特に評判で、私共家庭の者は勿論、私など無論でも之ばかりを使つて居りますサーワ白粉といふのが、この

含鉛白粉を驅逐

する爲に生れた白粉で、御承知のチタニウム主劑に特殊の成分を配合したもので、絶對に無鉛で身体に無害なのは勿論、他方白粉としての其美粧効果に至つても昔の鉛白粉にズツト優つて居ますので、明るく自然に極上品なお化粧が出來るのですから、御承知の方は最う皆さん之を使つておいでの樣で之で乳幼兒方の爲にも

大安心といふ譯です

サーワ白粉は分子が細かで解熱が快く、芳香も好ければ色調も良し、何方にも前いふ從來に無く生々とした美しいお化粧が、それも譯無く出來ますのですから申分がありません。

折柄のお暑さですが、私ほどの汗でもお化粧が却々崩れませんので、又此白粉には日焦を防ぐ性質があり、同時に寫眞映りなども實に鮮明するのです。

打粉は何が良いか？

◇小兒の柔肌に打つ物　◇特別の御選擇が肝要

いよ〳〵のお暑さですから、いくら注意はしてもアセモが出來がちです。殊に小さな小供達の爲には一日として此皮膚への打粉が缺かされませんのですが、何しろ相手は纎細微妙な肌の持主、小兒の事ですから、餘程此打粉は選ばないと、みす〳〵小兒に害を與へる事に成り、飛んでも無い可愛相な結果に成る事が有ります。

勿論些しでも鉛分が入つて居てはいけず、又よし鉛分は無くとも衞生上多少とも疑問のあるやうな成分の混じて居るものは、極力避くべきは當然で、之は其小兒の保護者としての義務であります。

さて打粉の種類も數多い中にチタニウムを主劑のサーワ打粉は、特殊の成分を配合した從來に無い純無鉛無害の絶對安全の打粉であります。例へば彼の亞鉛華の如く多少とは云へ皮膚に對して收斂性や腐蝕性が有る如きもの又、醱酵性ある澱粉の如きなども、絶對に避けて居り、其分子の細かさ、感觸の快さは、宛で何に例へませうか如何に纎細な皮膚、又アセモ、濕疹等に打ちましても刺激性無く絶對安心なのであります。

夢にも粗惡な打粉等使はれぬやう、貴女のお子樣の爲に繰返してお願ひ致して置きます。

小學生諸君の面白い懸賞

緑濃き千代田城の邊に威風堂々と朝日夕日に輝いてゐる大忠臣楠正成公の銅像は、國民が擧つて仰ぎ見る所であります。大楠公の赫々たる勳功は千古不滅に光り日本の精華として全世界を照らして居ります。大楠公は今から六百年前湊川で戰死されましたが、偉大な楠公の精神は今日に至る迄八千萬同胞の鑑として生きて居ります。眞の楠公精神は崇高なる正義に基き最も進取の氣に富む大和魂の極致として賴山陽先生が高唱され、明治の維新には吉田松陰先生によつて更に輝かしくこの精神が發揚されましたが、現在の日本は內外極めて多事で、日本國民として、この楠公の大精神を繼承し、一致團結して國難に當る覺悟がなくてはなりません。

皆さんが大楠公の銅像を印(マーク)としてゐる衞生上優良なるクラブ煉歯磨を愛用され、朝夕楠公の印にお親しみになれば、識らず〳〵のうちに楠公の尊い精神が心に刻まれ又この楠公精神を養ふことの出來る立派な健康體が鍛へ上られます

懸賞問題

夏休みの樂しみとして次の懸賞を募集致します。
答案は左の五問題の中どれでも一問題を簡單にお答へ下さい。

一、日本人は何故大楠公を忘れてはなりませんか。
二、大楠公の銅像は東京の宮城前にありますが、大楠公をお祀りした湊川神社はどこにありますか。
三、櫻井の驛はどうして歷史上有名ですか。
四、大楠公は湊川で戰死される時、弟正季と何んと言ひ交されましたか。
五、クラブ煉歯磨のマークは大楠公の銅像と旭日とで出來て居りますが何色を使つてありますか。

答案の用紙と方法

クラブ煉歯磨チユーブ入(特大卅錢、大廿錢、中十錢)一個の空箱の裏へ(函の横の一方を切つて函を一枚の紙のやうに平に延ばして、その裏へ)前記五問題の中、何れか一問題を選んで、その答と、あなたの御住所と御姓名を御記入の上、開き封にして二錢切手を貼つて御郵送下さい。(御注意……答案用紙は外函一個の儘を前記のやうに平に延ばしてお用ひにならないと無効になります。)

締切　昭和七年九月十五日

抽籤　昭和七年九月下旬

抽籤は新聞社員、通信社員お立會の上極めて公平に行ひます。

答案送り先

關西は　大阪市浪速區水崎町　中山太陽堂內　クラブ歯磨懸賞係

關東は　東京市京橋區鍛冶橋際　中山太陽堂內　クラブ歯磨懸賞係

賞品 しなじくらか

等	賞品		人數
一等	蓄音器(兒童用)	壹台宛	拾名
二等	双眼鏡(兒童用)	壹個宛	貳拾名
三等	野球用 ミツト グローブ バツト	何れか壹個宛	五拾名
四等	プラトン萬年筆	壹本宛	壹百名
五等	クラブ石鹼	旅行型壹個宛	壹萬名
等外	楠公銅像ブロマイド		殘全部

正解者へ抽籤の上右の賞品を差上げます。

歯のために一番よい クラブ歯磨

滿洲日報
發行人 … 編輯人 … 印刷人 …
發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢

政府は讓歩に傾き 會期延長を暗示

井上(國同)の質問と首相の答辯

衆議院本會議(廿七日)

【東京二十七日發】二十七日の衆議院本會議は午後一時二十分開會 中島彌團次氏登壇

中島彌團次氏(民政) 私の前日の演說中「國民を欺瞞して得たる多數云々」の言を取消します

次いで議事進行に關し井上剛一氏登壇

井上剛一氏(國同) 重大議案は山積するがこれを審議する時間は今會期中僅に三日間位に過ぎない、これでは吾々議員は審議權を放棄するより外はない 政府は會期延長奏請の意志なきや如何

秋田議長 井上君の發言に對する政府の所信を述べられたし

齋藤首相 政府は政府提出案が速に議了される事を切に希望するものであるが、會期中審議を終了する事が出來ないと見込がつけば適當の考慮をする考へであると會期延長を辭せざるの意志を表明この點に關し國民同盟に對し讓歩するの暗示を與ふ

なる上程法相の說明あり質疑のため

青木雷三郎氏(政友) 一、千圓以上の債權債務を除外したのは何故か 二、銀行と金融業との場合を除外してゐるのも不徹底である 三、實施時期如何

小山法相 一、區裁判所で取扱ふ金額は千圓以下である 二、銀行金融業者の場合特別の運用によつて適用出來る 三、成る可く速かに實施したい

中野勇治郎氏青木氏と同主旨の質問ありたる後

平川松太郎氏(民政) 貸債の性質を如何に見分けるか

法相 誠意なき債務者の調停はこれを却下する

由谷義治氏(國同) 本案はその運用を誤れば徒に債權者擁護に陷ると思ふがこれについて何等かの方法があるか、現金に關し法文上に明記する意志なきか

法相 運用に就いては十分注意する、現金は明記する事は出來ない

松谷與二郎氏(第一控室) 千圓の限界を削除する意志なきか又運用は判事の自由に委すか如何

法相 大體に於いて判事に一任する事になつて居る、千圓の限界はすべての方面より考究した結果である

次いで藤田、若水氏の質問ありて後上田孝吉氏の動議で十八名の委員附託

も及ぶと思ふ

衛相、遞相共に臨相同樣の答辯をなし十八名の特別委員に附託次いで

一、市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法案(政府提出)を上程文相提案理由を說明質疑に入り松岡俊三君(政友)と文相との間に質疑應答後

武知勇記氏(民政) 一千二百萬圓の増額は少額に失しないか 教育費全額負擔主義をとる意志はないか

鳩山文相 教員俸給不拂と農村窮乏に鑑みこの増額案を出したのだが彼の方面の事情から未だ全額負擔は實施出來なかつた

後藤亮一(民政) 時局匡救豫算として政府案を以て充分か又教育費全額國庫負擔のために は殘り六千萬圓だが實施しては如何

首相 これで充分ではないが明年後年の施設と相俟つて完全を期する心算だ

なほ文相から教育費國庫全額負擔に關する答辯の後十八名の委員附託となる上田孝吉氏の動議で日程を變更

一、米穀應急施設法案(政府提出)を議題にし農相の說明あつて委員附託再び議事日程を變更し政友會提出の

日程に入る

債務調停法案

一、金錢債務臨時調停法案(政府提出)

農村負債整理 組合法案上程

颯々と委員附託さる

一、農村負債整理組合法案(政府提出) を上程、農相より說明あり

宮崎一氏(政友) 一、整理組合に對する融通資金は何處から得るか、又融通豫想額幾何か 二、中央銀行を設ける意志はないか 三、組合員を無限連帶責任としたので極端な貧乏人は加入出來ぬではないか

後藤農相 融通金は出來るだけ多額に又低利に預金部から仰ぐ答であるがその金額は未定である、整理の結果を見なければ俄かに中央銀行設置は贊否を與へられぬ、無限連帶責任としなくてはとても組合の機能は發揮出來ぬと思ふ

高橋守平氏(民政) 一、如何なる種類の負債を整理せんとするのか又この組合で全部整理出來ると思ふか 二、認可三年としたのは如何

農相 これによつて負債全部が整理されるとは思はぬ、期間を三ケ年としたのは一朝にして整理が完成するものでないから三ケ年でもまだ短いと思ふ位である

これで質問を終り二十七名の委員附託となる

と農村窮狀の實際を訴へて法案の不備を絕叫する

百貨店の 取締は如何

商業組合法問答

一、商業組合法案

一、商品券取締法案(政府提出)を一括上程、商相の說明あり

深澤豐太郎氏(政友) 最近の社會情勢は消費購買組合等の發達と百貨店の重壓で中小商工業者は益々窮乏せんとしてゐるがこれが對策如何、又百貨店取締法制定の意志なきや

中島商相 中小商工業者の組合組織の完備を圖りその機能を發揮し販賣の途を講ずれば前途必ずしも悲觀すべきでない又百貨店取締法は外國の例に見ても效果がないから自發的に百貨店側の自覺を待つ

廣瀨德藏氏(民政) 陸海軍の軍事工業は中小商工業者がするといふが政府の事業は多く大企業者を利するのみだが如何なる種類の企業をなすか、營業收益稅の輕減その他負擔輕減の意志なきや、又爲替安定策を樹てる考へはないか

荒木陸相 陸軍としては今議會に緊急已むを得ない事業に關し一千八百五十萬圓計上した次第でこれが實施によつては單に中小商工業に限らず家庭工業に

官吏は減俸すべし 富豪は增稅を

佐々木多額議員大に捲くしたつ

貴族院本會議(二十七日午後)

【東京二十八日發】貴族院本會議は午後一時四十分再開、日程を變更し

一、請願委員長報告を上程、濟岡委員長の經過報告あり後、國務大臣演說に對する質疑に移り

勝田主計氏(研究) 昨日の政府の答辯にまだ不滿あるも其の意思は通じてゐると思ふとて追究を止め、次いで

長尾元太郎氏(同成) 政府は本應急案にて農村、山村を救濟出來るか、次期議會に積極案を提出するや、本案作成に當り農相は農村、山村を視察したか木材關稅を引上げないで木材價上げを爲す意思なきや

有馬農林次官 本應急案は根本的のものとは思はぬが次議會には努力する、木材關稅引上げの意思なきも官有林拂下げ手控へに依り加減してゐる

佐々木志賀二氏(研究) 七年度豫算は經常歲入に於て億二千萬圓を減少し、歲出に於て二千百八十八萬圓を增加せるは救濟の爲め御下賜金を戴いた御趣旨に反する、又財政權に際し官吏の減俸や寄附は當然で富豪には增稅し我々も多額の金を使ひ議員に成つたが夫れでも多少の寄附はする殊に勅選中三千圓の歲費の外莫大な恩給を取るもの等大いに寄附すべきである、なほ議員は旅費の外にパスを出してゐるがこれなど無意義で不當である、斷る處から廢めれば自力更生は至難である、又田畑を抵當に大學より高文をパスさせて結局高等遊民にしてゐるが一體學校や教育費が多過ぎる文相は如何に見るや

鳩山文相 高等學校入學數は全國に於て二校を廢止に相當する程減じた、中等校に對しても同樣趣旨で進んでゐる

堀切大藏次官 歲出を減ずる事は産業上大影響あるのであの程度で止めた

之にて通告順による質問を終り、午後三時三分散會した

・田子氏・ 事情窮迫せる思召で御下賜金あつたのに政府はまだ調査も出來てゐぬ、暮の議會に出すでは濟むまいと思ふ

齋藤首相 植民地の窮民醫療施設は尙は不完全であるから年々改善に努めてゐる此の際思召を體し植民地官廳を督勵しなるべく速かに完備を期し度い

・田子氏・ 政府の匡救案は不統一で不動産所有者には國庫補償するが負債整理組合法を見ると恒産ないものには國庫補償しないと云ふ矛盾はどう見るか

・首相・ 夫れ等は主管大臣協議の上

田子氏、内相と わたり合ふ

二十八日午後三度開會の 衆議院豫算總會

二十八日の衆議院豫算總會は午後一時半、三度開會(夕刊參照)

田子一民氏(政友) 先般陛下より時局救濟の爲め内帑金御下賜あらせられたと拜承するが聖旨に對し政府の方針如何

山本内相 御下賜金の使途は地方長官に訓令を發し諸種の救濟事業に充當し出來るだけ全國民に皇恩の及ぶやう努めてゐる

永井拓相からも同樣の說明ありし後

・田子氏・ 陛下御軫念あらせらるゝ程植民地の狀態が急迫してゐるのに豫算には何等窮民救濟の經費が計上してないとは思召に背く所以でないか

永井拓相 植民地救濟醫療施設は調査完了せざる爲め豫算を計上するまでに行かなかつたが成るべく速かに具體方法を決定したいと思ふ

米國へ使節特派 野村參議官に内定

日米外交の禍根を除去

【東京二十八日發】日本政府が獨自の關係に於て近く滿洲國を正式承認せんとするの意志を聲明するに至つた結果、日米國交上暗影を投じ今秋の聯盟總會を中心として列國の對日態度の硬化と關連し兩國外交上兎角の不安が豫想されて居るが、日米外交の惡化は畢竟米が日本の對滿政策の基調を諒解せざるに基くものにして此種の禍根を除き日米の外交を正道に引戾すには日米外交並に海軍關係に共通的諒解を有する適當の大人物を米國へ派遣し直接米國務省及び海軍當局と接觸し諒解に盡力せしむる事が萬全の策なりと考慮せるためか政府は内田外相の進言に基き今回軍事參議官海軍中將野村吉三郎氏を米國に特派使節として派遣するに内定し同氏の受諾次第近く正式發表の手順を採ると、日米外交がやゝもすればその底流において危機を傳へられる折柄米國に最も理解ある野村中將を使節として派遣することは内外の注目を惹くものと見られてゐる(寫眞は野村參議官)

首相總裁會見で 政府は樂觀

拓相彈劾は狹量過ぎる 妥協の餘地はある

【東京二十七日發】齋藤首相が鈴木總裁と會見議事の圓滿な進行を希望したのは議事進行と共に拓相不信任問題、負債整理組合中央金庫法案問題が含まれてゐるが政府の觀測によれば

一、永井拓相不信任問題は問題が餘りに小さ過ぎ大政黨の態度に非ずと自重論を說く者あり、鳩山文相も態度緩和に努めつゝある故これを機會に政友會の態度を緩和し豫算總會の詰問に終るであらう

一、議事進行には政府の希望に副ふ代り交換條件として政友會提出の負債整理問題を政府に容認させんとするも牽勢米價の廢止は立法の精神から容認し得ぬから結局歩み寄り政府案、政友案の折衷により議會の難關は切抜け得られるだらうと樂觀してゐる

滿洲國の 各總長

廿八日赴奉す

前關東軍司令官本庄中將は二十九

眞相判明し 政友有志引返す

【東京二十八日發】政府と黨幹部の妥協說に憤慨した政友會有志代議士は二十八日午前十一時本部に會に引返した(…)參集し委員七名を擧げ眞相を調査した結果全く無根と判明し直に議

政局の微妙なる動き

米穀法案を挾み 政府政友對立

正面衝突まで轉進か

【東京二十七日發】政友會が衆議院に提出の負債整理法案、米穀法改正法案は前者が高橋、三土兩相が絕對反對を唱へてゐる點よりして恐らく閣議は全會一致反對となる模樣で又後者は民政黨が町田農相時代制定したいはゆる牽勢米價廢止に對する體面上絕對反對の態度を取つてゐるのでこの點農林當局と意見一致し高橋、三土、鳩山政友出身三閣僚は強いて政友會案に反對してゐないので閣議は恐らく贊否兩論對立し紛糾するものと觀らる右法案は政友會が黨議を經て提出したものであり拓相問題と絡み政局の前途は一段と緊張重大化するやうに見える

衆議院の 豫算總會

直ちに散會

【東京廿七日發】衆議院豫算總會は午後一時十分開會直に休憩となり同七時二十分開會したるも直に散會明日午前十時開會の答

秘密會に入り 五、一五事件報告

政友會の米穀案上程

一、負債整理組合費中央金庫法案(秦豐助君他二十三名提出)

一、米穀法中改正法律案(同上)を緊急上程、前者は土井權大氏(政友)後者は若宮貞夫氏(政友)から夫々提案理由を說明、負債者出の農村負債整理組合費法の委員に併託更に米穀法中改正法案は政府提出の米穀需給特別會計法案の特別委員に併託三度日程を變更して政友の胎中楠右衛門氏提出の

一、植民地の米統制法案外五件を一括緊急上程、胎中氏より提案理由を說明夫々特別委員に併託次いで五、一五事件報告のため午後六時三十五分秘密會議に入る午後七時十五分秘密會議を終りそのまゝ散會した

・田子君・ 地方民が請願の爲め上京せんとするのに之を阻止しつゝ、あるは内相の命令に依るや

・内相・ 一概に陳情團の上京は阻止せよと命令した事はない、中には不穩分子が居るから注意するやう命じたのみ

議會々期

延長三日間か

【東京二十七日發】政府は議會會期延長を大體三日間とする意向でこれが詔書は議會最終日卽ち三十日官報で公布、それまで期日の餘裕がある から最後決定を…、今後の情勢を見た上三十日臨時閣議で正式決定の方針である

牽勢米價撤廢

農相は飽迄反對

【東京二十八日發】別項閣議で政友會の主張を容れ牽勢米價を撤廢する事に決定したが農相は飽迄之に反對意見を有してゐるので更に協議次いで米專賣問題を協議した

カトリック黨と ナチス提携

成立愈々近しと見らる

【ベルリン二十七日發】久しきに亙り折衝を重ねた國粹社會黨とカトリック中央黨の提携成立愈々近しとの風評次第に濃厚となり、之が實現せばナチスの天下到來、議會解散の理由解消され議會政治持續さるべく、閣員豫想は首相ヒットラー、外務ブリユニング(中央黨)國防兼内務シニライヘル將軍等である

ブラジル政府軍 叛軍と激戰

【リオデジヤネロ二十七日發】ブラジル政府のコンミニユケに依れば叛軍は政府軍と目下マンチクエリア地方に於て激烈なる交戰を重ねてゐるが叛徒は講和交渉開始を希望し居り解決近しと

政府軍退却す

【リオデジヤネロ二十七日發】ブラジル政府軍は叛軍が二十七日襲撃したコプテロ市を撤退した…ため之れと交戰激戰を演じ死傷者多數を出した後退却した

米日氣配閑散

【ニユーヨーク二十七日發】廿七日の米日は廿二弗五十六仙と前日に比し十九仙安を示したが大引に到り若干引戾し結局十二仙安の廿二弗六十二仙となつた、引續氣配閑散

國際反戰主義大會

アムステルダムに開催

【アムステルダム二十七日發】開會を疑はれた國際反戰主義大會は愈々本日當地に開催された、大會は世界各國代表二千餘名のインターナショナルの熱狂的參集に依つて開始された、大會準備委員フランス代表文豪アンリー・バルビュース氏は開會の辭を述べて曰く

今や我々は世界文明を抹殺せんとする第二次世界大戰に直面して居る、我々はこの戰禍を未然に防止せねばならぬ

外相の演說に狼狽 血迷ひ言を吐く

羅文幹外交部長が

【南京二十七日發】内田外相の演說に對し國民政府當局は周章狼狽の態だが外交部長羅文幹は本日支那記者に對し非公式左の聲明したが此の聲明は廿九日正式聲明として中外に公表される

日本は先づ武力で我東北を占領し次いで叛徒を引率して傀儡となし反徒が自發的に支那から獨立したなど、言つて居る、かゝる芝居は拙の拙なるもので世界の何人と雖も欺騙されまい日本が武藤大將を滿洲に派遣せるは往年の朝鮮總督と完全に同じ使命をおえるものだ、列國は日本の此の種欺騙政策に對し正義に立脚せる公平なる判斷をなし國際上の正當な制裁を日本に加へん事を切望す

五億九十餘萬圓でなほ在外資金として殘存せる額は八億二百餘萬圓である

滿洲國承認を 米政府焦慮

治廢の形式で行はんと

【ワシントン二十七日發】米國々務省では過般の帝國議會に於ける内田外相の演說に依り日本の滿洲國承認は最早時期の問題であると見做し、早くも日本政府の滿洲國承認に依る結果を焦慮研究して居るが日本政府の滿洲國承認は滿洲に於ける治外法權撤廢の形式を以て行はれるのでないかと見て居る

日本政府は爲替 對策を施さぬ

園田正金支店長聲明

【ニユーヨーク二十七日發】正金銀行ニユーヨーク支店長園田三郎氏は二十七日左の如く米新聞に聲明した

圓爲替相場最近の暴落は主として上海、大連に於ける投機市場の思惑の結果である、圓相場は近き將來に回復する事確實だが日本政府は圓爲替相場を維持する爲めの何等の措置も講ずる意圖がない、投機者は日本政府が何等かの國際協事に捲込まれるものと見越して思惑してゐるがこれはあたつてはゐない、現在日本には何等深度のインフレーションも行はれてゐない、將來も行はないだらう、日本政府が外債利子支拂ひ猶豫を要求するかもしれぬとの報道があるがこれは全く滑稽な話しで日本國内の商況は外國貿易の關する限り著しく改善された

外貨公社債と 内地復歸額

【東京二十八日發】最近の調査による外貨公社債の現在高平價換算は二十億九千六百九十一萬九千圓でこの一ケ年の秘償額は一億千四百十萬圓に上ぼつて居る、而して五月末迄の外貨證券内地復歸額は

武藤全權の 入京と警戒

警備機關の協議

着奉した武藤全權大使は近く新京を訪問し滿洲國政府要人に對し新任挨拶をすることになつてゐるが長春ではその入京に先だち二十九日午後一時より長春憲兵分隊において日滿軍警各警備機關の首腦者全部が參集して警備方法打合せ會議を行ふ答で、その結果により武藤大將の入京の日取が決定する【新京電話】

日本天發曉の凱旋をなするので滿洲國では鄭國務總理を除き各部總長は見送りのため二十八日午前八時半發急行にて新京を出發した、丁交通部總長も最後として全部赴奉した【新京電話】

米棉が暴騰

【ニユーヨーク二十七日發】米棉は織物工業好轉の報に俄然センセーショナルな暴騰を演じ各限共一弗半以上も吹き上げ只一日で四十八乃至五十六ポイントの値上りを示めし現物も九仙二十となつた

うすりい丸船客

【門司特電二十八日發】三十日大連入港豫定のうすりい丸の主なる船客諸氏左の如し

陸軍少將本庄要三、東大敎授天内原直雄、同西講、大連市長小川順之助、大阪女專校長伊波菊次郎、滿洲國官吏三浦鎌郎、撫順炭販賣會社岩崎恒義、同渡邊秋之助、同中條繁也、大森順一、寺師信人、谷本中尉、丹下政治、代靑順高、星野桂吾、橫井復雨、一見龍造、鐵井八郞、奉天商工會頭庵谷忱、江川忠、一宮貞重團部一郞、兒玉春象、由利元吉石井三二馬、加藤久男、田村一郎

いよいよ九月七日 晴れの帝都入り
本庄將軍の凱旋日程

偉勳に輝く本庄前關東軍司令官は武藤全權と事務引繼ぎを終りいよいよ二十九日午後一時二十七分奉天發列車で晴れの凱旋の途につくこととなつた、この日武藤全權、小磯參謀長以下各將星、八田滿鐵副總裁及び將軍見送りのため特に來奉した參謀府次長張景惠、外交總長謝介石、奉天省長臧式毅以下日滿各要人の晴やかな見送りがあり沿道には軍隊在鄕軍人、日滿男女學生兒童、青年團等が堵列して行を盛んにする、將軍は午後一時より發車まで驛內貴賓室で軍司令部隊、在奉各部隊長、滿洲國代表其他各方面の代表を引見して挨拶を受け出發、三十日旅順を訪問、九月二日午前十時大連出帆のうすりい丸で神戶に向ひ五日神戶着、一切の歡迎を辭退し直に上京の途につき國府津一泊七日午前十時東京驛着、凱旋將軍として晴れの入京をなす豫定で着京後宮中の御都合を伺つた上直に參內前軍司令官として委曲上奏することに決定した【奉天電話】

各鐵道を續轄 東支線改稱
滿洲國の鐵道政策

滿洲國では國內鐵道が舊軍閥時代國營のものもあれば半官半民の株式のもあり且つ個々獨自の經營であつたゝめこれが統一を圖ることが最大急務として着々準備中であるが吉長、吉敦、敦圖、吉海の四線を吉林鐵道管理局に隸屬せしめ、現在の吉長總局を吉林に移轉に決定した外奉山、瀋海、四洮、打通の四線を奉天管理局に洮昂、齊克呼海の三線を黑省管理局に統一せしめることゝし滿洲里、ポグラニチナヤ間ハルビン、新京間の東支鐵道は之を特別線とし北滿鐵道管理局に改名するに決定した、これについて交通部總長丁鑑修氏は語る

東支線の北滿鐵路管理局の改名は事實でこの改名には東支關係ソウエート方面でも異存はないかを本國政府の意向を聞きその命令を待たねばならぬ事情があるので目下申請中になつてゐる、勿論實施するものと見てゐる、支那でもなければ中國でもない純然たる滿洲國であるため東支とか中東とかの名は自然意味をなさないことになつてゐる【新京電話】

獨逸經濟復興案
輸入大制限を强制か

【ベルリン二十七日發】首相パーペン氏のドイツ經濟復興案秘案は二十八日ウエストファリヤ農民聯盟に於ける演說會で公開一般の觀測によれば左の諸項を含むと

一、輸入大制限
一、三分の資本家税又は財產に對する强制募債
一、相續税を三分から一割三分に引上げる

首相はこの政綱を議會の協贊の有無に拘はらず全ドイツに强制的に實施せんとすると傳へられ實業家方面では早くも不安の空氣見え諸外國では報復手段としてドイツ品に重税を課するものと觀らる

水上交通の調査命令
各省に對して

滿洲國交通部では鐵道網道路網等の完成を期し着々具體案を作製し交通發達に努力しつゝあるがこれと併行すべき水上交通は未だ等閑に附せられてゐる嫌ひがあるのでこれが統一發展を期するため各省に對し各地水運の狀態、水運の組織、水運の關係及びその所屬水道關係、舊規則法についての調査報告を要求することゝなつた【新京電話】

山海關視察談
濱田氏等歸る

山海關の海關問題について同地方の視察に出張中であつた滿洲國關稅徵收處監察長濱田正道氏外三名は廿七日午後入港の沙河南丸にて歸連したが濱田氏は語る

中國と滿洲國の境界に海關を設ける事は當然な事で一日も早い方がよいのであるが中國側は既に去る十八日以來山海關に海關を設けて徵稅事務を開始してゐる併しそれは滿洲國を外國視したる或は其前提とも見られるのだが彼等は陸路許可なく海岸においても民船を見張り密輸入を防止する目的だと逃げるかも知れない、とも角山海關附近の中國と滿洲國との境界がモ一つハツキリしないのが困難だ滿洲國としては出來るだけ早く國境を保持しこゝに稅關を設くべきで目下その準備中ではあるが山海關を通過する貨物といふものは今日殆んど皆無といつてよく稅關收入としては大したものではない何れ視察狀況を報告し改めてこの問題も協議される筈である

駒井長官と重要打合せ
在奉の幹部連

二十七日午後ヤマトホテルに軍部關東廳、滿洲國等の各機關幹部連參集し、駒井長官を中心に四時間に亘り重要打合せをなすところあつた【奉天電話】

投書歡迎　五十行以内　中傷はさらず

◇滿洲號は何處へ　一市民生

◇私達の滿洲號として全滿人より集めた基金は一體何處に行つたのであらうか、多額の金錢を集めたけれど今に其の滿洲號の勇姿を見る事が出來ぬ

◇國家のため金錢を言ふに非されど我々細民が二圓なり三圓なり出した滿洲號も結局時代のインチキなるや否やを疑ふ。

◇一體滿洲號は何處に飛んで行つたのか。

お答　飛行機獻納義金募集額は二十六萬五千五百餘圓の巨額に上つたので軍部と打合せ飛行機三機、裝甲自動車二臺を獻納する事になり、此の見積價格二十五萬圓を陸軍大臣宛に送金したが其後軍部の希望により戰鬪機二機、通信連絡機五機を獻納する事に改め目下之れが手續中である、殘餘の一萬數千圓で募集費を支辨し殘部は獻納命名式その他の費用に充て尙剩餘金ある時は全部飛行機操縱費として關東軍に寄附する豫定である、因に寄附者名簿は目下印刷中であるが調製次第關係方面へ配布の豫定である(滿洲號飛行機獻金中央委員部)

鋤奸團の排日貨が重大な結果を招來
秋季實需期を控へて 邦商、影響深刻

【天津特信】上海に於て一青年により試みられた鋤奸團の行動は端無くも不況と排貨に重大なる影響を受けてゐた邦商に對し更に一層深刻なる

打擊 を與ふる動因となり此の傾向の急激に除去され相にも見へない現狀に於て前途決して樂觀を許さないものがある、現今一般の觀測は鋤奸團の行動は國貨提倡會の策動である故此れ以上猛威を振ふ事もあるまいし其行動は或程度まで誇張されてゐる故その根强さと威力が何の位のものか判らないが大したものであるまいと看て居り、或事業所に入つた信すべき筋の報道には極めて樂觀せる次の如き情報もある

現在の排日貨運動は國貨提倡會(紡績等を背景とする)の策動に基くもので日本商品と

競爭的 地位にある商品を取扱ふ連中の一部の煽動運動で銀行筋は全く排日なるものを問題視せずそれより此次の政變に對して注意を拂ひこの政變が將來の日支關係を緩和せしむるものと豫測し排日運動はこの政變より見れば枝葉末節に屬するものので遠からず政變の好結果が得られると共に其影を潛めるであらうと見てゐる

然し現在の實情よりして斯る觀察が正しいかは大きな疑問とされ昨年の事變後天津の有力なる支那綿糸布商は殆ど休業狀態で日本商品が

自國 商品に比して三四兩割安でも一向見向もせず取引を中止してゐる、故に其後綿糸布を扱ふ支那商は極めて信用の薄弱な商人のみでこれを相手に取引は進められてゐた、然るに過般鋤奸團が天津に潛入して爆彈事件を起すや此等の商人は極度に驚怖し全く日貨の取引を斷念して特に爆彈に見舞はれた綿糸布商は既に店員を解雇し閉業してゐる始末であつて從來の沒收とか罰金なれば更に裏を行く方法が有つたが今度の爆彈丈は豫想外の脅怖を感じ日貨の取引は全く

停止 された邦商に對する重大打擊となつた、以前に比し信用の薄弱な支那綿糸布商を相手に鋤奸團の影響を輕視し取引を行つた邦商は大小に拘らず意外な打擊を感されてゐる

天津の排貨運動 實業部長が後援
爆彈で効果をあげる

【天津特電二十六日發】最近天津方面に權威を振つてゐる鋤奸團は國貨の販路擴張を目的とするもので其首謀者は張之廉と呼ぶ排貨運動の急先鋒で此れを裏面で援助せるは上海排日の巨頭である綿布商會長王曉籟であるが、上海を始め天津其他各地に於ける爆彈の脅威が非常に排貨に奏功して居るので國民政府實業部長陳公博も密かにこれを後援してゐると云はれてゐる團員は何れも青少年で數名乃至十數名の團體であつて上海で最初日貨取扱ひ商に對し爆彈を投じた暴漢は二ケ月の有期徒刑に處せられたが右排日鋤奸團の熱心なる奔走により愛國運動の犧牲として過日釋放された點より見て官憲當局がその狂暴に對し充分の諒解を持つてゐる事が解るが何にせよ斯る團體の活動は邦商民に對して重大な脅威である

賣つてゐる卽ち既契約品の決濟は勿論のこと秋季實需期を控へての今日である故各洋行共充分の手配を爲したる際だけその影響は深刻である、その他の商品に對しても殆ど同樣の結果を與へてゐる只今日は鋤奸團の活動が永續性があるかどうかにより市場復活の見込みがあるが日本當局官憲よりの抗議に對して前王樹常主席は極めて

冷淡 な態度で「愛國運動と己人の自由意志は取締る方法が無い」との口吻を洩らして居るし過般爆彈事件の際も支那側官憲は之を包圍し乍ら敢て逮捕せず却て鋤奸團より全區署に對して「愛國運動を妨害すれば爆彈を見舞ふぞ」との脅迫狀を叩き付けられ今日まで等閑に付してゐる狀態である故彼等の狂暴を除去する事は不可能な狀態に有る、此れ等の實狀よりして鋤奸團の狂暴は終始する見込が無いとすればそれ丈け日貨通商に與ふる打擊は甚大で前途憂慮されてゐる

熱河踏破記 (8)
賊に近づかぬ討伐兵

熱河軍は東北邊防軍の一部隊として七箇旅團兵數約五萬、湯玉麟之を統率してゐる。兵の給料は一ケ月四元五〇仙で、この內より食費として月三元乃至三元五〇を天引する、それも一ケ年に亘つて不拂なのだ。從つて兵の惡化は想像外で殆んど公然小盜を働くのである。之に反し馬賊の勢ひは怖るべきものがあつて反對に益々擴大の形勢を馴致してゐる。こゝに於て官兵の討伐は一種の威勢出張となるだが、賊には決して近付けない。賊に接すれば直に動變するからだ。討伐卽ち屯する地方での掠奪暴行を意味するのである。憐れむべきは二重の誅求を受くる地方民だ【寫眞は熱河省城の一部】

有耶無耶となる 汪、張の喧嘩
廬山會議が幕を下す

◆汪精衞の打つた芝居は、一時異常なセンセーションを起し、さては雨となるか嵐となるか、何れ只事では濟まないであらうと氣遣はれたが、案外にさしたる變化も無しそうになく聊か氣拔けの感がある位だ

◆元來汪の遣り口は女の樣なところがあり、今度の張學良彈劾も上海では一般に評判がよくなかつた、と云ふのは少しも正々堂々たる所がないと云ふのであるがそれと云つて張學良に同情するものもあまりない樣である、汪が泥棒と云へば、張は泥棒した覺へはないと辯解するところ、恰も女と小供の喧嘩の樣で何れも大人氣ないこと夥しい

◆さて汪は何故學良を彈劾したのであるか、一般では今尙種々の憶測を逞しふし或は「蔣介石に依賴されて」と云ひ、或は「韓復榘に依賴されて」と云ふものがあるがあまりに穿ち過ぎた說ではあるが元來汪の策略は常に念が入つて居り、且張學良の存在は、汪個人の場合、何も眼の上の瘤と云ふ程の邪魔物でもないし、或は王動的ではなく他の方面より依賴されたと觀るべきかも知れない

◆併し問題はたゞ學良が果して實際に下野するかどうかに係つてゐる、尤も彼は既に下野通電を發表し中央政府も亦彼の下野を承認した、だが、彼は中央政府が彼の辭職は、待つてゐたとばかり之を許容し、汪に對しては政府要人總掛りで慰留してゐる片手落ちの處置に大いに不滿をもつに至り、之は部下各將領の學良の下野及反對表示となつて反映されてゐる、卽ち部下各將領中には蔣介石にして若し輔むに足らないならば、この際中央と緣を切り、華北各軍の獨自的立場に歸つて獨立すべしと力む者すらあり、學良も亦將來の保障が着くまでは北平を去らないとの意志表示をなしてゐる、こうなつて來ると事態が面倒であり、國民政府、特に蔣介石としては何としても、これをうまく收めなくてはならないが、蔣には果して如何なる策があるか

◆元來蔣と云ふ人物は、彼に取つて强敵と認めるや、凡ゆる手段を用ひて妥協を試みる、またその手際もなかなか鮮かである、曾て閻、馮との妥協、學良との妥協、近くは汪との妥協等々、世人の意表外の事を容易にやつてのける、それは相手の弱點、卽ち相手の欲するものを簡單に與えることによつて成功するのであるが、併し今度の場合は、三角形の妥協であるから事態る面倒である、而も汪は行政院長と云ふ最高地位を有し、張は華北に尨大なる地盤を有してゐるし、それ以上のものを與へる譯に行かない、卽ち利を以てすることが出來ない、故に與ふとすれば汪、張の双方に相當の面子を與ふる外ないが、これまた双方の面目を立てることは容易ではない、蔣の惱みは全くこの點に在り、廬山會議で果して如何なる妙計が案出されるか興味ある問題であるが汪と張が若し、相持して讓らないとすれば、蔣は最後の苦肉策として、或は副總司令辭職の意志表示をなすのではないかと觀る向もある

◆併し汪にせよ張にせよ、その辭職或は下野が本心でないことは最近の言動によつて證明される、卽ち汪は、斷然下野すると云ひ乍ら、廬山會議に出席し、張は直に外遊すると表明し乍ら、將來の方策が立つまでは北平を動かないと居直つて來たから、或は案外あつさりと手を打つに至るかも知れない、且つ蔣には已に喧嘩を成敗するだけの威信もなければ力もないので、穩かな方法による解決を求めるより外はないであらう、卽ち廬山會議は、この問題を有耶無耶に葬るための會議だ

溥儀執政に新任挨拶
武藤全權が卅一日赴京

武藤全權、小磯參謀長は二十九日本庄中將を見送つた上三十一日午前六時五十五分奉天驛發列車で新京に向ひ溥儀執政を首め滿洲國政府要人を訪問新任の挨拶を述べ九月一日午前八時半歸奉の豫定である【奉天電話】

大水害の慘狀を視察
大橋阪谷兩氏

【チチハル二十七日發】滿洲國中央政府大橋、阪谷二氏は本日午前十時飛行機で流域嫩江一帶と齊克沿線の大水害の慘狀を視察、午後一時半歸途に就いた、その結果により中央の水害救濟策が確定する筈である

北滿領事館 警官增員
組織も變更する

【ハルビン特電二十七日發】北滿における邦人の發展に伴ひ、日本領事館警察は近く警員二百九名の增員と共に根本的改組をなし從來ハルビン、チチハル、滿洲里各領事館所屬の警察を一括してハルビン總領事館警察署が總括しその增加人員移動ある筈

關東廳辭令

任關東廳警部補

人事

▲伊澤規矩也氏(一高敎授)
▲濱田正道氏(滿洲國海關監察長)
同上歸連
▲村上義一氏(滿鐵理事)
卅一時卅分發急行で赴奉

大觀小觀

▲ナイヤガラ瀑布の上流百メートルばかりの激流を泳ぎ渡つた男あり▲聞いても身の毛がヨダツ、全く命のいらぬ男と思へるが其の自信には寧ろ敬服すべし▲嘗て身を詰めて、瀑布を流下させた冒險家があつたのは有名な話しだが、これはそれよりも、もつと冒險だ▲此冒險家はオランダ人だから、アメリカ人はくやしがることだらう▲だが併し君子危きに近よらずとか、有名な劍客が馬の尻をよけて通つたなどの、東洋流の敎訓とは正反對だ▲ドイツ政界の風雲兒ヒツトラー曰く、日支に對する國際聯盟の干渉が平和を齎したとは思へない、余は日本人たることもいやだ、支那人たることもいやだ▲此男が若し政權でも取つたなら――それは可能性が强い――正に聯盟の一大敵國たらねばならぬ。

我軍の行動に感激 鐵道警備を申出る
奉山線沿線の各村民

【奉天】奉山線羊圈子西方鐵道沿線一帶の各村民は各村の自警團さ聯絡し受持區域を定めて鐵道警備を行ひたいさ申出でたので我警備隊では却て希望してゐる處であるため喜んで之を容れることゝなつた、滿洲國人側が未だ嘗てない危險な鐵道警備を自ら率先して之を引受けんさする動機は我軍が同方面に出動した當時不良の支那兵を警戒してゐたものであるがその後日本軍の優良なることが種々な事實で一般に知られ加ふるに滿洲國建國の精神も徹底し日本軍は滿洲人のため治安維持に犧牲的精神で努めてゐること治安維持は當然滿洲人がなすべきであるが吾々人民は土匪を討伐する力なきため吾々で出來る鐵道警備だけでも加勢しやうさする我軍の行動に感動した結果自發的に出た心根で我警備隊でも非常に感激してゐるさ

戎克船を襲ふ 匪賊を討伐
「駿通」が出動し活躍

【營口】營口を距る西北約一邦里の少莊子に匪賊が根城を構へて附近を往來する戎克船を掠奪するので日本及滿洲側警察は二十六日午後零時半水上警察所屬船駿通に乘組み討伐に向つたが同村を距る約一千米突の下流に差しかゝつたる際四隻の戎克に停船を命じ掠奪せんさするに際會したので直に之に砲撃を加へたるに賊は之を放棄し自己の乘り組みたる大形舢舨を岸に乘り着け逃走せんさしたるに之に機關銃にて射撃を加へたるさころ賊はあはてゝ上陸し葦の中に影を沒した四隻の戎克には百五十名乘組上流の村落民が營口に避難せんさする途中であつたので彼等は危難をのがれた事を喜び無事避難した附近に尚獨立家屋あるを認めこれに砲撃を加へ同所に收容せる人質を奪還した砲艦駿通は二十七日更に同處に向ひ賊の掃蕩に向つた

双陽縣城を占領
附近部落に放火掠奪

【新京】二十四日双陽縣城を去る東南方二十支里の地點に密集し縣城襲撃を計畫しつゝあつた……一頭目殿臣の率ゆる約三千名の部隊は廿七日未明突如双陽縣城の襲撃を開始し警戒中の同地駐屯滿洲國軍隊、自警團約三千名さ交戰し破竹の勢ひで遂に双陽縣城を占領するに至つた、附近の部落は之等の匪賊の爲め放火掠奪せられ炎々たる煙りを上げてゐる急報に……吉林警備隊は騎兵第一旅第一連長劉玉昆部下一千二百名を直に長春に向け出動せしめ今後の形勢如何に依つては直に双陽に向け出發せしめる筈、尚同地附近の形勢惡化せる爲め廿五日頃より續々と避難するもの現れ廿七日朝まで長春に來りたるもの無慮一千名に達した

老北風が謹慎する
歸順を申出て

【奉天】牛莊附近に蟠居せる老北風及びその子邊防は過日海城縣長に對し牛莊の商務會長以下十三名を介して歸順を申込んで來たが縣當局では各地で表面降伏し機會を見ては反逆する例が屢々あるので直に許可するは不可さなし當分形勢を見ることゝなつた一方老北風側でも舊惡を反省し誠意を披瀝するため二、三ケ月間牛莊城外に於て謹愼し滿洲國政府の命を待つ旨再度懇願して來たさ

怪部落を捜査

【營口】新市街境界線三不管村は賊が營口襲撃の際潜伏する形跡があるので營口縣地方警察隊は二十六日午後五時から同部落一帶の徹底的大捜査をなしたが憲兵隊も之に加つて行動ししらみつぶしに捜査したが一名の嫌疑者も發見しなかつたが居住民に對し賊の來たさきは即時報告すべき旨を懇諭して引揚げた

雷雨の陣中で軍旗祭擧行
拉哈駐屯の歩兵部隊

【チチハル】武勲に輝く歩兵第〇〇部隊の軍旗祭は二十四日北滿最北前線たる拉哈陣中に擧行された當日チチハルより天野少將以下軍部代表並に民會長代理有志がこの輝かしき祭典に參列すべく午前八時龍江驛發列車にて出發したが拉哈は正午頃より雷雨さなりしも參列者は雨を冒して下車、軍旗祭は午後一時四十分より雷雨中にて莊嚴に擧行されたが分列式を取止め軍旗捧載、一同敬禮、小泉部隊長の祭文朗讀によつて終了し直に同部隊第〇〇隊に對する戰狀報告式あり右終るや午後三時より餘興に移つたが梅家、青楊等の美人達（チチハル美人）は勇敢にも泥濘中に兵士諸君さ共に踊つて興を添へ……

これに續いて將兵及び參列有志の餘興あり將兵並に參列者一同歡を盡して軍旗祭の一日を過ごし參列者は午後四時四十分發列車にて歸途についた

で一册にまさめ醫大から出版する豫定です、自後よろしく御願ひします

第二遣外艦隊 幹部職員異動

【旅順】關東州沿岸警備の任にある第二遣外艦隊の幹部職員は最近左の如く異動があつた（順位は先任順）

司令官少將津田靜枝（司令部）、機關長大佐立花勿次郎（同）、天龍艦長大佐班田健介（天龍）、同副長中佐佐伯孝二（同）、同機關長中佐末原直孝（同）、參謀少佐有馬馨（司令部）、副官兼參謀少佐黑木剛一（同）、第二六驅逐隊機關長少佐後藤正雄（……）、參謀少佐竹内馨（司令部）、砲術長少佐大西茂昭（天龍）、……艦長少佐……田友造（……）、參謀大尉中野政知（司令部）、平戸艦長大佐……森清一郎、同副長中佐中里隆治、同機關長少佐中島一郎（……）、軍醫長兼分隊長少佐長留盛保、航海長兼分隊長少佐……卷美德（……）、砲術長少佐西岡左軍

全權隨員執務

【奉天】川越參事官その他全權隨員一行は當分總領事の一部で事務を執ることゝなつた

滿洲國軍警の服裝を統一
奉天に被服總廳設置

【新京】滿洲國軍政部では先に被服廠令を以て滿洲國軍隊の被服統一を期するところあつたが今回從來の吉林省の長春被服廠黑龍江省の齊々哈爾被服廠及び奉天省の遼陽被服廠を撤廢し奉天に被服總廳を設置する事になつた、長春チチハルには被服支廳を設置し滿洲國軍及警察官の服裝を統一右諸被服廳より補給せしめる事になつた、なほ之等被服製造に要する羊毛は黑龍江省内に適當なる地を指定採毛すべく目下具體案研究中である

關東軍施療班 チチハル出發

【チチハル】貴き人類愛から危險を冒して滿洲里ハイラル方面に出動し大衆の救濟施療につくした我關東軍施療班第一班は當地に歸來し洮昂線の開通を待つて居たが漸く連絡の見込がついたので二十五日龍江驛發列車にて奉天へ向つたが一行の内班長寺田博士外四名は去る十八日既に歸奉したので殘餘の長谷川技術員他四名が語る永らく御世話になりました今回の巡視施療は非常に得る所がありました、この所感は歸奉の上さ

漸く洮昂線 旅客輸送を開始
西部線も一日一往復

【チチハル】七月二十八日より不通さなつた洮昂鐵道にては其後大動員の下に復舊を急ぎつゝあつた處、廿七日から船車連絡により郵便物軍需品並に旅客の輸送を開始した手小荷物等は全然取扱はぬさ列車、發着時刻は洮南發午前八時二十五分、龍江着午後九時五十分龍江發午前八時洮南着午後九時十六分の一日一往復である尚東支西部線にても廿六日より國際列車の運行を開始、洮昂線と同じく一日一往復にして昂々溪發午後一時ハルビン發午後十時である

旅順市參事會

【旅順】二十六日開催の筈であつた昭和六年度歳入歳出承認に關する市參事會は議員差支のため流會さなり二十七日午前十時から更に開催したがいづれも原案通り可決確定正午散會した

本庄將軍に 彰德の大額贈呈
奉天市長と同善堂長

【奉天】本庄前關東軍司令官は今回の榮轉離滿に際して奉天同善堂及び貧民救濟資金として滿洲國側に金三萬圓を寄附したので滿洲國人は非常に感激し目下使途に就き考究中であるが奉天市長閻傳紱、同善堂長劉曜曦の兩氏は建國の恩人さしてまた奉天市民の恩人さしての本庄中將の功績と德政を表するため市民を代表して「本庄司令官閣下德政、閻澤帝數」と記された大額を贈ることになつた、なほ滿鐵でも同善堂に毎年金一萬圓を寄附することゝなり本年度は既に寄附され目下市政公署で保管中である

官の招宴に臨み午後六時からは旅行社に於て在旅官民各代表者を招じ告別宴を開催する事となつた

撫順平康里 發展策
當局に陳情

【撫順】當地平康里料理店代表は二十七日炭礦事務所を訪れて昨今益々不振のどん底に落ちつゝある平康里の發展策につき陳情し善處方を……旨のものであるので將來は歡樂園平康里は之を同一のものさして炭礦に於ても種々便宜を與へ又發展策を講じて貰ひたいさ要望するところがあつたが炭礦當局さしては地代を無償さすることは維持會がこれを以て經營費の一端さしてゐるので至難なるも發展に就ては相當考慮すべく又近き將來に於て支那街移轉の同地一帶は必ずや非常な發展を見るであらうさいつてゐる

せる同地の地代はこれを無償さし併せて同地はこれまで動もすれば歡樂園に壓迫せられて來たが這は元來華工の娛樂機關さして歡樂園さ同主旨のものであるので……

本庄將軍の 旅順日程
官民に告別

【旅順】本庄前關東軍司令官は友專屬副官を隨へ三十一日午後……時五分着列車にて來旅同夜偕行社に於ける在旅官民の送別會に臨みヤマトホテルに一泊、翌……正午長官々邸に於ける關東……

旅大裏道路の バス運轉時間

【旅順】旅大裏道路の滿電バス運行は九月二日から一日四往復午前二回、午後二回の運轉開始する由でその時間割は左の如し、因に同道所要時間は現在の處一時三十分を要する

▲夏期　午前七時三十分、九時三十分、午後三時三十分、五時三十分

▲冬期　午前八時三十分、十時三十分、午後二時三十分、四時三十分

禁漁を犯す 漁撈者捕はる
訓戒の上一先づ放免

【安東】平北義州郡光城面化坪洞農韓國豫（三二）外七名は共同して去る二十日午後二時より五時まで柳草島南約三十間の江中に於て網を以て白魚漁撈をなしつゝある所を新義州署に現認され魚類は……二十斤は直に江中に投棄……が彼等は目下コレラ發生の爲め漁撈禁止中なることを知りながら生活難の爲め禁を破つて漁撈に從事した旨申し述べた、新義州署では充分訓戒を加へたる上放免したが今後は假借なく處分するさ

國際運輸の 入江氏
黑龍總商會特務委員となる

……格の日本人を採用した事は……地國際運輸會社出張所、入江氏に白羽の矢を立て再三同氏に交渉があつたので同氏も遂に快く事さなり國際を辭して總務委員として活躍するに決した、因に黑龍江省商務會にて外人を招聘したのは之を以て嚆矢さし今後の活動ぶりに大なる期待さ注目的さなつてゐる

對京城戰の 撫順選手
六名出場

【撫順】全滿鐵對全京城陸上競技試合は九月四日京城において擧行……滿鐵軍は二日午前九時大連發の途につく筈であるが、……礦からは左記六選手が出場……

米津午郎（庶務）柴田義……（……）岡田勝義（發電）俵孝無一（……）淺阪正一（同）田中盛一（……）

吐瀉物を撒き散す
筏夫の怪死

【安東】滿洲街大河子の筏……全（二九）は二十六日午前八時……留中の筏上にて吐瀉しはじめ病苦を堪へて同夜十一時頃……街附近の知人宅を訪れる途……行倒れその儘死亡してゐる……二十六日早朝に到つて發見……

船夫二名も眞性コレラ

【安東】後潮溝……八王鳳……び李兆煥（……）は廿三日より……

重大視さる 特殊爆撃演習
旅順白銀山の上空で

飛行機引返す

【營口】去る廿二日安東にて……せし當地漁業總局所長……該地で解纜の上救出せられ……者小谷、大浦兩氏は二十五日……更に第二機に搭乘二十六日……向ひしも途中濃霧に襲はれ……日途中より歸來した

旅順秋蠶狀況

【旅順】旅順管内における秋蠶の配付數は四二三枚であつた……葉の減收その他の關係上……立枚數は三九九枚を算し……

洋車と馬車とで 年一千萬圓稼ぐ
全奉天に五萬五千臺

事變一周年當日の撫順

雲齋翁追悼會

撫順公學校長着任

沿線往來

曙の鐘（390）
倉田潮 作　河野想多 畫

新刊紹介

奉天商工月報

けふの放送 大連 JQAK